				平成3	中原	隻 爭務	事業評価	カシー	-	[平成30)年度事後	評価]
整理	基番号	4	17									
	局 名	消防局			所属	<mark>名</mark> 消防総務		斤属 長		正道		
	事業名		団員消防活動	事業				己入者	吉村:	紀男		
<u><1.</u>	基本事											
	区分	コード			名	称				消防団員の兄 る条例 他	E負等	
₩ Δ=L	方針	03		こ住み続けるこ			法令等	ICES 9	る木内 他			
総合計 画の位	政策	01				まちにします						
置付け	施策	01		まちづくりの 打	推進				関連する			
	視点	02	地域防災力(別計画			
	重事		消防団を中村	亥とした地域 [
関連		ード		Ę	事務	事業名称			コード		所属名称	
事業												
予		計	枠	事業種別	il e	予	算事業	名		始 其	・終期	
算	一般	会計	管理 評価	i対象事業		<u>団員消防活動費</u>						
事業												
-14	2¥7+ = 3	3/4 At	回映る地ナハ	夜号 し マナ		会 自仕五が 時	産を火災から保護	F-F-7 1. 1. +		*** + 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- 電ケル(()	
事業の	害を防障	除し、こ	れらの災害に	因る被害を軽	Y減する	ことをその任務	としており、これ					
概要	つ質用を	片1負业ひ	に備利厚生事	・耒を展開する	225	に、消防団貝の何	確保に努める。。					
	方法	■直営		管理者 □	民間委託	□ 出資団体	本委託 □ 補助	金交付 口	その他	()
< 2.	事業分		PLAN	5 5 5 5 4 7 to 1	/n 7 -	14						
	目 的	-	市氏生活の	マル安全を確信	床するだ	(4)						
	何のため	-	ᄬᄜᄆᄝᅝ	4.1								
	対		消防団員に対	引し								
(1	可又は誰		当年日号の#	四叫し弗田分が	一番 TL ッパンド	の大田活動に必要	な被服や消耗品	笠の士紗 しい	数巛宝。	の自八伊度	空1- トロ	
(150	手段	•	用防凹貝のギ	双門と复用井1	貝及び店	奶凹泊期 こ必安	ルイン月末 100 = 1	寺の又柏と仏	伤火吉	、の 夕 万 休庫	早により	
(20)	ようなやり		田温北部吐	ままま はまま ままま おおま おまま こうしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	ナスレレ	. + 1-	消防団員の確保に	ー 軟 よご ス				
(100.1	成 集		口用な用例に	山心判で成用り	9 0 2 2	. ゼル、 種類的な	/月初四貝の唯木	に繋がる。				
	うな状態に											
< 3. ─	経費>	DO	₩ ct 00 to 5	± π.	左座	亚世20左帝	교육21년후	<u> </u>	=			
			平成28年原			平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和 2年原 見込額(千F		備	考	
77	直接経費	_	<u>決算額(千F</u>									
	上 件 費		121,	732 II	29, 600 5, 801	111, 035 8 767	101, 705 5, 817	111,	R17			

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	III 45
直接経費 A		121, 352	129, 600	111, 035	101, 705	111, 000	
人	、件 費 B	5, 732	5, 801	8, 767	5, 817	5, 817	
事業領	費合計 A+B	127, 084	135, 401	119, 802	107, 522	116, 817	
	国	0	0	0	0	0	2年に一度、任期満了に伴う幹部
事業費 の財源	県	0	0	0	0	0	の大量退団があり、一旦、一般財
内訳	起債	0	0	0	0	0	源から支払うが、同額を基金から
П	その他	19, 986	32, 755	17, 003	9, 701	17, 000	歳入している。
	一般財源	107, 098	102, 646	102, 799	97, 821	99, 817	
職	員数(人)	1. 13	1. 13	1. 63	1. 13	1. 13	
Deb = ***	正規	0. 58	0. 58	1. 08	0. 58	0. 58	
職員数 の内訳	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
O 1. 1 11/C	臨時	0. 55	0. 55	0. 55	0. 55	0. 55	

<4. 指標> DO

	τ.								
		指標名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
		消防団員定数	名	目標	1, 313	1, 313	1, 313	1, 313	1, 313
汪	1		12	実績	1, 302	1, 302	1, 282	-	-
活動指		消防団員定数を目標としたの団員確保数	(平成21年9月に	条例定数を1	,356人;	から1, 31	3人に改正	した)	
指		訓練指導回数	0	目標	26	26	26	26	26
標	2		凹	実績	75	50	62	-	-
		消防団員による市民への訓練指導件数							
		充足率	%	目標	100	100	100	100	100
时	1		70	実績	99	99	98	-	-
成果		条例定数に対する充足率							
指		訓練指導率	%	目標	100	100	100	100	100
標	2		70	実績	288	192	238	-	-
		平成18年度の訓練指導出動回数(26	回)を100とした	場合の出動率				•	

事業を明社会環境	yりまく なりまく	近年、災害は多種多	様化し、いつ起こるかわからない自然災害が頻発する中、平成25年12月、「消防団を中 の充実強化に関する法律」が施行され、市民の消防団に寄せられる期待は大きい。
これまでや改善等	の見直し	退団者の被服等を有	効活用するため、「予備被服エコバンク」制度を今後も継続し、経費削減に努める。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	_	ぎ妥当である まり妥当ではない	時代に即応した対応を図っており、団員数の充足率は97.3%となっている。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	■ A. 上が □ B. やか		全国的に消防団員が減少する中、大津市においては入団促進のホームページ等を活用して 、退団者の適正な補充により高い充足率を保持している。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高U □ B. やり □ C. やり	や高い や低い	市民への訓練指導回数については、一定の成果が得られているところではあるが、更に高 い技術と知識を持って指導に当たる消防団地域防災指導員の継続養成に努めている。
総合評価		国どおり事業を進める 業規模や見直しが必要	
施策への 貢献度		献している や貢献している まり貢献していない	市民を災害から守る消防団員の充実強化は、災害に強いまちづくりに貢献している。

□ D. 貢献していない **<6. 今後の方向性> ACTION**

_	<u> </u>		7 1 1			
I		■ 1. 現状のまま継続	□ 2. 見直しの上で継続	(□ 2-1. 拡充・重点化	と □ 2-2.手段等の改善	□ 2-3. 効率化
		□ 2-4. 簡素化・縮小	□ 2-5. 統合 □ 2-6. その	の他)		
ı	方向性	□ 3.終期の設定	□ 4.終了() 口 5. 休止	□ 6. 廃止	
ı	/J I ^H J III	消防団を中核とした地域防	災力の充実強化を図りつつ、:	各種事業を消防団と調整し	積極的に推進する。	
ı						
l		災害対応の原点は地域であ	ることから、消防団は地域の	中心となって総力を結集し	、地域の状況に応じて的確	に対応し
ı			このことから、消防団の活動	環境の整備等に引き続き努	力し、消防団を中心とする	地域の総
۱	コメント	合防災力の一層の充実強化	を推進すること。			
1						

区分	'	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	99.00 %	99. 00 %	98.00 %
達成率	指標2	288. 00 %	192. 00 %	238. 00 %
成 果	指標1	- %	±0.00 %	-1.01 %
増減率	指標2	- %	-33. 33 %	+23. 95 %
活動単位	指標1	97 千円	103 千円	93 千円
コスト	指標2	1,694 _{千円}	2,708 千円	1,932 千円
成果単位	指標1	1,283 _{千円}	1,367 _{千円}	1,222 千円
コスト	指標2	441 _{千円}	705 千円	503 千円
コスト増	減率	- %	+33.17 %	-19.61 %

	埋	ш . Л	<u> </u>	18														
部	局	名	消防局				所属	属 名 消防	坊総務課		所	属長	正田 正	道				
事系	冬事	業名	00268	司 所属名 消防総務課 8 □ 団消防車両等整備事業						Ē	入者	吉村 紀	.男					
										н	<u> </u>	H 13 4/C						
=	. 2	基本事																
	L	区分	コード	` <mark> 名 称</mark>						4	El +bn	消防力の)整備指針					
		方針	03	安心、惊	快適に住る	み続ける	ことので	できる活力の)あるまちを	創ります		艮 拠 去令等						
総合言		政策	01	安心. 5	安全に暮	らすこと	のできる	るまちにしま				□ □ □ □						
画の位						-		00000	• ,									
置付(† <u>_</u>	施策	01		害に強いまちづくりの推進							連する						
		視点	02	地域防犯	災力の向.	ᆫ						別計画						
		重事	04	消防団	を中核と	した地域	防災力♂	D向上			"	ж. П						
	T		<u>- F</u>				事	事 業 名	称			コード	Ī	所属名称				
関連	<u> </u>		•				T 101	于	1131				-	71 /120 [1 1/1]				
事業	_																	
ヌ	П	会	計	枠	事	業 種	別		予算	事業	名		始 期	• 終期				
予 算	ı	— 般	会計	政策	評価対象	東事業		団消防車両										
事	H							四万岁十四	寸正備臭									
業	ŀ																	
											方ぎょ活動の強							
事業の				護すると	こともに、	水火災	又は地震	等の災害を	防除し、これ	れらによる	る被害の軽減に	より、7	F民生活の3	好心・安				
概		全を確保	未する。															
1.75																		
				.,														
			■ 直宮	堂 🗆	指定管理	里者 口	民間委託	f 口出資	資団体委託	□ 補助	か金交付 □ そ	その他	()			
< 2.	. 4	事業分	析>	PLAN	1													
	E	目 的	5	市民の	安心・安:	全な生活	を確保す	「るため										
	_	 [のため	-															
				· 本 4 十 二 二	= - /:	·₩ 114 To ✓		ᇈᅖᆂᅶᅩᅶ	- 91≠±+±	.1. 포마루노 ㅗ .	±°> →°\ /= ~ /							
	×	対 象	₹	消防凹点	単脚寺()	用助小レ	/ ノ甲、小	12型ガルン	/ノ惧戦 早、	小空勤刀。	ポンプ)につい	٠, ١ ر						
	(何	又は誰	を)															
	月	手 段	ī Ž	更新と絹	維持管理	により												
ر شل)	መ ታ	こうなやり	(方で)															
()				\\/ BL = -	6 1 14 1			- 										
			7	■ 消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図る。														
		或		消防団	を中核と	した地垣	忧災力0) 充実強化を	図る。									
	よう	な状態に		消防団 (を中核と	した地垣	战防災力 <i>0</i>)充実強化を	巡る。									
	よう	な状態にで		消防団 6	を中核と	した地垣 <u></u>	就防災力 <i>0</i>)允美強化を	図る。									
	よう	な状態に	するのか)		を中核と 28年度		《防災力 <i>0</i> 19年度)充実強化を <mark>平成30年</mark> /		31年度	令和 2年度		/#	±.				
	よう	な状態に	するのか)	平成2	28年度	平成2	19年度	平成30年月	度 平成				備	考				
<3.	よう: . 爺	な状態にで	するのか) DO	平成2	28年度		9年度 [(千円)	平成30年, 決算額(千)	度 平成 円) 予算額	頁(千円)	見込額(千円)	備	考				
<3.	よう . 第 _ 直	接経費	するのか) DO	平成2	28年度 〔千円〕 23,328	平成2	29年度 i(千円) 16, 056	平成30年 決算額(千) 1,	度 平成 円) 予算 8	頁(千円) 1,905	見込額(千円 7,1	07	備	考				
<3.	よう	な状態にを接費>	<mark>するのか)</mark> DO	平成2	28年度 [(千円) 23, 328 4, 050	平成2	9年度 i(千円) 16,056 4,100	平成30年/ 決算額(干I 1, 4,	度 平成 円) 予算8 , 604 , 100	頁(千円) 1,905 4,100	<mark>見込額(千円</mark> 7,1 4,1	07 00	備	考				
<3.	よう	接経費	<mark>するのか)</mark> DO	平成2	28年度 〔千円〕 23,328	平成2	29年度 i(千円) 16, 056	平成30年/ 決算額(干I 1, 4,	度 平成 円) 予算 8	頁(千円) 1,905	見込額(千円 7,1	07 00	備	考				
<3.	よう	接経費と	<mark>するのか)</mark> DO	平成2	28年度 [(千円) 23, 328 4, 050	平成2	9年度 i(千円) 16,056 4,100	平成30年/ 決算額(干I 1, 4,	度 平成 円) 予算8 , 604 , 100	頁(千円) 1,905 4,100	<mark>見込額(千円</mark> 7,1 4,1	07 00	備	考				
43. 事業	はうんり	接経費と	DO A B A+B 国	平成2	28年度 〔千円〕 23, 328 4, 050 27, 378 0	平成2	29年度 (千円) 16, 056 4, 100 20, 156	平成30年/ 決算額(干I 1, 4,	度 平成 予算8 , 604 , 100 , 704 0	1,905 4,100 6,005 0	<mark>見込額(千円</mark> 7,1 4,1	07 00 07	備	考				
事業の財	直人費	接経費	DO A B A+B 国	平成2	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0	平成2	29年度 (千円) 16,056 4,100 20,156 0	平成30年/ 決算額(干I 1, 4,	度 平成 円) 予算名 , 604 , 100 , 704 0	1,905 4,100 6,005 0	見込額(千円 7,1 4,1 11,2	00 00 07 00 0	備	考				
43. 事業	直人費	接経費 件費 合計 人	DO A B A + B 国	平成2	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 0	平成2	9年度 (千円) 16, 056 4, 100 20, 156 0 0	平成30年/ 決算額(干I 1, 4,	度 平成 円) 予算者 , 604 , 100 , 704 0 0	1,905 4,100 6,005 0 0	<mark>見込額(千円</mark> 7,1 4,1	00 00 07 00 0	備	考				
事業の財	直人費	接軽費 件費 を計 を表	D O A B A + B 国	平成2	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 0 11, 100	平成2	9年度 (千円) 16, 056 4, 100 20, 156 0 0	平成30年/ 決算額(干) 1, 4, 5,	度 平成 予算者 , 604 , 100 , 704 0 0 0	1,905 4,100 6,005 0 0	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5	00 00 07 00 0 0 0	備	考				
事業の財	直人費	接軽費 件費 を計 を表	DO A B A + B 国	平成2	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 0	平成2	9年度 (千円) 16, 056 4, 100 20, 156 0 0	平成30年/ 決算額(干) 1, 4, 5,	度 平成 円) 予算者 , 604 , 100 , 704 0 0	1,905 4,100 6,005 0 0	見込額(千円 7,1 4,1 11,2	00 00 07 00 0 0 0	備	考				
事業の財	は「直人業」費原訳	な状態にで 経費> 接経費 件費 合計・ 起こ を費>	D O A B A + B 国	平成2	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 0 11, 100	平成2	9年度 (千円) 16, 056 4, 100 20, 156 0 0	平成30年/ 決算額(千/ 1, 4, 5,	度 平成 予算者 , 604 , 100 , 704 0 0 0	1,905 4,100 6,005 0 0	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5	00 00 00 00 0 0 0 0 0 0	備	考				
事業が内内	は「直人業」費原訳	な状態にで 経費> 接経費 件費・計・イー・ をは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	DO ABA+B 国具 債の他 線財源 (人)	平成2	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 0 11, 100 0 16, 278 0. 50	平成2	9年度 (千円) 16,056 4,100 20,156 0 0 0 20,156	平成30年/ 決算額(千) 1, 4, 5,	度 平成 円) 予算客 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 , 704	1,905 4,100 6,005 0 0 0 6,005	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0.	000 000 007 000 00 000 000 000	備	考				
本学 本の内 職員	は、一直人業・費原訳・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・	を状態に 経費	DO ABBA+B国具債の他と財源 (人)規	平成2	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 11, 100 0 16, 278 0. 50 0. 50	平成2	9年度 (千円) 16,056 4,100 20,156 0 0 0 20,156 0.50 0.50	平成30年/ 決算額(千/ 1, 4, 5,	度 平成 円) 予算客 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 , 704 0. 50	(千円) 1,905 4,100 6,005 0 0 0 6,005 0.50	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0.	000 000 000 000 000 000 000 000 000 00	備	考				
事業が調明を表現しています。	は、一直人業・費原訳・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・一覧・	接経費> 接経費> 接経費・費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A B A + B 国	平成2	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 11, 100 0 16, 278 0. 50 0. 50	平成2	9年度 (千円) 16, 056 4, 100 20, 156 0 0 20, 156 0. 50 0. 50	平成30年/ 決算額(干) 1, 4, 5,	度 平成 予算者 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 , 704 0. 50 0. 50 0. 00	1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0.	000 000 000 000 000 000 000 000 000 00	備	考				
本学学学 本の内 職の内 職の内 職の内 職の内 職の内 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	a	接機では、一般では、一般に、	DO A B A + B 国	平成2	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 11, 100 0 16, 278 0. 50 0. 50	平成2	9年度 (千円) 16,056 4,100 20,156 0 0 0 20,156 0.50 0.50	平成30年/ 決算額(干) 1, 4, 5,	度 平成 円) 予算客 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 , 704 0. 50	(千円) 1,905 4,100 6,005 0 0 0 6,005 0.50	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0.	000 000 000 000 000 000 000 000 000 00	備	考				
本学 本の内 職員	a	接経費> 接経費> 接経費・費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A B A + B 国	平成2	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 11, 100 0 16, 278 0. 50 0. 50	平成2	9年度 (千円) 16, 056 4, 100 20, 156 0 0 20, 156 0. 50 0. 50	平成30年/ 決算額(干) 1, 4, 5,	度 平成 予算者 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 , 704 0. 50 0. 50 0. 00	1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0.	000 000 000 000 000 000 000 000 000 00	備	考				
本学学学 本の内 職の内 職の内 職の内 職の内 職の内 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	a	接機では、一般では、一般に、	DO A B A + B 国	平成2 決算額	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 11, 100 0 16, 278 0. 50 0. 50	平成2	9年度 (千円) 16, 056 4, 100 20, 156 0 0 20, 156 0. 50 0. 50	平成30年/ 決算額(千/ 1, 4, 5,	度 平成 予算者 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 , 704 0. 50 0. 50 0. 00	(千円) 1,905 4,100 6,005 0 0 0 0 6,005 0.50 0.50 0.00	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0.	000 007 000 000 000 000 000 000 000 000	備		2年度			
本学学学 本の内 職の内 職の内 職の内 職の内 職の内 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	i	な状態にで 経費 > 接経費 ● おおり ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	A B A + B B 使 D B L C	平成2 決算額	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 0 11, 100 0 16, 278 0. 50 0. 50 0. 00	平成2	9年度 (千円) 16, 056 4, 100 20, 156 0 0 0 20, 156 0. 50 0. 50 0. 00	平成30年/ 決算額(千) 1, 4, 5,	度 平成円) 予算客 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 , 704 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	(千円) 1,905 4,100 6,005 0 0 0 0 6,005 0.50 0.50 0.00	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0. 0.	000 007 000 000 000 000 000 000 000 000			2年度			
***	は 1 直 人 業 費原訳 数訳 1 / j	接機とは、大きな状態にできます。 接機 はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	A B A + B B 使 D B L C	平成2決算額	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 0 11, 100 0 16, 278 0. 50 0. 50 0. 00	平成2	9年度 (千円) 16, 056 4, 100 20, 156 0 0 0 20, 156 0. 50 0. 50 0. 00	平成30年/ 決算額(千/ 1, 4, 5,	度 平成円) 予算名 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 704 0 50 0 50 0 00 0 00 0 1 50 0 00 0 00 0	(千円) 1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50 0. 00	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0. 0. 0.	000 007 000 000 000 000 000 000 000 000	1 Pink	31年度 令和				
***	よ . / 直 人業 費原訳 数訳 . <td< th=""><th>な状態に発養> 接経費> 接経費 費 が が が が が が が が が が が が が が が が が が</th><th>A B A + B Q 財人 B B A B B <</th><th>平成2 決算額</th><th>28年度 (千円) 23,328 4,050 27,378 0 0 11,100 0 16,278 0.50 0.50 0.00</th><th>平成2</th><th>9年度 (千円) 16,056 4,100 20,156 0 0 20,156 0.50 0.50 0.00</th><th>平成30年/ 決算額(千) 1, 4, 5,</th><th>度 平成円) 予算客 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 , 704 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00</th><th>(千円) 1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50 0. 00</th><th>見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0. 0.</th><th>000 007 000 000 000 000 000 000 000 000</th><th></th><th>31年度 令和</th><th>2年度 1</th></td<>	な状態に発養> 接経費> 接経費 費 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	A B A + B Q 財人 B B A B B <	平成2 決算額	28年度 (千円) 23,328 4,050 27,378 0 0 11,100 0 16,278 0.50 0.50 0.00	平成2	9年度 (千円) 16,056 4,100 20,156 0 0 20,156 0.50 0.50 0.00	平成30年/ 決算額(千) 1, 4, 5,	度 平成円) 予算客 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 , 704 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	(千円) 1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50 0. 00	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0. 0.	000 007 000 000 000 000 000 000 000 000		31年度 令和	2年度 1			
***	i	な状態に発達 接経費 接経費 との	A B B A B A B A B B B<	平成2 決算額 標点 は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	28年度 (千円) 23,328 4,050 27,378 0 0 11,100 0 16,278 0.50 0.50 0.00 0.00	平成2決算額	9年度 (千円) 16,056 4,100 20,156 0 0 20,156 0.50 0.50 0.00	平成30年/ 決算額(千) 1, 4, 5,	度 平成円) 予算名 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 704 0 50 0 50 0 00 0 00 0 1 50 0 00 0 00 0	(千円) 1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50 0. 00	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0. 0. 0.	000 007 000 000 000 000 000 000 000 000	1 Pink	31年度 令和	2年度 1 -			
Name	<u> </u>	な状態に発達 と 接種 と と と を と を を を を を を を を を を を を を を	A B B A B A B A B B B<	平成2 決算額 標点 は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	28年度 (千円) 23,328 4,050 27,378 0 0 11,100 0 16,278 0.50 0.50 0.00	平成2決算額	9年度 (千円) 16,056 4,100 20,156 0 0 20,156 0.50 0.50 0.00	平成30年/ 決算額(千/ 1, 4, 5, () () () 位 台	度 平成 円) 予算者 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0, .704 0. 50 0. 50 0. 00 0 0 0 = text =	(千円) 1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50 0. 00	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0. 0. 0.	000 007 000 000 000 000 000 000 000 000	1 Pink	31年度 令和	2年度 1 - 1			
Name	<u> </u>	な状態に発達 接経費 接経費 との	A B B A B A B A B B B<	平成2 決算額 標点 は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	28年度 (千円) 23,328 4,050 27,378 0 0 11,100 0 16,278 0.50 0.50 0.00 0.00	平成2決算額	9年度 (千円) 16,056 4,100 20,156 0 0 20,156 0.50 0.50 0.00	平成30年/ 決算額(千) 1, 4, 5,	度 平成 円) 予算名 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 704 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00 1 目標・実績 目標 実績	(千円) 1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50 0. 00	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0. 0. 0.	000	1 Pink	31年度 令和	2年度 1 - 1			
Name	<u> </u>	な状態に 接機 接機 とこれ とこれ とこれ とこれ とこれ とう は 大き は 大	A B A H B B D B D B T D B T D B D D D D D D D D	平成2決算額	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 0 11, 100 0 16, 278 0. 50 0. 00 0. 00 8ペンプ積車 ポンプ積車	平成2 決算額	9年度 (千円) 16,056 4,100 20,156 0 0 20,156 0.50 0.50 0.00	平成30年/ 決算額(千/ 1, 4, 5, () () () 位 台	度 平成 円) 予算者 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0, .704 0. 50 0. 50 0. 00 0 0 0 = text =	(千円) 1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50 0. 00	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0. 0. 0. 1 1	000	80年度 平成 1 0	31年度 令和	2年度 1 1			
Name	(a) (b) (c) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d	な状態に 接機 接件 投費 経件 起その 地元 機 がの 防の 防型 型 は と と と と と と と と と と と と <th>A B A H B B B D B D B T B D</th> <th>平成2 決算額 標小型 小新規 財 小新規 規</th> <th>28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 0 11, 100 0 16, 278 0. 50 0. 00 0. 00 0. 00 ポンプ積車 ポンプ積車</th> <th>平成2 決算額</th> <th>9年度 (千円) 16,056 4,100 20,156 0 0 20,156 0.50 0.50 0.00</th> <th>平成30年/ 決算額(千/ 1, 4, 5, () () () 位 台</th> <th>度 平成 円) 予算名 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 0 0 50 0 50 0 00 0 00 0 00</th> <th>1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00</th> <th>見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0. 0. 1 1 1</th> <th>000 007 000 000 000 000 000 000 000 000</th> <th>10年度 平成 1 0</th> <th>31年度 令和 1 - 1</th> <th>1</th>	A B A H B B B D B D B T B D	平成2 決算額 標小型 小新規 財 小新規 規	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 0 11, 100 0 16, 278 0. 50 0. 00 0. 00 0. 00 ポンプ積車 ポンプ積車	平成2 決算額	9年度 (千円) 16,056 4,100 20,156 0 0 20,156 0.50 0.50 0.00	平成30年/ 決算額(千/ 1, 4, 5, () () () 位 台	度 平成 円) 予算名 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 0 0 50 0 50 0 00 0 00 0 00	1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0. 0. 1 1 1	000 007 000 000 000 000 000 000 000 000	10年度 平成 1 0	31年度 令和 1 - 1	1			
Name	(a)	な状態/こ 接機 接機 機 上で般 上で般 上でんり はこの は と は と と と と と と と と と と と と と と と と<	A B A B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 標小型 小新規 財 小新規 規	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 0 11, 100 0 16, 278 0. 50 0. 00 0. 00 8ペンプ積車 ポンプ積車	平成2 決算額	9年度 (千円) 16,056 4,100 20,156 0 0 20,156 0.50 0.50 0.00	平成30年/ 決算額(千) 1, 4, 5, (0 (0 (0 位 台 は更新	度 平成 円) 予算名 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 704 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00 1 目標・実績 目標 実績	1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0. 0. 0. 1 1 1 0 0 0 1	000 007 000 000 000 000 000 000	1 0 1 0	31年度 令和	2年度 1 1 - 1 100			
Name	i 人	な状態に接換を接換を接換を表する。 とは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	A B A H B B B B B B B B B B B B B B B B	平成なき、中ではははは、中でははは、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中で	28年度 (千円) 23,328 4,050 27,378 0 0 11,100 0 16,278 0.50 0.00 0.00 27積載 ペインプ積 素入又は見	平成22 決算額	9年度 (千円) 16, 056 4, 100 20, 156 0 0 20, 156 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30年 決算額(千) 1, 4, 5, 5, 位 位 台 は更新 台	度 平成 円) 予算名 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 0 0 50 0 50 0 00 0 00 0 00	1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0. 0. 1 1 1 1	000 007 000 000 000 000 000 000 000 000	10年度 平成 1 0	31年度 令和 1 - 1	1			
V 事の内 職の V 活動指標 成 1 1 1 1 1 1 1 1 1	i 人	な状態に接換を接換を接換を表する。 とは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	A B A H B B B B B B B B B B B B B B B B	平成なき、中ではははは、中でははは、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中で	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 0 11, 100 0 16, 278 0. 50 0. 00 0. 00 0. 00 ポンプ積車 ポンプ積車	平成22 決算額	9年度 (千円) 16, 056 4, 100 20, 156 0 0 20, 156 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30年 決算額(千) 1, 4, 5, 5, 位 位 台 は更新 台	度 平成 円) 予算名 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 0 0, 704 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00 0 0 0 目標・実績 目標 実績	1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0. 0. 0. 1 1	000 007 000 000 000 000 000 000	1 0 1 0	31年度 令和 1 - 1	1 1			
V 事の内 職の V 活動指標 成果指 成果指 1		な状態に 接性 接性 大田	A B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成なき、中ではははは、中でははは、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中で	28年度 (千円) 23,328 4,050 27,378 0 0 11,100 0 16,278 0.50 0.50 0.00 0.00 0.00	平成22 決算額	9年度 (千円) 16, 056 4, 100 20, 156 0 0 20, 156 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30年 決算額(千) 1, 4, 5, 5, 位 位 台 は更新 台	度 平成 予算名 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 0 , 704 0. 50 0. 50 0. 00 0 0 0 0 目標・実績 目標 実績	1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0. 0. 0. 1 1 1 1 0 0 0	00 10 10 10 10 10 10 10	100 100 0	31年度 令和 1 - 100 -	1 1 - 100			
Name	<u>。 </u>	な状態に 接性 接性 大田	A B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成なき、中ではははは、はののでは、はは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	28年度 (千円) 23,328 4,050 27,378 0 0 11,100 0 16,278 0.50 0.50 0.00 0.00 0.00	平成22 決算額	9年度 (千円) 16, 056 4, 100 20, 156 0 0 20, 156 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30年 決算額(千) 1, 4, 5, 5, 位 位 台 は更新 台	度 円) 予算名 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 0 0 50 0 50 0 00 0 50 0 50 0 50 0 目標・実績 目標 実績	1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0. 0. 0. 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	00	100 100 100 100	31年度 令和 1 - 1	1 1			
Name	<u>。 </u>	な状態 接件 接件 最大 機構 防の防型 型防実 部型 大 大 <tr< th=""><th>A B A B B B B B B B B B B B B B B B B B</th><th>平成2 決</th><th>28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 0 11, 100 0 16, 278 0. 50 0. 00 0. 00 0. 7 7 7 7 7 7 7 7 7 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</th><th>平成2 決算額</th><th>9年度 (千円) 16,056 4,100 20,156 0 0 20,156 0.50 0.00 0.00</th><th>平成30年 決算額(千) 1, 4, 5, 0 0 位 台 は更新 台</th><th>度 平成 円) 予算名 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 0 0 50 0 50 0 00 0 00 0 50 0 0 50 0 0 0 0</th><th>1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00</th><th>見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0. 0. 0. 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</th><th>00 10 10 10 10 10 10 10 </th><th>100 100 0</th><th>31年度 令和 1 - 100 -</th><th>1 1 - 100 -</th></tr<>	A B A B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決	28年度 (千円) 23, 328 4, 050 27, 378 0 0 11, 100 0 16, 278 0. 50 0. 00 0. 00 0. 7 7 7 7 7 7 7 7 7 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	平成2 決算額	9年度 (千円) 16,056 4,100 20,156 0 0 20,156 0.50 0.00 0.00	平成30年 決算額(千) 1, 4, 5, 0 0 位 台 は更新 台	度 平成 円) 予算名 , 604 , 100 , 704 0 0 0 0 0 0 0 50 0 50 0 00 0 00 0 50 0 0 50 0 0 0 0	1, 905 4, 100 6, 005 0 0 0 6, 005 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	見込額(千円 7,1 4,1 11,2 1,5 9,7 0. 0. 0. 0. 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	00 10 10 10 10 10 10 10	100 100 0	31年度 令和 1 - 100 -	1 1 - 100 -			

事業を明 社会環境		近年、予想しがたい なっている。	様々な自然災害等が相次ぎ発生する中、消防関係機関に寄せられる市民の期待は年々大きく
これまでの見直し や改善等の経過 消防団車両等につい		消防団車両等につい	ては、計画の実現性や費用対効果を考慮し、時代に即した改善に取り組んできた。
項目別評価	評価		評 価 理 由
妥 当性 (実施主体又は	■ A. 妥 □ B. ほ	当である ぼ妥当である	学区を単位とした分団車両の配備や災害時に孤立する地域等には積載車両を配置している ことから、その配置、更新計画は妥当である。
手段は妥当か)		まり妥当ではない 当ではない	
有効性 (事業分析の 「成果」欄に	_	がっている や上がっている	消防車両を活用した消防防災活動が行われていることから、災害現場対応の充実が図られている。ただし、車両更新は財政需要を考慮し、一部計画を見直し対応している。
記載の成果は上がっているか)		まり上がっていない がっていない	
効 率 性 (事業手法は効	■ A. 高 □ B. や		当初の車両更新計画を見直した上で消防力を維持していることから、効率性は高い。
率的である か。)	□ C. や □ D. 低	. 12	
総合評価	□ 1. 計画どおり事業を進める■ 3. 事業規模や見直しが必要		
施策への貢献度	□ B. や	献している や貢献している まり貢献していない	消防団車両等の更新は、災害対応を図る上で最も重要であり、災害に強いまちづくりに貢献している。

□ D. 貢献していない <6. 今後の方向性> ACTION

_	₹0. 70	その方向性> ACIIC	J N			
I		□ 1. 現状のまま継続	■ 2. 見直しの上で継続	(□ 2-1. 拡充・重点化	□ 2-2. 手段等の改善	■ 2-3. 効率化
I		□ 2-4. 簡素化・縮小	□ 2-5. 統合 □ 2-6. その	か他)		
I	方向性	□ 3.終期の設定	□ 4.終了() 口 5. 休止	□ 6. 廃止	
I	7) III II	消防団車両等の更新整備に	ついては、地域防災力の充実強	強化に欠かせない事業である	ことから、財政需要及び	予算の効
I		率的な分配を考慮し、消防	団と調整・検討を図りつつ配伽	備基準を見直す		
I						
Į						
I			、財政需要と地域の特性を踏ま	まえ、効果的効率的な活動を	そ考慮し、大津市消防団車	「両等再編
	部局長	に係る検討委員会にて適正	な配置を検討すること。			
	コメント					
ш						

区分	'	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	100.00 %	100.00 %	0.00 %
達成率	指標2	0.00 %	50.00 %	0.00 %
成 果	指標1	- %	±0.00 %	-100.00 %
増減率	指標2	- %	±0.00 %	-100. 00 %
活動単位	指標1	27,378 千円	20, 156 千円	0 _{千円}
コスト	指標2	0 千円	20, 156 千円	0 _{千円}
成果単位	指標1	273 _{千円}	201 _{千円}	0 _{千円}
コスト	指標2	0 千円	403 千円	0 _{千円}
コスト増	減率	- %	-13.18 %	±0.00 %

-	整理	番号	4	19	<u></u>										
_			消防局				所属	名 消防	総務課		所属				
		事業名		団員防火	火衣更新事	業					記力	吉	村 紀男		
<	<u>1.</u>	基本事項													
		区分	コード			2	<u> </u>		称		tB.	の服制に			
		方針	03	安心、性	夬適に住∂	≯続けること	とので	きる活力の	あるまちを創	削ります	根 法令		する規則		
総合	計	政策	01	安心、乳	安全に暮ら	うすことの [™]	できる	まちにしまっ	す		1	74 13 47			
画の置作		施策	01	災害に引	強いまちつ	づくりの推進	進				22.4				
<u> -</u>	1.7	視点	02		災力の向」						要 要 要 題 題				
		重事	04			□核とした地域防災力の向上					川凹 刀切	計画			
			<u>ード</u>	flane.	<u> </u>			事業名	称			- F	所 属:	名 称	
関	連							-	1.					н	
争	業											 			
		会	<u>=</u> +	枠	事	業種別			<u> </u>	事 業 名		į,	始 期 ・ 終	甘日	
The second second	予		会計		評価対象		E	ᄀᄝᅄᆡᅕᄸ				平成27年		別 令和 2年度	
筝哥	丰	<i>1</i> 11×	云山	有Æ	計画かっっへ	.争未		∄員防火 套₹	等更新事業費	į		十八八一	-	市和 4十次	
学	業				——		\dashv								
		温性出售	うが行な	マル※既	三学上活動	137(警戒兒	- 動 笔 (ーセハて、ト	コ昌の安全を	一体促するが	こめに必要な防	小服変の事	立た行う.		
		消削证券	すいいい	フス火火	してかいか	及ひ言ルル	ⅰ割≒・	- おい・、、 -]]貝いメエに	(唯体) 心	このハー心女 ひゃ	火服寺い人	! 新を1」ノ。		
事 類 概	美の 画	l													
枕	安	1													
	-14	<u> </u>	- 			~ =:	=-	— .1.5/m	*	· ** *** ** **	- 7.6				
			■直営			者 口民間	『委託	□出貨	団体委託	□ 補助金	ዽ交付 □ その	0他 ()	
<u><</u>		事業分		PLAN											
		目 的		消防団具	の安全的	権保を図るた	こめ								
		可のために													
		対 象		消防団貞	員の防火肌	最等を各分団	团 3 式	(105式))の更新を						
	(作	可又は誰る	を)												
		手 段	Į.	2 7 年月	复中にリ-	-ス契約に。	よって	一斉更新す	ることにより	J					
(,	どの。	ようなやり	(方で)												
		成 果	1	多くのシ	肖防団員#	が安全性のア	高い防	火服を着装	し、安全確保	呆を図りつ	つ消火活動等が	が実施できる	3		
كغ)		うな状態にす	-										-		
		経費>	DO												
	Ħ	<u> </u>													
				平成2	28年度	平成29年	度	平成30年度	〒 ▼成3	日年度	令和 2年度				
						平成29年		平成30年度			令和 2年度 見込額(千円)		備考	;	
	直	·	Δ		〔千円〕	決算額(千	円)	決算額(千円	円) 予算額	(千円)	見込額(千円)		備考	†	
		接経費件費			(千円) 4,694	<mark>決算額(千</mark> 4,	· 円) , 275	<mark>決算額(千円</mark> 1,	<mark>円) 予算額</mark> 538	1,538	<mark>見込額(千円)</mark> 897		備考	;	
	人	、件 費	В		(千円) 4,694 3,240	決算額(千 4, 3,	円) , 275 , 280	決算額(千P 1, ! 3, ;	円)予算額538280	1,538 3,280	<mark>見込額(千円)</mark> 897 3, 280		備考	į	
事	人	、件 費 費合計 A	B 4+B		(千円) 4,694 3,240 7,934	決算額(千 4, 3,	円) , 275 , 280 , 555	決算額(千P 1, ! 3, ;	円) 予算額 538 280 818	1,538 1,538 3,280 4,818	<mark>見込額(千円)</mark> 897 3,280 4,177		備考	į	
	人 事業費	、件 費 費合計 A 	B 4 + B B		4, 694 3, 240 7, 934 0	決算額(千 4, 3,	円) , 275 , 280 , 555 0	決算額(千P 1, ! 3, ;	円) 予算額 538 280 818 0	1,538 3,280 4,818 0	<mark>見込額(千円)</mark> 897 3, 280 4, 177 0		備考	į.	
事業の則	人 事業 費 課 費 源	、件 費 費合計 A E	B A+B 国		4, 694 3, 240 7, 934 0 0	決算額(千 4, 3,	, 275 , 280 , 555 0 0	決算額(千P 1, ! 3, ;	円) 予算額 538 280 818 0 0 0	1,538 3,280 4,818 0 0	<mark>見込額(千円)</mark> 897 3,280 4,177 0		備考	;	
事業の則	人 事業弱 業費	、件 費 費合計 A 里 「児 」 起	B A + B 国 県		4,694 3,240 7,934 0 0	決算額(千 4, 3,	円) , 275 , 280 , 555 0 0	決算額(千P 1, ! 3, ;	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0	1,538 3,280 4,818 0 0	<mark>見込額(千円)</mark> 897 3,280 4,177 0 0		備考	÷	
事業の則	人 事業 費 課 費 源	、件 費 費合計 A 厚 児 起	B A+B 国 限 債		4,694 3,240 7,934 0 0 0	決算額(干 4, 3, 7,	円) , 275 , 280 , 555 0 0 0	決算額(千円 1, 9 3, 2 4, 8	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 0 0	1,538 3,280 4,818 0 0 0	<mark>見込額(千円)</mark> 897 3,280 4,177 0 0 0		備考		
事第の内	人	、件 費 費合計 A 国 男 起 その 一般	B A+B 国 限 債 D他		4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934	決算額(千 4, 3, 7,	円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 0 0	決算額(千P 1, ! 3, ; 4, ! 4, !	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 0 0 818 0	1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818	<mark>見込額(千円)</mark> 897 3,280 4,177 0 0 0 0 4,177		備考	;	
事第の内	人 業 費源訳	件 費 費合計 A 厚 見 見 をの 一般 員 数	B A+B 国 標 債 D他 対源		4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40	決算額(千 4, 3, 7,	円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 0 , 555	決算額(千円 1, ¹ 3, ² 4, ⁸ 4, ⁸	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 0 818	1,538 3,280 4,818 0 0 0 4,818 0.40	<mark>見込額(千円)</mark> 897 3,280 4,177 0 0 0 4,177 0.40		備考	; 	
事第の内内	人 業 費源訳 職	件 費 費合計 A 厚 見 起 一一般 員 数 正	B A+B 国 見 債 D他 財源 (人)		4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934	決算額(千 4, 3, 7,	円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 0 0	決算額(千円 1, ¹ 3, ² 4, ⁸ 4, ⁸	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 0 0 818 0	1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818	<mark>見込額(千円)</mark> 897 3,280 4,177 0 0 0 0 4,177		備考		
事第の内	事 業材 職 貴	件 書 費合計 A 国 男 起 その 一般 数 正 嘱	B A + B 国		4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40	決算額(干 4, 3, 7,	・円) ・275 ・280 ・555 ・0 ・0 ・0 ・0 ・555 0. 40 0. 40 0. 40	決算額(千円 1, 9 3, 2 4, 8 4, 8 0, 0	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 818 0.40 0.40	1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40	<mark>見込額(千円)</mark> 897 3,280 4,177 0 0 0 4,177 0.40 0.40		備考		
事の内 職の	事業財 職員內 人業 費源訳 一次 数訳	件 費 費合計 A E 厚 見 起 C O 一般	B A+B 国 見 債 D他 財源 (人)		4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40	決算額(干 4, 3, 7,	. 275 . 280 . 555 0 0 0 0 . 555 0. 40 0. 40	決算額(千円 1, 9 3, 2 4, 8 4, 8 0, 0	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 818 0.40	1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818 0.40	<mark>見込額(千円)</mark> 897 3,280 4,177 0 0 0 4,177 0.40		備		
事の内間で開発しています。	事業財 職員內 人業 費源訳 一次 数訳	件 書 費合計 A 国 男 起 その 一般 数 正 嘱	B A + B 国		4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40	決算額(干 4, 3, 7,	・円) ・275 ・280 ・555 ・0 ・0 ・0 ・0 ・555 0. 40 0. 40 0. 40	決算額(千円 1, 9 3, 2 4, 8 4, 8 0, 0	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 818 0.40 0.40	1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40	<mark>見込額(千円)</mark> 897 3,280 4,177 0 0 0 4,177 0.40 0.40		備考		
事の内職の人	事業財 職員內 人業 費源訳 一次 数訳	件 費 費合計 A E 厚 見 起 C O 一般	BA+BA A = R 使 D b m (D b m (D b m (D d D d D d D d D d D d D d D d D d D d		4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40	決算額(干 4, 3, 7,	・円) ・275 ・280 ・555 ・0 ・0 ・0 ・0 ・555 0. 40 0. 40 0. 40	決算額(千円 1, 9 3, 5 4, 8 4, 8 0, 0 0, 0	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 818 0.40 0.40	1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40	見込額(千円) 897 3,280 4,177 0 0 0 4,177 0,40 0,00 0,00	平成30年度			
事の内職の人	事業財 職員內 人業 費源訳 動 数訳	件 費 費合計 A E 厚 見 起 C O 一般	B A+B 国 表 (表) (人) 規 記 氏 日 (力) 日 (表) 日 (日 (表) 日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日	決算額	4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40 0.00 0.00	決算額(干 4, 3, 7,	P円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 0 , 555 0. 40 0. 40 0. 00 0. 00	決算額(千円 1, 9 3, 2 4, 8 0, 0, 0, 0, 0,	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 818 0.40 0.40	1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.00 0.00	見込額(千円) 897 3,280 4,177 0 0 0 4,177 0.40 0.40 0.00 0.00		平成31年度	令和 2年度	
事の内職の人	事業財 職員內 人業 費源訳 動 数訳	件 費 を計 A を	B A+B 国 表 (表) (人) 規 記 氏 日 (力) 日 (表) 日 (日 (表) 日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日	決算額	4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40 0.00 0.00	決算額(干 4, 3, 7,	P円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 0 , 555 0. 40 0. 40 0. 00 0. 00	決算額(千円 1, 9 3, 5 4, 8 4, 8 0, 0 0, 0	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 818 0.40 0.40 0.00 0.00	1,538 3,280 4,818 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40 0.00	見込額(千円) 897 3,280 4,177 0 0 0 4,177 0.40 0.40 0.00 0.00 0.00	平成30年度	₹ <mark>平成31年度</mark> 0 (令和 2年度	
事の内 職の く	事業材 職 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物	件 費 を計 A を	BA+B A+B A B (決算額	4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40 0.00 0.00	決算額(干 4, 3, 7,	P円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 0 , 555 0. 40 0. 40 0. 00 0. 00	決算額(千円 1, 9 3, 2 4, 8 0, 0, 0, 0, 0,	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 818 0.40 0.40 0.00	1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40 0.00 0.00	見込額(千円) 897 3,280 4,177 0 0 0 4,177 0.40 0.40 0.00 0.00 0.00	平成30年度	₹ <mark>平成31年度</mark> 0 (令和 2年度	
事の内 職の く	事業材 職 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物	供費 付合計 起の 一般 工嘱 指標 数 指標	BA+B A+B A B (決算額	4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40 0.00 0.00	決算額(干 4, 3, 7,	P円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 0 , 555 0. 40 0. 40 0. 00 0. 00	決算額(千円 1, 9 3, 2 4, 8 0, 0, 0, 0, 0,	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 818 0.40 0.40 0.00 1.00	1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40 0.00 0.00	見込額(千円) 897 3,280 4,177 0 0 0 4,177 0.40 0.40 0.00 0.00 0.00	平成30年度	₹ <mark>平成31年度</mark> 0 (令和 2年度	
事の内 職の く	事 業材 職	供費 付合計 起の 一般 工嘱 指標 数 指標	BA+B A+B A B (決算額	4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40 0.00 0.00	決算額(干 4, 3, 7,	P円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 0 , 555 0. 40 0. 40 0. 00 0. 00	決算額(千円 1, 9 3, 2 4, 8 0, 0, 0, 0, 0,	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 818 0.40 0.00 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00	1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40 0.00 0.00	見込額(千円) 897 3,280 4,177 0 0 0 4,177 0.40 0.40 0.00 0.00 0.00	平成30年度	₹ <mark>平成31年度</mark> 0 (令和 2年度	
事の内 職の く	事業材 職 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物	供費 付合計 起の 一般 工嘱 指標 数 指標	BA+B A+B A B (決算額	4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40 0.00 0.00	決算額(干 4, 3, 7,	P円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 0 , 555 0. 40 0. 40 0. 00 0. 00	決算額(千円 1, 9 3, 2 4, 8 0, 0, 0, 0, 0,	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 818 0.40 0.40 0.00 1.00	1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40 0.00 0.00	見込額(千円) 897 3,280 4,177 0 0 0 4,177 0.40 0.40 0.00 0.00 0.00	平成30年度	₹ <mark>平成31年度</mark> 0 (令和 2年度	
事の内 職の く	事 業材 職	# 付	BA+B A+B A B (決算額	4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40 0.00 0.00	決算額(干 4, 3, 7,	P円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 0 , 555 0. 40 0. 40 0. 00 0. 00	決算額(千円 1, 9 3, 2 4, 8 0, 0, 0, 0, 0,	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 818 0.40 0.40 0.00 0.00 目標・実績 目標 実績	1,538 3,280 4,818 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40 0.00 0.00	見込額(千円) 897 3,280 4,177 0 0 0 4,177 0.40 0.40 0.00 0.00 *** *** *** **	平成30年度 (E 平成31年度 0 (令和 2年度 0 0	
事の内 職の く	大学	供費 付合計 起の 一般 工嘱 指標 数 指標	BA+B A+B A B (決算額	4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40 0.00 0.00	決算額(干 4, 3, 7,	円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 , 555 0. 40 0. 40 0. 00 0. 00	決算額(千円 1, 9 3, 2 4, 8 0, 0, 0, 0, 0,	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 818 0.40 0.40 0.00 0.00 1.00 1.00 1.00 1.00	1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40 0.00 0.00	現込額(千円) 897 3,280 4,177 0 0 4,177 0,40 0,40 0,00 0,00 0,00	平成30年度 (E 平成31年度 0 (令和 2年度 0 0	
事の内 職の く	事 業材 職	費 A 日 B 上 C 日 B 上 E 日 D 日 E 日 D 日 </th <th>B A + B B B B B B B B B B B B B B B B B</th> <th>標</th> <th>4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40 0.00 0.00</th> <th>決算額(干 4, 3, 7,</th> <th>円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 , 555 0. 40 0. 40 0. 00 0. 00</th> <th>決算額(千円 1, 9 3, 5 4, 8 0, 0 0, 0 位 式</th> <th>円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 818 0.40 0.40 0.00 0.00 目標・実績 目標 実績</th> <th>1,538 3,280 4,818 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40 0.00 0.00</th> <th>現込額(千円) 897 3,280 4,177 0 0 4,177 0,40 0,40 0,00 0,00 0,00</th> <th>平成30年度 (</th> <th>E 平成31年度 0 (</th> <th>令和 2年度 0 0</th>	B A + B B B B B B B B B B B B B B B B B	標	4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40 0.00 0.00	決算額(干 4, 3, 7,	円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 , 555 0. 40 0. 40 0. 00 0. 00	決算額(千円 1, 9 3, 5 4, 8 0, 0 0, 0 位 式	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 818 0.40 0.40 0.00 0.00 目標・実績 目標 実績	1,538 3,280 4,818 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40 0.00 0.00	現込額(千円) 897 3,280 4,177 0 0 4,177 0,40 0,40 0,00 0,00 0,00	平成30年度 (E 平成31年度 0 (令和 2年度 0 0	
事の内職の人	大学	費 A 日 B 上 C 日 B 上 E 日 D 日 E 日 D 日 </th <th>B A + B B B B B B B B B B B B B B B B B</th> <th>決算額</th> <th>4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40 0.00 0.00</th> <th>決算額(干 4, 3, 7,</th> <th>円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 , 555 0. 40 0. 40 0. 00 0. 00</th> <th>決算額(千円 1, 9 3, 5 4, 8 0, 0 0, 0 位 式</th> <th>円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 0 818 0.40 0.00 0.00 目標・実績 目標 実績</th> <th>1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40 0.00 0.00</th> <th>現込額(千円) 897 3,280 4,177 0 0 4,177 0,40 0,40 0,00 0,00 0,00</th> <th>平成30年度 (</th> <th>E 平成31年度 0 (</th> <th>令和 2年度 0 0</th>	B A + B B B B B B B B B B B B B B B B B	決算額	4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40 0.00 0.00	決算額(干 4, 3, 7,	円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 , 555 0. 40 0. 40 0. 00 0. 00	決算額(千円 1, 9 3, 5 4, 8 0, 0 0, 0 位 式	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 0 818 0.40 0.00 0.00 目標・実績 目標 実績	1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40 0.00 0.00	現込額(千円) 897 3,280 4,177 0 0 4,177 0,40 0,40 0,00 0,00 0,00	平成30年度 (E 平成31年度 0 (令和 2年度 0 0	
事の内 職の く	人業 費源訳 数訳 1 2 1	費 A 日 B 上 C 日 B 上 E 日 D 日 E 日 D 日 </th <th>B A + B B B B B B B B B B B B B B B B B</th> <th>標</th> <th>4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40 0.00 0.00</th> <th>決算額(干 4, 3, 7,</th> <th>円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 , 555 0. 40 0. 40 0. 00 0. 00</th> <th>決算額(千円 1, 9 3, 5 4, 8 0, 0 0, 0 位 式</th> <th>円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 818 0.40 0.40 0.00 0.00 1.00 1.00 1.00 1.00</th> <th>1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40 0.00 0.00</th> <th>現込額(千円) 897 3,280 4,177 0 0 4,177 0,40 0,40 0,00 0,00 0,00</th> <th>平成30年度 (</th> <th>E 平成31年度 0 (</th> <th>令和 2年度 0 0</th>	B A + B B B B B B B B B B B B B B B B B	標	4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40 0.00 0.00	決算額(干 4, 3, 7,	円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 , 555 0. 40 0. 40 0. 00 0. 00	決算額(千円 1, 9 3, 5 4, 8 0, 0 0, 0 位 式	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 818 0.40 0.40 0.00 0.00 1.00 1.00 1.00 1.00	1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40 0.00 0.00	現込額(千円) 897 3,280 4,177 0 0 4,177 0,40 0,40 0,00 0,00 0,00	平成30年度 (E 平成31年度 0 (令和 2年度 0 0	
事の内 職の	大学	費 A 日 B 上 C 日 B 上 E 日 D 日 E 日 D 日 </th <th>B A + B B B B B B B B B B B B B B B B B</th> <th>標</th> <th>4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40 0.00 0.00</th> <th>決算額(干 4, 3, 7,</th> <th>円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 , 555 0. 40 0. 40 0. 00 0. 00</th> <th>決算額(千円 1, 9 3, 5 4, 8 0, 0 0, 0 位 式</th> <th>円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 0 818 0.40 0.00 0.00 目標・実績 目標 実績</th> <th>1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40 0.00 0.00</th> <th>現込額(千円) 897 3,280 4,177 0 0 4,177 0,40 0,40 0,00 0,00 0,00</th> <th>平成30年度 (</th> <th>E 平成31年度 0 (</th> <th>令和 2年度 0 0</th>	B A + B B B B B B B B B B B B B B B B B	標	4,694 3,240 7,934 0 0 0 0 7,934 0.40 0.40 0.00 0.00	決算額(干 4, 3, 7,	円) , 275 , 280 , 555 0 0 0 , 555 0. 40 0. 40 0. 00 0. 00	決算額(千円 1, 9 3, 5 4, 8 0, 0 0, 0 位 式	円) 予算額 538 280 818 0 0 0 0 0 0 818 0.40 0.00 0.00 目標・実績 目標 実績	1,538 3,280 4,818 0 0 0 0 4,818 0.40 0.40 0.40 0.00 0.00	現込額(千円) 897 3,280 4,177 0 0 4,177 0,40 0,40 0,00 0,00 0,00	平成30年度 (E 平成31年度 0 (令和 2年度 0 0	

事業を耳 社会環境			た地域防災力の充実強化に関する法律」の施行により、消防団の装備の改善について、国や な処置を講ずることが規定されている。
これまでの見直し や改善等の経過			平成3年の配備から経年による劣化が著しく、平成27年にリース契約により更新整備を行
項目別評価	ⅰ 評 価		評 価 理 由
	■ A. 妥当	áである	「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づくもので、地域防災の
妥当性	□ B. ほほ	ぼ妥当である	中心的立場である消防団員の安全確保を図ることは妥当である。
(実施主体又は 手段は妥当か)	□ C. あま	きり妥当ではない	
	□ D. 妥当	首ではない	
有 効 性	■ A. 上か	がっている	認識性の高い最新の防火服に更新することにより、災害現場等における消防団員の安全が
(事業分析の 「成果」欄に	□ B. やt	5上がっている	確保できる。
記載の成果は	□ C. あま	きり上がっていない	
上がっている か)	□ D. 上が	がっていない	
41 -4- 14	■ A. 高い	١	消防団員の装備充実は、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の観
効 率 性 (事業手法は効	□ B. やt	5高い	点から有効性が高いと思われる。
率的である	□ C. やt	5低い	
か。)	□ D. 低し	١	
総合評価	■ 1. 計画	回どおり事業を進める	
松口計劃	□ 3. 事第	美規模や見直しが必要	□ 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要
		_	
	■ A. 貢南	状している	消防団員の安全確保を図ることは、円滑な活動を促進するものであり、「災害に強いまち ブイルの##・に言葉はステートになる。
施策への	□ B. やt	⁵ 貢献している	づくりの推進」に貢献することになる。
貢 献 度	□ C. あま	もり貢献していない	

□ D. 貢献していない <6. 今後の方向性> ACTION

<u> </u>		011					
	■ 1. 現状のまま継続	□ 2. 見直しの上	で継続	(□ 2−1	. 拡充・重点化	□ 2-2.手段等の改善	□ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小	□ 2-5.統合	□ 2-6. その他	也)			
方向性	□ 3.終期の設定	□ 4.終了()	□ 5. 休止	□ 6. 廃止	
7) III) II	国が示す「消防団装備の	基準」に基づき、充実	€強化を図って	こいるが、	今後も引き続き	計画的な整備に努める。	
方向性							
	防火衣更新事業は、引き	書き計画的に検討な2	- スーレ				
部局長	防火な史制事業は、引き	元で引回りに使引で1	17-20				
コメント							
部局長コメント							

区《	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	100.00 %	0.00 %	0.00 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	+100.00 %	±0.00 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	75 _{千円}	0 _{千円}	0 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	79 _{千円}	0 _{千円}	0 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	±0.00 %	±0.00 %

惠	を理	番号	4:	20	ı													
		_	消防局				所属	<mark>。名</mark> 消防	方総務認	果			斤属		田正	道		
		事業名		防火衣頭	 更新事業							ā	3 人	者	光芳			
< 1	_	基本事項	• •										_					
		区分	コード				名		称						津市消		の服制	ΙΞ
		方針	03	安心、性	夬適に住∂	タ続ける	ことので	できる活力の	あるま	ちを創	ります		根 拍 法令等		する規具	訓		I
総合		政策	01	安心、	安全に暮ら	うすこと	のできる	るまちにしま	す				Д ,	守				
画の置付		施策	03	消防・非	效急体制の	の充実												
E.,.	"	視点		消防力の							関連す					1		
		重事	99	その他	****						別計	画				1		
			<u>ード</u>				事務	事 業 名	称				<u> </u>	ľ.	可	「属る	2 称	
関連	重									-	-							
事業	ŧ																	-
		会	計	枠	事	業種	민		予	省 事	業 名	-	丁		始 期	. 終	甘田	一
予質			会計		評価対象			生小夫市幹到			* * -		+	平成264	-		期 平成30年	午庚
算事		ľΙΑ	云山	何仁	計Ш八四分	争木		防火衣更新	事 果 負				+	十八人	上文	~	上风00-	干皮
業													+					\dashv
		ण मार्ग (つ年から	停与され	アハスけ	一小服を	<u>□古</u>	 検討したとこ	- z :	ነፍ ቀ ጠ	夕 性ル・	十坦増ルすん	7 ((())]	コーも広っ	ナスパナル	ᄪᆖ		=
علاد		らには、	緊急消	防援助隊	として県	外へ出	動した際	検討したとい の統一性が』										Ī
事業	<u>の</u>	更新し、	消防活	動体制の	強化を図	るもの	刻し,こ,	, U J I J J J J J J J J J J J J J J J J J	<i>L</i>	. ټ ري	C/4 J.	/L 3/17/0·2~ · · ·	ζ <u></u> ,	± I/N **	7 101 2	. C .	1	I
概	要		••		-	•	•											I
		方法	■ 直営		指定管理	者 口	民間委託	壬 🗆 出資	₹団体 ₹	委託	□ 補助3	金交付 口	その他	也 ()
< 2		事業分		PLAN		- 1-							_					
		目 的		あらゆる	5災害にな	おいて活	動する図	隊員の安全確	保を凶	るため),							_
		可のために	(=)															
		対 象		平成 2 (3年度に終	総務省消	防庁がる	公表した個人	.防火装	備のた	<u> </u>	ンに準じた	防火	服を				
	(何	可又は誰る	を)															I
		手 段		リース	契約によっ	って一斉	に更新す	けることによ	. U.									
نل)		ようなやり		1	-			-										
	476	- フルドラ	万で)	•														
		成果		近年の消	当防活動や	5気象状	況に対応	なした活動が	実施で	きると	・ともに、	緊急消防援	助隊。	としての	統一性力	「図れ、	消防	
	j	成 果	1	. —	肖防活動な 制の強化 &		況に対応	いた活動が	実施で	きると	ともに、	緊急消防援	助隊。	としての	統一性な	が図れ、	消防	
(どの	りよう	成 果	するのか)	. —			況に対応	こした活動が	実施で	きると	:ともに、	緊急消防援	助隊。	としての	統一性 <i>t</i>	が図れ、 	. 消防	
(どの	りよう	成 果	1	活動体制	制の強化と	となる。								としての				
(どの	りよう	成 果	するのか)	活動体制 平成2	別の強化 と	となる。 平成2	9年度	平成30年	度	平成3	1年度	令和 2年度	E	としての	統一性力	が図れ、 考		
(どの) のよう	成 果 うな状態にす 経費 >	するのか) D O	活動体制	制の強化 & Report	となる。	9年度 (千円)	平成30年原決算額(千月	度 円)		1年度(千円)		E	としての				
(どの	直	成 果 5 な状態にす 経費 >	するのか) D O	活動体制 平成2	制の強化 & Respondence Respond	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825	平成30年 決算額(千F 7,	度 円) =	平成3	1年度 (千円) 3,913	令和 2年度 見込額(千円	0	としての				
<u>(₹0</u>	直人	成 果 5 な状態にす 経費 > 接経費 件費	するのか) DO A B	活動体制 平成2	制の強化 & Respondence Respond	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410	平成30年月 決算額(千F 7,	度 円) ³ 825 410	平成3	1年度 (千円) 3,913 410	令和 2年度 見込額(千円	0 10	としての				
<u>(₹0</u>	直人	成 果 経費 > 接経費 件費 費合計 A	DO A B A+B	活動体制 平成2	制の強化 & Result	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235	平成30年月 決算額(千F 7,	度 円) = 3 . 825 410 . 235	平成3	1年度 (千円) 3,913 410 4,323	令和 2年度 見込額(千円	0 110 110	としての				
<u>(どの</u> く3	直人業	成 果 5 な状態にする 経費 > 接経費 件費 費合計 A	DO A B A+B 国	活動体制 平成2	制の強化 & Respondence Respond	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0	平成30年月 決算額(千F 7,	度 円) = 825 410 235 0	平成3	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0	令和 2年度 見込額(千円	0 410 410 0	ELTO				
(どの) 事	りょう 直人業費	成果 So な状態にな 経費> 接経費 供費 貴合計 A	DO DO A B B A + B 国	活動体制 平成2	88年度 (千円) 7,825 405 8,230 0	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0	平成30年月 決算額(千F 7,	度 円) 3 825 410 235 0	平成3	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0	令和 2年度 見込額(千円	0 110 110	としての				
く3 事 事財	りょう 直人業 費源	成 果	DO A B B A + B 国	活動体制 平成2	制の強化 & Respondence Respond	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0	平成30年月 決算額(千F 7,	度 円) = 825 410 235 0	平成3	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0	令和 2年度 見込額(千円	0 410 410 0	としての				
く3 事 事財	りょう 直人業費	成果	DO A B B A + B 国	活動体制 平成2	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0	平成30年原 決算額(千F 7, 8,	度 円) 3 825 410 235 0 0 0	平成3	1年度 (千円) 3, 913 410 4, 323 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円	0 110 110 0	としての				
く3 事 事財	りょう 直人業 費源	成 果	DO A B B A + B 国	活動体制 平成2	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0	平成30年原 決算額(千F 7, 8,	度 円) 3 825 410 235 0 0	平成3	1年度 (千円) 3, 913 410 4, 323 0 0	令和 2年度 見込額(千円 2 2	0 110 110 0 0	としての				
く3 事 事財	しまう 直人業費源訳	成 果	DO A B B A + B 国	活動体制 平成2	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0	平成30年 決算額(千F 7, 8,	度 円) 3 825 410 235 0 0 0	平成3	1年度 (千円) 3, 913 410 4, 323 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円 2 2	0 110 110 0 0 0	としての				
く3 事 事 が内	りょう 単源訳 単源訳	成 果	DO A B A+B 国 IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	活動体制 平成2	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 0 8,235	平成30年 決算額(千F 7, 8,	度 825 410 235 0 0 0 0	平成3	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 0 4,323	令和 2年度 見込額(千円 2 2 2 0	0 110 110 0 0 0	としての				
く3 事 業財内 職員	りょう 単原訳 単次 単原訳 単一	成 果 5 な状態に 経費 > 接経費 世合計 A 日 原 起 そ 0 一 般	A B B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	活動体制 平成2	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05	となる。 平成2	9年度 ((千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235	平成30年月 決算額(千月 7. 8. 8.	度 825 410 235 0 0 0 0 0 235	平成3	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 0 4,323 0,05	令和 2年度 見込額(千円 4 4 0. 0.	0 110 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	としての				
く3 事 事 が内	りょう 単原訳 単次 単原訳 単一	成果の	DO A B A B A H B D D D D D D D D D D D D D D D D D D	活動体制 平成2	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05 0.05	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235 0.05	平成30年 決算額(千F 7. 8. 8. 0 0	度 825 410 235 0 0 0 0 235 0 0 0 0 0 0 235	平成3	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 0 4,323 0.05	令和 2年度 見込額(千円 4 0. 0.	0 0 110 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	としての				
く3 事 業財内 職員	のよう 直人業 費源訳 戦 数訳	成 果 (A B B A + B I I I I I I I I I I I I I I I I I I	活動体制 平成2	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 8,230 0.05 0.05	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.05	平成30年 決算額(千F 7. 8. 8. 0 0	度 825 410 235 0 0 0 0 235 0.05 0.05 0.05	平成3	1年度 (千円) 3, 913 410 4, 323 0 0 0 0 4, 323 0. 05 0. 05 0. 00	令和 2年度 見込額(千円 4 0. 0.	0 110 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	としての				
本 第 第 第 1 1 1 1 1 1 1	のよう 直人業 費源訳 戦 数訳	成な状態になる を	A B A + B I D M III D M III D O	活動体制 平成2 決算額	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05 0.05 0.05 0.00	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.05	平成30年 決算額(千F 7, 8, 8, 0 0	度 825 410 235 0 0 0 0 235 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成3	1年度 (千円) 3, 913 410 4, 323 0 0 0 0 4, 323 0. 05 0. 05 0. 00	令和 2年度 見込額(千円 2 2 2 0. 0. 0. 0.	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	としての	備	考		9年度
マコー 事 業財 職の内 職の マイー	」 直人業 費源訳 戦 数訳 ・	成 果 (A B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	活動体制 平成2	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 8,230 0.05 0.05	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.00	平成30年 決算額(千F 7, 8, 0 0 0 0	度 825 410 235 0 0 0 0 235 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成3予算額	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 4,323 0.05 0.05 0.00 0.00	令和 2年度 見込額(千円 2 2 2 0. 0. 0. 0.	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		備	考	令和	
マコー 事 業財 職の内 職の マイー	では、	成 果	A B A + B I D M III D M III D O	活動体制 平成2 決算額	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05 0.05 0.05 0.00	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.00	平成30年 決算額(千F 7, 8, 8, 0 0	度 825 410 235 0 0 0 0 235 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成3 予算額	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 4,323 0.05 0.05 0.05 0.00	令和 2年度 見込額(千円 2 2 2 0. 0. 0. 0. 0.	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		備	考31年度	令和	
マコー 事 業財 職の内 職の マイー	D	成 *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	A B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	活動体制 平成2 決算額	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05 0.05 0.05 0.00	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.00	平成30年 決算額(千F 7, 8, 0 0 0 0	度 825 410 235 0 0 0 0 235 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成3予算額	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 4,323 0.05 0.05 0.05 0.00	令和 2年度 見込額(千円 2 2 0. 0. 0. 0. 0.	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		(情)	考31年度	令和	
マコー 事 業財 職の内 職の マイー	では、	成な機費 接件計 費 長件合計 見 上の 数正嘱 方 指標 更新防り	A B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	活動体制 平成2 決算額	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05 0.05 0.05 0.00	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.00	平成30年 決算額(千F 7, 8, 0 0 0 0	度 825 410 235 0 0 0 0 235 0.05 0.05 0.00 0.00	平成3 予算額	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 4,323 0.05 0.05 0.00 0.00	令和 2年度 見込額(千円 2 2 4 0. 0. 0. 0. 0. 0.	0 110 0 0 0 0 0 0 0 0		### ### ### #########################	考 31年度 0	令和	0
マンマン 事 事の内 職の マイ	では、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	成 *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	A B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	活動体制 平成2 決算額	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05 0.05 0.05 0.00	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.00	平成30年 決算額(千F 7, 8, 0 0 0 0	度 410 235 0 0 0 0 235 0 0, 05 0, 05 0, 00 0, 00 1 目標・ 実	平成3 予算額 ・ 標績 標	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 4,323 0.05 0.05 0.00 0.00	令和 2年度 見込額(千円 2 2 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.	0		養 平成 3 0 0	考31年度	令和	
マンマン 事 事の内 職の マイ	Dock 1 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 1	成な 接件 技機 大量 大量 大量 大量 上級 大量 上級 大量 上級 大量 大量 大量 <th>A B B D D D D D D D D D D D D D D D D D</th> <th>活動体制 平成2 決算額</th> <th>8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05 0.05 0.05 0.00</th> <th>となる。 平成2</th> <th>9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.00</th> <th>平成30年 決算額(千F 7, 8, 8, 0 0 0 0 位</th> <th>度 825 410 235 0 0 0 0 235 0.05 0.05 0.00 0.00</th> <th>平成3 予算額 ・ 標績 標</th> <th>1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 4,323 0.05 0.05 0.00 0.00</th> <th>令和 2年度 見込額(千円 2 2 4 0. 0. 0. 0. 0. 0.</th> <th>0 110 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th></th> <th>### ### ### #########################</th> <th>考 31年度 0</th> <th>令和</th> <th>0</th>	A B B D D D D D D D D D D D D D D D D D	活動体制 平成2 決算額	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05 0.05 0.05 0.00	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.00	平成30年 決算額(千F 7, 8, 8, 0 0 0 0 位	度 825 410 235 0 0 0 0 235 0.05 0.05 0.00 0.00	平成3 予算額 ・ 標績 標	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 4,323 0.05 0.05 0.00 0.00	令和 2年度 見込額(千円 2 2 4 0. 0. 0. 0. 0. 0.	0 110 0 0 0 0 0 0 0 0		### ### ### #########################	考 31年度 0	令和	0
マンマン 事 事の内 職の マイ	Dock 1 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 1	成な経費 接件合計 足の 大き 大き 大き 大き	A B B D D D D D D D D D D D D D D D D D	活動体制 平成2 決算額	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05 0.05 0.05 0.00	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.00	平成30年 決算額(千F 7, 8, 8, 0 0 0 0 位	度 825 410 235 0 0 0 0 235 0.05 0.05 0.05 0.00 0.00 1	平成3 予算額 実績 標績 標績	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 4,323 0.05 0.05 0.00 0.00 PR成28年 3	令和 2年度 見込額(千円 2 2 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		養 平成 。	31年度 0 -	令和	0 -
マンマン 事 事の内 職の マイ	Dock 1 1 2 2	成な 接件 技機 大量 大量 大量 大量 上級 大量 上級 大量 上級 大量 大量 大量 <th>A B B D D D D D D D D D D D D D D D D D</th> <th>活動体制 平成2 決算額</th> <th>8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05 0.05 0.05 0.00</th> <th>となる。 平成2</th> <th>9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.00</th> <th>平成30年 決算額(千F 7, 8, 8, 0 0 0 0 位 式</th> <th>度 825 410 235 0 0 0 0 235 0.05 0.05 0.05 0.00 0.00 1</th> <th>平成3 予算額 ・ 標績 標</th> <th>1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 4,323 0.05 0.05 0.00 0.00 9 7 7 7 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9</th> <th>令和 2年度 見込額(千円 2 2 2 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.</th> <th>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th></th> <th>### ### ### #########################</th> <th>考 31年度 0</th> <th>令和</th> <th>0</th>	A B B D D D D D D D D D D D D D D D D D	活動体制 平成2 決算額	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05 0.05 0.05 0.00	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.00	平成30年 決算額(千F 7, 8, 8, 0 0 0 0 位 式	度 825 410 235 0 0 0 0 235 0.05 0.05 0.05 0.00 0.00 1	平成3 予算額 ・ 標績 標	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 4,323 0.05 0.05 0.00 0.00 9 7 7 7 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	令和 2年度 見込額(千円 2 2 2 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		### ### ### #########################	考 31年度 0	令和	0
マンマン 事 事の内 職の マイ	では、	成な経費 接件 機件 最近 上の 大の 上の </th <th> to an on on</th> <th>活動体制 平成2 決算額 標</th> <th>8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05 0.05 0.00 0.00</th> <th>となる。 平成2</th> <th>9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.00</th> <th>平成30年 決算額(千F 7, 8, 8, 0 0 0 0 位</th> <th>度 825 410 235 0 0 0 0 235 0.05 0.05 0.05 0.00 0.00 1</th> <th>平成3 予算額 // (表) / 標積 標標 / 標積 標標</th> <th>1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 4,323 0.05 0.05 0.00 0.00 9 7 7 7 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9</th> <th>令和 2年度 見込額(千円 2 2 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.</th> <th>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th></th> <th>養 平成。</th> <th>31年度 0 -</th> <th>令和</th> <th>0 -</th>	to an on	活動体制 平成2 決算額 標	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05 0.05 0.00 0.00	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.00	平成30年 決算額(千F 7, 8, 8, 0 0 0 0 位	度 825 410 235 0 0 0 0 235 0.05 0.05 0.05 0.00 0.00 1	平成3 予算額 // (表) / 標積 標標 / 標積 標標	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 4,323 0.05 0.05 0.00 0.00 9 7 7 7 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	令和 2年度 見込額(千円 2 2 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		養 平成 。	31年度 0 -	令和	0 -
マンマン 事 事の内 職の マイ	では、	成な経費 接件合 員 指標 与新与新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新	to an on	活動体制 平成2 決算額	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05 0.05 0.00 0.00	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.00	平成30年 決算額(千F 7, 8, 8, 0 0 0 0 位 式	度 825 410 235 0 0 0 0 235 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成3 予算額 // (表) / 標積 標標 / 標積 標標	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 4,323 0.05 0.05 0.00 0.00	令和 2年度 見込額(千円 2 2 4 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		### ### ### #########################	31年度 0 -	令和	0 -
マンマン 事 事の内 職の マイ	では、	成な経費 接件 機件 最近 上の 大の 上の </th <th> to an on on</th> <th>活動体制 平成2 決算額 標</th> <th>8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05 0.05 0.00 0.00</th> <th>となる。 平成2</th> <th>9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.00</th> <th>平成30年 決算額(千F 7, 8, 0 0 0 0 位 式</th> <th>度 410 235 0 0 0 0 0 235 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th>平成3 予算額 // (表) / 標積 標標 / 標積 標標</th> <th>1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 4,323 0.05 0.05 0.00 0.00</th> <th>令和 2年度 見込額(千円 2 2 2 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.</th> <th>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th></th> <th>### ### ### #########################</th> <th>31年度 0 -</th> <th>令和</th> <th>0</th>	to an on	活動体制 平成2 決算額 標	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05 0.05 0.00 0.00	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.00	平成30年 決算額(千F 7, 8, 0 0 0 0 位 式	度 410 235 0 0 0 0 0 235 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成3 予算額 // (表) / 標積 標標 / 標積 標標	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 4,323 0.05 0.05 0.00 0.00	令和 2年度 見込額(千円 2 2 2 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		### ### ### #########################	31年度 0 -	令和	0
Total	では、	成な経費 接件合 員 指標 与新与新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新	to an on	活動体制 平成2 決算額 標	8年度 (千円) 7,825 405 8,230 0 0 0 0 8,230 0.05 0.05 0.00 0.00	となる。 平成2	9年度 (千円) 7,825 410 8,235 0 0 0 0 8,235 0.05 0.05 0.00	平成30年 決算額(千F 7, 8, 8, 0 0 0 0 位 式	度 410 235 0 0 0 0 0 235 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	・標績標績標績	1年度 (千円) 3,913 410 4,323 0 0 0 0 4,323 0.05 0.05 0.00 0.00 0.00 0.00	令和 2年度 見込額(千円 2 2 4 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.	Section Color C		### ### ### #########################	31年度 0 - 0 -	令和	0 -

事業を明社会環境	図りまく 近年、多種多様化、	大規模化する各種災害や自然災害の増加により、市民が消防に寄せる期待は大きく、市民の も最新のガイドラインに沿った資器材整備等活動隊員の安全確保は重要である。
これまで や改善等	の元旦し 上 いが こと思る	状況やガイドラインとの整合性を精査し、平成26年度から平成27年度にかけて更新を実 リース契約とした。
項目別評価	評価	評 価 理 由
	■ A. 妥当である	活動隊員の安全確保があって市民の安全・安心が担保される
妥当性	□ B. ほぼ妥当である	
(実施主体又は 手段は妥当か)	□ C. あまり妥当ではない	
	□ D. 妥当ではない	
有効性	■ A. 上がっている	ヒートストレス等の活動障害の軽減や、安全対策が図られ、更新効果は高い
(事業分析の 「成果」欄に	□ B. やや上がっている	
記載の成果は上がっているか)	□ C. あまり上がっていない	
上かっている	□ D. 上がっていない	
±1 + ±	■ A. 高い	リース契約として、複数年度で計画的に更新を進めていることから効率的である
効 率 性 (事業手法は効	□ B. やや高い	
率的である か。)	□ C. やや低い	
ν.°)	□ D. 低い	
総合評価	■ 1. 計画どおり事業を進める	ることが適当 □ 2. 事業の進め方に改善が必要
松口計画	□ 3. 事業規模や見直しが必要	□ 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要
	■ A. 貢献している	活動隊員の負担軽減と安全確保は、円滑な災害対応、市民の安全の確保につながり、消防
施策への	□ B. やや貢献している	・救急体制の充実に貢献している
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	

□ D. 貢献していない <6. 今後の方向性> ACTION

		■ 1. 現状のまま継続	□ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-	拡充・重点化	□ 2-2.手段等の改善	□ 2-3. 効率化
		□ 2-4. 簡素化・縮小	□ 2-5.統合 □ 2-6.その他	i)			
方向	1 性	□ 3.終期の設定	□ 4.終了()	□ 5. 休止	□ 6. 廃止	
)) IH	ıı ıx	リース契約を令和元年度まで	で計画的にすすめるとともに市民	の付託に	応えていく。		
		継続的に職員から意見を聴り	取し、次の更新に反映すること。				
部局	長						
部局コメニ	ント						

区《	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	100.00 %	0.00 %	0.00 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	+100.00 %	±0.00 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	27 _{千円}	0 _{千円}	0 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	82 _{千円}	0 _{千円}	0 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	±0.00 %	±0.00 %

身	整理	番号	4	21	<u> </u>												
			消防局				所原	属 名 消	防総務認	課			所原	長	正田	正道	
事	務事	事業名	00261	消防音》	楽隊事業								記力	者	北村	勝	
< 1	. :	基本事項	項>														
		区分	コード				名		称				+8		大津市	5消防音	楽隊規程
		方針	03	安心、情	決適に住る	み続ける	ことので	できる活力の	りあるま	まちを 倉	削ります		根 法令				
総合		政策	01	安心、	安全に暮ら	らすこと	のできる	るまちにしま	ます				/4.1	, 1 7			
画の置付		施策	03	消防・排	救急体制の	 の充実											
	17	視点	99	その他									関連				
		重事	99	その他									個別	計画			
_	=		ード				事務	事 業 名	3 称					- F		所 属	名 称
関			-					2 213 1								771 71-4	
事	業			 													
_	=	수	計	枠	ュ	業 種	뫼		予	笛	業	ጀ			始	期 • 終	加
予 算	_		会計		評価対象		753	消防音楽隊			- A				Д	<u> </u>	771
事	lad	73.	ДП		11 JM 7-3 23	'		用则日未除	* 学术良								
業	Ė																
	_	消防音響	単隊の活	動を通し	てたく	市民に	佐水佐祭	に関する広	報活動	上政発	活動を開	盟する	<u> </u>	大津市	で で に に に に に に に に に に に に に	災事ちづ	
		りを推進	進する手	法の一つ	うとして、	音楽隊	演奏によ	り安心、安	全に暮	らすこ	とのでき	るまち	づくりの	推進や関	火・[ひょうし 防災意識	o တ
事業 概	要	高揚を図	図るもの	0													
115/6	Ø.																
雷	兴	方法	■ 直営	* n	指定管理	H-24	尺門禾 :	т пш	次□ は5	未 訂		会会は	□ Z.O	<i>I</i> II (1
		事業分		PLAN			<u> </u>	t Lips	資団体委	安託	山 補助	並义刊	□ その	기만 (
						도사 · RE	巛音讓(の高揚のため	71-								
				/A+X/D 3	当ってののは)) <u> </u>	火心戦	プ同語のアルス	<i>J</i> IC.								
		可のために		市民に対	54 1												
		対 象		中民に対	N) C												
		可又は誰る		› # # + ☆ ›	かける当	キンチャ	12 IS										
		手 段		消防百9	楽隊の演奏	美活 期を	進して、										
ع)		ようなやり															_
					- A - # '	, -		7 1 1		4 4 7 1	1 1 1 - 1	Lowe C I	·+ ~		 		
	,	成果	Į	安心、5	安全に暮り	らすこと	のできる	るまちづくり	りを推進	生すると	こともに流	胡都「オ	(津」のイ	゚メージ	アップ	に貢献す	る 。
	かよう	な状態にす	するのか)	安心、5	安全に暮り	らすこと	のできる	るまちづくり	シを推進	生すると	こともにネ	りまり はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう かいしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はいしゅう はい	て津」のイ	′メージ:	アップ	に貢献す	-る。
	かよう		するのか)			らすこと	のできる	るまちづくり				湖都「大	「津」の イ	′メージ:	アップ	に貢献す	- 5 .
	かよう	な状態にす	するのか)	平成2	28年度	平成2	19年度	平成30年	-度	平成3	1年度	令和	2年度	/ メージ:			
	のよう 3. i	経費>	するのか) D O	平成2			19年度		-度		1年度	令和		、メージ	アップ		
	かよう 3. i	経費>	するのか) DO	平成2	28年度	平成2	19年度	平成30年	-度	平成3	1年度	令和	2年度	、メージ :			
<3 	直人	経費> 接経費 件費	DO A B	平成2	28年度 〔千円〕 497 12, 393	平成2	29年度 i (千円) 512 12,546	平成30年 決算額(千 12)	·度 ·円)	平成3	1年度 (千円) 391 12,546	令和	2年度 (千円) 391 12,546	、メージ :			
<3 	直人	経費>	DO A B	平成2	28年度 〔(千円) 497	平成2	9年度 (千円) 512	平成30年 決算額(千 12)	· 唐 · 円) ·	平成3	1年度 (千円) 391	令和	2年度 〔(千円) 391	、メージ			
< 3 	直人	接経費〉	DO A B	平成2	28年度 〔千円〕 497 12, 393	平成2	29年度 i (千円) 512 12,546	平成30年 決算額(千 12, 12,	度 -円) -375 -2,546	平成3	1年度 (千円) 391 12,546	令和	2年度 (千円) 391 12,546	イメージ			
	直人業費	接経費 件費 告合計 在	D O A B A + B	平成2	28年度 〔千円〕 497 12, 393 12, 890	平成2	9年度 (千円) 512 12,546 13,058	平成30年 決算額(千 12, 12,	き ・一円) ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・	平成3	1年度 (千円) 391 12, 546 12, 937	令和	2年度 〔千円〕 391 12,546 12,937	(X — 97			
	直人業費源	接経費 件費 告合計 在	DO A B A+B	平成2	28年度 〔千円〕 497 12, 393 12, 890 0	平成2	9年度 (千円) 512 12,546 13,058	平成30年 決算額(千 12, 12,	で 375 2, 546 2, 921 0	平成3	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0	令和	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0	(x - 9)			
	直人業費	接経費 件 費	DO A B A+B	平成2	28年度 〔千円〕 497 12, 393 12, 890 0	平成2	29年度 (千円) 512 12,546 13,058 0	平成30年 決算額(千 12, 12,	三度 375 2,546 2,921 0	平成3	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0	令和	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0	(x - 9)			
	直人業費源	経費 > 接経費 件費 告合計 A 国 リ に の の の の に の の の の の の の	DO A B BAA+B 国	平成2	28年度 〔千円〕 497 12, 393 12, 890 0 0	平成2	9年度 (千円) 512 12, 546 13, 058 0 0	平成30年 決算額(千 12, 12,	三度 375 2, 546 2, 921 0 0	平成3	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0	令和	2年度 (千円) 391 12, 546 12, 937 0 0	(x - 9)			
事の内	直人業費源訳	経費 > 接経費 件費 告合計 A 国 リ に の の の の に の の の の の の の	DO ABA+B 国 関 債 D M の は の は の は の は の は の は の は の は の は の	平成2	28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 0 12, 890	平成2	9年度 (千円) 512 12, 546 13, 058 0 0 0 0	平成30年 決算額(千 12, 12,	375 2, 546 2, 921 0 0 0 0 2, 921	平成3	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 0 12,937	令和	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 0 12,937	(X — 9)			
事の内	直人業 費源訳	経費 接経費 件費 性費 上 を計 A を引 を を引 を を を を を を を を の と の と の と の と の と の と の と の と	DO AB BA+B 国 関 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	平成2	28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 0 12, 890	平成2	9年度 (千円) 512 12, 546 13, 058 0 0 0 0 13, 058	平成30年 決算額(千 12, 12,	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	平成3	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 0 12,937 1.53	令和	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 0 12,937	(X — 9)			
事の内 耶 員	直人業費源訳	経費 接経費 (持費 を	DO A B B A + B 国	平成2	28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 12, 890 1. 53 1. 53	平成2	9年度 (千円) 512 12,546 13,058 0 0 0 13,058 1.53	平成30年 決算額(千 12, 12,	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	平成3	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 0 12,937 1.53 1.53	令和	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 0 12,937 1.53 1.53	(x - 9)			
事の内	直人業費源訳	を状態に 経費	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成2	28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 0 12, 890 1, 53 1, 53 0, 00	平成2	9年度 (千円) 512 12, 546 13, 058 0 0 0 13, 058 1, 53 0, 00	平成30年 決算額(千 12, 12,	375 2, 546 2, 921 0 0 0 0 2, 921 1. 53 1. 53 0. 00	平成3	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 0 12,937 1.53 0.00	令和	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00	(x - 9)			
事の内 職の内 職の内 職の内 日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日	直人業費源訳 数訳	を状態にする 経費	A B A + B B 使用	平成2	28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 12, 890 1. 53 1. 53	平成2	9年度 (千円) 512 12,546 13,058 0 0 0 13,058 1.53	平成30年 決算額(千 12, 12,	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	平成3	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 0 12,937 1.53 1.53	令和	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 0 12,937 1.53 1.53	(x - 9)			
事の内 耶 員	直人業費源訳 数訳	を状態に 経費	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成2 決算額	28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 12, 890 1. 53 1. 53 0. 00 0. 00	平成2	9年度 (千円) 512 12, 546 13, 058 0 0 0 13, 058 1, 53 0, 00	平成30年 決算額(千 12, 12,	で ・一円) = 3 375 2,546 2,921 0 0 0 0 0 0 0 2,921 1.53 1.53 0.00 0.00	平成3	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00	令和 見込都	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00		i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	着	H
事の内 職の内 職の内 職の内 日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日	のよう。 直人業 費源訳 戦数訳・	を状態にする 経費	A B A + B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2	28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 0 12, 890 1, 53 1, 53 0, 00	平成2	9年度 (千円) 512 12, 546 13, 058 0 0 0 13, 058 1, 53 1, 53 0, 00 0, 00	平成30年 決算額(千 12, 12, 12,	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	平成3予算額	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 0 12,937 1.53 0.00	令和 見込額 「更更」	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00		備	*************************************	等 一
	のよう。 直人業 費源訳 戦数訳・	を状態にする 経費	A B A + B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額	28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 12, 890 1. 53 1. 53 0. 00 0. 00	平成2	9年度 (千円) 512 12, 546 13, 058 0 0 0 13, 058 1, 53 1, 53 0, 00 0, 00	平成30年 決算額(千 12, 12,	で また	平成3 予算額	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00	令和 見込額 「 「 長 「 長 し を 「 し で し に し に し し し し し し し し し し し し し し	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00		「」 「「」 「「」 「「」 「「」 「」 「」 「」 「」 「」	*************************************	H
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を状態に 経費	A B A H B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額	28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 12, 890 1. 53 1. 53 0. 00 0. 00	平成2	9年度 (千円) 512 12, 546 13, 058 0 0 0 13, 058 1, 53 1, 53 0, 00 0, 00	平成30年 決算額(千 12, 12, 12,	で また	平成3予算額	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00	令和 見込額 「更更」	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00		備	*************************************	等 一
	のよう。 直人業 費源訳 数訳 1	を状態に 経費	A	平成2 決算額	28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 12, 890 1. 53 1. 53 0. 00 0. 00	平成2	9年度 (千円) 512 12, 546 13, 058 0 0 0 13, 058 1, 53 1, 53 0, 00 0, 00	平成30年 決算額(千 12, 12, 12,	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	平成3 予算額 字集績 標績	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00	令和 見込報 一 T 	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00		ff度 平 50 24	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	養 令和 2年度 0 50
事の内 職の内 職の内 職の内 日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日	のよう。 直人業 費源訳 数訳 ・ 1	を状態に 経費	A	平成2 決算額	28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 12, 890 1. 53 1. 53 0. 00 0. 00	平成2	9年度 (千円) 512 12, 546 13, 058 0 0 0 13, 058 1, 53 1, 53 0, 00 0, 00	平成30年 決算額(千 12, 12, 12,	1	平成3 予算額 ・ 実績 標	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00	令和 見込都 「一一」 「一一」 「一一」 「一一」 「一一」 「一一」 「一一」 「一一	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00		F度 平 50 24 24	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	等 一
	1 1 1 1 2 1 1 2 1 1	な状態に な状態に 接機 接機費 提供 起その 製工 職 上機 関 上機 関 上機 関 上機 関 との 関 との 関 との との <th>A B A + B B M M M M M M M M M M M M M M M M M</th> <th>平成2 決算額</th> <th>28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 12, 890 1. 53 1. 53 0. 00 0. 00</th> <th>平成2</th> <th>9年度 (千円) 512 12, 546 13, 058 0 0 0 13, 058 1, 53 1, 53 0, 00 0, 00</th> <th>平成30年 決算額(千 12, 12, 12, 12, 10, 10,</th> <th> 1</th> <th>平成3 予算額 字集績 標績</th> <th>1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00</th> <th>令和 見込報 一 T </th> <th>2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00</th> <th></th> <th>ff度 平 50 24</th> <th>· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·</th> <th>養 令和 2年度 0 50</th>	A B A + B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額	28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 12, 890 1. 53 1. 53 0. 00 0. 00	平成2	9年度 (千円) 512 12, 546 13, 058 0 0 0 13, 058 1, 53 1, 53 0, 00 0, 00	平成30年 決算額(千 12, 12, 12, 12, 10, 10,	1	平成3 予算額 字集績 標績	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00	令和 見込報 一 T 	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00		ff度 平 50 24	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	養 令和 2年度 0 50
	1 1 1 1 2 1 1 2 1 1	な状態に な状態に な状態に 接機 費 起 し し し と り	A	平成2 決算額	28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 12, 890 1. 53 1. 53 0. 00 0. 00	平成2	9年度 (千円) 512 12, 546 13, 058 0 0 0 13, 058 1, 53 1, 53 0, 00 0, 00	平成30年 決算額(千 12, 12, 12, 12, 10, 10,	Section Sec	平成3 予算額 実績 標績	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00	令和 見込都 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00 0.00 0.41	平成30年	「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「	素	度 令和 2年度 0 50 4
	1 1 1 2 1 1 2 2	な状態に な状態に な状態に 接機 費 起 し し し と り	A	平成2 決算額	28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 12, 890 1. 53 1. 53 0. 00 0. 00	平成2	9年度 (千円) 512 12, 546 13, 058 0 0 0 13, 058 1, 53 1, 53 0, 00 0, 00	平成30年 決算額(千 12, 12, 12, 12, 10, 10,	Section Sec	平成3 予算額	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00	令和 見込都 50 45 24 26	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00	平成30年	F度 平 50 24 15 1100	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	度 令和 2年度 0 50 4
S	1 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1	を状態に を状態に を状態に を状態に を状態に を状態に を表して をおきます。 をままます。 をままます。 をままます。 をまままます。 をままままます。 をまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	A B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 標 響	28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 12, 890 1. 53 1. 53 0. 00 0. 00	平成2 決算額	9年度 (千円) 512 12,546 13,058 0 0 0 13,058 1.53 1.53 0.00 0.00	平成30年 決算額(千 12, 12, 12, 12, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10	Section Sec	平成3 予算額 · 実績 標績 標績	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00	令和 見込都 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00 0.00 0.41	平成30年	「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「	素	度 令和 2年度 0 50 4
S	1 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1	を状態に を状態に を状態に を状態に を状態に を状態に を表して をおきます。 をままます。 をままます。 をままます。 をまままます。 をままままます。 をまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	A B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 標 響 数 零 容 密 発) 率	28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 12, 890 1. 53 1. 53 0. 00 0. 00	平成2 決算額	9年度 (千円) 512 12,546 13,058 0 0 0 13,058 1.53 1.53 0.00 0.00	平成30年 決算額(千 12, 12, 12, 10 位	Section Sec	平成3 予算額 · 実績 標績 標績	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00	令和 見込都 50 45 24 26	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00	平成30年	F度 平 50 24 15 1100	素	度 令和 2年度 0 50 4
S	1 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1	を状態に を状態に を状態に を状態に を状態に を状態に を表して をおきます。 をままます。 をままます。 をままます。 をまままます。 をままままます。 をまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	A B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 標 響 数 零 容 密 発) 率	28年度 (千円) 497 12, 393 12, 890 0 0 0 12, 890 1. 53 1. 53 0. 00 0. 00	平成2 決算額	9年度 (千円) 512 12,546 13,058 0 0 0 13,058 1.53 1.53 0.00 0.00	平成30年 決算額(千 12, 12, 12, 12, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10	Section Sec	平成3 予算額 · 実績 標績 標績	1年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00	令和 見込都 50 45 24 26	2年度 (千円) 391 12,546 12,937 0 0 0 12,937 1.53 1.53 0.00 0.00	平成30年	F度 平 50 24 15 1100	素	度 令和 2年度 0 50 4

事業を明 社会環境	メッケー エー 沙叶立地学	民意識が高まる中、より一層の防火意識高揚のため、幅広い年齢層への効果的な広報活動と の更なる活躍が求められている。
	V) 元.但 C	に可能な限り応えるとともに、広報効果の検証により派遣の見直し、演奏方法等を工夫して 愛される音楽隊を目指して、親しみのある広報活動を展開し啓発強化につなげている。
項目別評価	評価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	■ A. 妥当である □ B. ほぼ妥当である □ C. あまり妥当ではない □ D. 妥当ではない	防火防災意識の啓発と市民との繋がりに一定の効果を上げており、防災機関である消防が 実施、広報することに意義があることから、実施主体として妥当である。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	■ A. 上がっている □ B. やや上がっている □ C. あまり上がっていない □ D. 上がっていない	音楽隊に対する市民ニーズは高く、市民からの期待は大きい。湖都「大津」のイメージアップにも貢献しており、防火防災意識の高揚には非常に有効である。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	□ A. 高い■ B. やや高い□ C. やや低い□ D. 低い	音楽隊員は全て消防職員が兼務しており、必要最小限の全体訓練のほか、個々での訓練で 技術の向上に努めている。さらに、演奏対象を絞り込むことで、費用対効果を向上さてい る。
総合評価	□ 1. 計画どおり事業を進める□ 3. 事業規模や見直しが必要	

		平常時における市民への防火防災意識の高揚に極めて有効な手段であり、市民の期待と親
施策への	□ B. やや貢献している	しみのある活動により、「消防・救急体制の充実」に貢献している。
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	
	□ D. 貢献していない	

 <th></th>	
□ 1. 現状のまま継続 ■ 2. 見直しの上で継続 (□ □ 2.	2-1. 拡充・重点化 ■ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
方 向 性 □ 3.終期の設定 □ 4.終了()	□ 5. 休止 □ 6. 廃止
用対効果の観点から、さらなる訓練回数の見直しと演奏対象の絞り)込みを行い、湖都「大津」のイメージアップと、安
心、安全に暮らすことのできるまちづくりを効果的に推進する。	
音楽隊を通した広報活動は、防火意識の啓発手段として重要である	ことから、社会情勢を鑑みた効果的かつ効率的な活
部局長動を展開すること。	, = = 10 5 (= = 1175)
コメント	

区《	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	108.00 %	92. 00 %	63.00 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	-14.81 %	−31.52 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	286 千円	318 千円	538 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	119 千円	141 千円	205 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- _{千円}
コスト増	減率	- %	+18.92 %	+44. 49 %

整理	番号	4:	22	<u> </u>												
部	局 名	消防局				所属	禹 名 予 🛚	防課			所	属長	玉井	正巳		
事務	事業名	03421	協働の	まちづく	り推進事	業費					記	入者	大槻	見忍		
<1.	基本事	須>														
	区分	コード				名		称						請「結い♂		
	方針	01	子どもフ	から高齢:	者までが	輝いて、	魅力あふれ	こるまで	ちを創り	ります		見 拠	働 <i>σ.</i>	まちづくり	推進条例	列
総合計	政策	04	つなが	りを大切	にし、と	もに支え	えあうまちに	こします	d		72	长 令等				
画の位 置付け	施策	01	市民活	動と協働	の推進								大津	市協働提第	ミ制度テ-	_
直刊け	視点	02		まちづく								連する		提案事業第		
	重事	02		進体制の	•						個	別計画				
		- ド	が割作	生体 削り		事 務	事業名	称				コード		所属	A Th	
関連		<u> </u>				争伤	尹 未 乜	1 作小				1-1		川 馮	10 例	
事業																
予		計	枠		業種	別		予	算	事 業 名				·期·終		
算	一般	会計	政策	評価対象	東事業		協働のまち	づくり	り推進事	業費		平	成29年	变 ~	平成30年	度
事業																
*																
											し、それぞれ	の得意	な所をは	出し合い、	Ē	
事業の	りない	かば補い	ながら、	対等なエ	エ場で共	に施策を	つくり上げ	て沽事	助してい	く争業で	ある。					
概要																
運営	方法	□ 直営	Š D	指定管理	里者 口	民間委託	€ □出資	資団体	委託	□ 補助:	金交付 ■ ぞ	の他	(市・	市民団体協	·····································)
	事業分	折> F	PLAN	1												
	目 的		地域防	災力の向.	上のため)										
(1 i	可のため	こ)														
	対 象		中学校会	生徒及び	市民を対	象に										
	可又は誰															
	手 段	= :	防災・治	咸災意識。	の習得、	災害発生	‡時に取るべ	(き行	<u>動シミュ</u>	ュレーショ	ン、避難所記	₽営・道	屋営訓練	などを実施	するこ	
	ようなやり		とによ			,,,,,,,,	,	C 177			- 1 22227712	~_ ~		0	, • -	
(_ 0)	5 J 6 1 .	//3 (/														
	成 里		白分の」	身は白分	で守り(白肋)	白分たちの	つまちし	は白分か	- ちで守る	(共助) とし	ハうこと	・を学び	白主防災音	識の高	
	成果		自分の見場を図る		で守り((自助)、	自分たちの)まちI	は自分が	こちで守る	(共助)とし	いうこと	を学び	自主防災意	識の高	
(どのよ	うな状態に	するのか)			で守り((自助) 、	自分たちの)まちI	は自分が	こちで守る	(共助)とい	いうこと	: を学び	自主防災意	識の高	
(どのよ			揚を図	る。 									: を学び	自主防災意	識の高	
(どのよ	うな状態に	するのか)	揚を図	る。 28年度	平成2	9年度	平成30年	度	平成3	1年度	令和 2年度	<u> </u>	さ学び	自主防災意		
(どのよ [・]	経費>	するのか) D O	揚を図	る。 28年度 [(千円)		9年度 (千円)	平成30年	· · · 円)		1年度)	を学び			
(どのよ・ く3 .	経費>	DO A	揚を図	る。 28年度 〔(千円) 0	平成2	9年度 (千円) 308	平成30年	· 度 · 円)	平成3	1年度 (千円) 0	令和 2年度	0	さを学び			
(どのよ・ く3 . 正	経費> 直接経費 、件費	DO A B	揚を図	る。 28年度 (千円) 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984	平成30年 決算額(千	度 ·円) 143 984	平成3	1年度 (千円) 0	令和 2年度	0 0	: を学び			
(どのよ・ く3 . 正	経費> 経費> 直接経費 、件費	D O A B A+B	揚を図	る。 28年度 (千円) 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1, 292	平成30年 決算額(千 1,	度 (円) 143 984 , 127	平成3	1年度 (千円) 0 0	令和 2年度	0 0 0 0	: を学び			
(どのよう) く3 . 直 人 事業	を表する。 をまる。 をもる。 をも。 をもる。 をも。 をも。 をも。 をも。 をも。 をも。 をも。 をも	D O A B A + B 国	揚を図	る。 28年度 (千円) 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984	平成30年 決算額(千 1,	度 ·円) 143 984	平成3	0 0 0 0	令和 2年度	0 0	: を学び			
(どのよう) く3 . 直 人 事業	直接経費 件 費 情合計 月	D O A B A+B E	揚を図	る。 28年度 (千円) 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1, 292	平成30年 決算額(千 1,	度 (円) 143 984 , 127	平成3	1年度 (千円) 0 0	令和 2年度	0 0 0 0	: を学び			
(どのよう) く3 . 直 人 事業	直接経費 件 費 情合計 月	D O A B A + B 国	揚を図	28年度 (千円) 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0	平成30年 決算額(千 1,	·円) 143 984 , 127	平成3	0 0 0 0	令和 2年度	0 0 0 0 0 0 0	: を学び			
(どのよ・ く3 . 正	経費 > 直接経費 借款 件費 費合計 A 上 上 と こ	A B A + B 国 債	揚を図	28年度 ((千円) 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0	平成30年 決算額(千 1,	度 (円) 143 984 , 127 0 0 0	平成3	11年度 (千円) 0 0 0 0	令和 2年度	0 0 0 0 0 0 0 0	· を学び			
(どのよ) く3. 事業財の内	経費	DO A B A+B E D D D D D D D D D D D D D D D D D D	揚を図	28年度 (千円) 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0	平成30年 決算額(千 1,	·伊) 143 984 , 127 0 0	平成3	1年度 (千円) 0 0 0 0 0	令和 2年度	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	- を学び			
(どのよ) く3. 事業費源別	経費	A B A + B 国	揚を図	28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0	平成30年 決算額(千 1,	度 (円) 143 984 , 127 0 0 0	平成3	1年度 (千円) 0 0 0 0 0	令和 2年度	0 0 0 0 0 0	: を学び			
(どのよ) く3. 事業費源訳 職	経費	A B A + B 国	揚を図	る。 28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0 0 0	平成30年 決算額(千 1,	度 円) 143 984 , 127 0 0 0 0	平成3	1年度 (千円) 0 0 0 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円	0 0 0 0 0 0 0	: を学び			
(どのよ) く3. 事業費源訳 職	経費	A B A + B 国 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I	揚を図	28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0 0 1,292 0.12	平成30年 決算額(千 1,	・円) 143 984 , 127 0 0 0 0 , 127	平成3	1年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	: を学び			
(どのよう) (どのよう) (どのよう) (とのよう) (A B A + B 国	揚を図	る。 28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0 0 1,292 0.12	平成30年 決算額(千 1,	・円) 143 984 , 127 0 0 0 0 , 127 0. 12	平成3	1年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円) 0.0 0.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	: を学び			
(どのよう) (どのよう) (どのよう) (とのよう) (経費	A B A + B 国 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I	揚を図	る。 28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0 0 1,292 0.12 0.00	平成30年 決算額(千 1,	・円) 143 984 , 127 0 0 0 , 127 0. 12 0. 12 0. 00	平成3	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円) 0.0 0.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	- を学び			
(どのよ) く3. 事業財 職の内 職の内 4.		A B A + B B I I I I I I I I I I I I I I I I I	揚を図	る。 28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0 0 1,292 0.12 0.00	平成30年 決算額(千 1,	・円) 143 984 , 127 0 0 0 0 . 127 0. 12 0. 12 0. 00 0. 00	平成3	1年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円) 0.0 0.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			<u></u>	2 年度
(どのよ) く3. 事業財 職の内 職の内 4.	 A を 表 き ままままます。 A を 表 き ままままままままままままままままままままままままままままままままま	A B A + B B D B M M M M M M M M M M M M M M M M	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を 28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0 0 0 1,292 0.12 0.12 0.00 0.00	平成30年 決算額(千 1,	143 984 ,127 0 0 0 0 0 ,127 0.12 0.12 0.00 0.00	平成3	1年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円) 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		備 考	<u></u>	2年度 0
(どのよ) く3. 事業財 職の内 職の内 4.	経費	A B A + B B D B M M M M M M M M M M M M M M M M	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を 28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0 0 0 1,292 0.12 0.12 0.00 0.00	平成30年 決算額(千 1,	143 984 ,127 0 0 0 0 ,127 0.12 0.00 0.00	平成3予算額	1年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	30年度	備 考	₹	2年度 0
(どのよ) く3. 事業財 職の内 職の内 4.	経費	A B A H B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を 28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0 0 0 1,292 0.12 0.12 0.00 0.00	平成30年 決算額(千 1,	143 984 ,127 0 0 0 0 ,127 0.12 0.00 0.00	平成3 予算額 ・実績 目標	1年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		備 考	₹	2 年度 0 -
(どのよ) く3. 事業財 職の内 職の内 4.	うな状態に 会社 経費 「接機費」 」 」 この	A B A H B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を 28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0 0 0 1,292 0.12 0.12 0.00 0.00	平成30年 決算額(千 1,	143 984 , 127 0 0 0 0 , 127 0. 12 0. 12 0. 00 0. 00	平成3 予算額	1年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		備 考	₹	2年度 0 -
(どのよ) く3. 事業財 職の内 職の内 4.	うな状態に 会社 経費 「接機費」 」 」 この	A B A H B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を 28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0 0 0 1,292 0.12 0.12 0.00 0.00	平成30年 決算額(千 1,	143 984 , 127 0 0 0 0 . 127 0. 12 0. 12 0. 00 0. 00	平成3 予算額 実績 書標	1年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		備 考	₹	年度 0
(どのよ) く3. 事業財 職の内 職の内 4.	うな状態に 会社 経費 「接機費」 」 」 この	A B A H B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を 28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0 0 0 1,292 0.12 0.12 0.00 0.00	平成30年 決算額(千 1,	143 984 , 127 0 0 0 0 . 127 0. 12 0. 12 0. 00 0. 00	平成3 予算額	1年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		備 考	₹	
(どのよ) く3. 事業財 職の内 職の内 4.	うな状態に 会社 経費 「接機費」 」 」 この	A B A + B D B M M M M M M M M M M M M M M M M M	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を 28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0 0 0 1,292 0.12 0.12 0.00 0.00	平成30年 決算額(千 1, 1, 位 位 人	143 984 .127 0 0 0 0 0 .127 0.12 0.00 0.00 0.00 0	平算	1年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00		平成31年度	₹	
(どのよ) く3. 事業財 職の内 職の内 4.	A を 表 で 表 で 表 で 表 で 表 で 表 で 表 で ま ま で ま で ま	A B A + B D B M M M M M M M M M M M M M M M M M	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を 28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0 0 0 1,292 0.12 0.12 0.00 0.00	平成30年 決算額(千 1,	143 984 127 0 0 0 0 0 127 0. 12 0. 00 0. 00 目標 目標 写	平	1年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	- 30年度 150 64	平成31年度	E 令和 2	0
(どのよ) く3. 事業財 職の内 職の内 4.	A を 表 で 表 で 表 で 表 で 表 で 表 で 表 で ま ま で ま で ま	A B H B D D D D D D D D D D D D D D D D D	「	を 28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0 0 0 1,292 0.12 0.12 0.00 0.00	平成30年 決算額(千 1, 1, 位 位 人	143 984 127 0 0 0 0 0 127 0. 12 0. 00 0. 00 目標 目標 写	平算	1年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	30年度 150 64	平成31年度	E 令和 2	0
(どのよ) く3. 事業財 職の内 職の内 4.	A 表表表 上 大 上 上	A B H B D D D D D D D D D D D D D D D D D	「	る。 28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0 0 0 1,292 0.12 0.12 0.00 0.00	平成30年 決算額(千 1, 1, 位 位 人	143 984 127 0 0 0 0 127 0 127 0 127 0 127 0 127 0 127 0 127 0 127 0 127 0 127 0 127	平算	1年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	30年度 150 64	平成31年度	E 令和 2	0
(どのよ) (とのよ) 事業財職員内 (4) 活動指標	A 表表表 上 大 上 上	A B H B D D D D D D D D D D D D D D D D D	「	る。 28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 308 984 1,292 0 0 0 0 1,292 0.12 0.12 0.00 0.00	平成30年 決算額(千 1, 1, 位 位 人	143 984 127 0 0 0 0 127 0 12 0 12 0 12 0 12 0 12 0 12 12	平	1年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2年度 見込額(千円) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	30年度 150 64	平成31年度	E 令和 2	0

事業を取りまく 社会環境の状況									
	07 元.但.し	(育は地域防災力の向上を図る上で重要であることから、子供の年齢層に見合った行動目標に 付ごす知恵を伝えるなど、時代に即したより良い事業となるよう注視していく必要がある。							
項目別評価	評 価	評 価 理 由							
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	■ A. 妥当である □ B. ほぼ妥当である □ C. あまり妥当ではない □ D. 妥当ではない	地域と行政との調整後、地域の防災士等により災害講座(過去の災害、地域の特性など)を展開され、災害に関する教訓や基礎知識などを伝承いただくことができ、協働事業としては妥当である。							
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	□ A. 上がっている ■ B. やや上がっている □ C. あまり上がっていない □ D. 上がっていない	市内の防災関係者が参加されたことは、全市への普及に期待することができ、有効性についてはやや上がっている。							
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	□ A. 高い■ B. やや高い□ C. やや低い□ D. 低い	災害対応は、地域住民が主体となりあらゆる活動を要することから、本事業で実施した避難所設営等を中学校生徒が体験できたことは重要であり、効率性はやや高い。							
総合評価	■ 1. 計画どおり事業を進める □ 3. 事業規模や見直しが必要								
	■ Λ 贡献している	市民活動と協働の推進については、災害対応を図る上で大変重要であり地域防災力の向上							
	■ A. 貢献している	中氏治型と 励製の推進に プいては、火告対応を図る工で入変重要であり地域防火力の中工							

		市民活動と協働の推進については、災害対応を図る上で大変重要であり地域防災力の向上
施策への	□ B. やや貢献している	に貢献している。
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	
	□ D. 貢献していない	

<6 今 後	LD D Q MCC C V G V
方向性	□ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他) □ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 () □ 5. 休止 ■ 6. 廃止 幼少期からの防災教育については、繰り返し実施していくことが重要であるため、学区主催の訓練に取り入れていただくなど、引き続き啓発、更には支援をしていく必要がある。なお、本事業は協働提案事業であるため、毎年実施する事業ではない。
部局長コメント	発達段階に応じた防災教育を行うことで、防災に関心を持った自らの命を守ることができる子どもを育てられると考える。防災教育については今後共、関係部局との連携を図る必要がある。また、協働提案による本事業にあっては、今後は自助・共助意識の醸成が図れるよう市民が主体となる訓練を消防局は奨励して、これを支援すること。

区 :	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
目標	指標 1	0.00 %	20.00 %	20.00 %		
達成率	指標2	- %	- %	- %		
成 果	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %		
増減率	指標2	- %	%	%		
活動単位	指標 1	0 _{千円}	19 千円	17 _{千円}		
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円		
成果単位	指標1	0 _{千円}	64 _{千円}	56 千円		
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円		
コスト増	減率	- %	±0.00 %	-12.77 %		

				平	成31年	度 事務	事業評価	5シート		[平成30年度事後評価]
整理	番号	4	23							
部	高 名	消防局		•	所属	属名 予防課		所	属長	玉井 正巳
事務等	事業名	00224	自主防	炎組織等す	育成事業			記	入者	大槻 忍
<1.	基本事	項>								
	区分	コード			名	称		+0	4hn	災害対策基本法、消防組
	方針	03	安心、忖	央適に住る	み続けることので	できる活力のある	まちを創ります			織法、大津市災害等対策 基本条例
総合計 画の位	政策	01	安心、	安全に暮	らすことのできる	るまちにします		<u> </u>	13 43	至不太//i
置付け	施策	01	災害に引	強いまちつ	づくりの推進			88.7	7	大津市地域防災計画
	視点	02	地域防	炎力の向_	E				する J計画	
	重事	03	自主防	災活動の決	舌性化			旧力	III E	
田市	П	ード			事務	事 業 名 称		П	ード	所属名称
関連 事業										
7 214										
予	会	計	枠	事	業種別	予	, 算 事 業	名		始期 • 終期
算	一般	会計	政策	評価対象	事業	自主防災組織等	育成事業費			
事業										
未										
										・女性防火クラブ より、地域の防災
事業の		Fの日エ Lを図る		以の月水に	- 沐る補助で110	、 木丘和以 リファム 1 土 1 し.	业仍に火音对心制	6万を強化させる) <u> </u>	より、地域の防火
概要			•							
	方法	■ 直営		指定管理	閏者 □ 民間委託	壬 □ 出資団体	本委託 ■ 補助	団金交付 □ その	の他()
<2.	事業分	折> F	PLAN							
	目 的	•	地震や	土砂災害等	等の大規模災害時	寺に被害の軽減を	·行うとともに、ī	市民の命を守り	、安心な	は生活を確保するため
	可のために									
	対 象	•	学区、	自治会の日	自主防災組織並び	バに女性防火クラ	ブ連合会に対し			
	可又は誰									
	手 段	Ž	防火・	防災資器	材等をはじめとし	_ン た、補助金の交	付及び各種訓練	指導を行い		
(どの。	ようなやり)方で)								
	成 果	Į						のまちは自分た	ちで守る	6(共助)という考えか
	(<mark>ピのような状態にするのか)</mark> ら自主防災活動を通じて、災害発生時の被害軽減を図る。									
<3.	経費>	DO								
				28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		備考
			決算額	〔千円〕	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)		ביי נווע
	接経費			6, 179	5, 782	5, 013	5, 037	5, 037		
1	み 歩	D	I	74 500	70 100	70 010	70 010	70 010	.1	

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	um . J
直	接経費 A	6, 179	5, 782	5, 013	5, 037	5, 037	
人	、件 費 B	74, 520	76, 160	72, 910	78, 810	78, 810	
事業領	費合計 A+B	80, 699	81, 942	77, 923	83, 847	83, 847	
	国	0	0	0	0	0	
事業費 の財源	県	0	0	0	0	0	
内訳	起債	0	0	0	0	0	
1.3 11/4	その他	0	3, 000	4, 000	4, 400	4, 400	
	一般財源	80, 699	78, 942	73, 923	79, 447	79, 447	
職	員数(人)	9. 20	9. 80	9. 80	10. 80	10. 80	
rob = *b	正規	9. 20	9. 80	8. 80	9. 80	9. 80	
職員数 の内訳	嘱託	0.00	0.00	1. 00	1. 00	1. 00	
- 1 3 H/ C	臨時	0. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	

<4. 指標> DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
		学区自主防災組織活動補助金利用	組織	目標	26	26	26	26	26		
活 動	1	数	小旦小戝	実績	28	19	31	-	-		
動		学区自主防災組活動補助金を利用した組	織数	•				•			
指		自主防災組織に対する訓練出動回		目標	200	200	200	200	200		
標	2	数	囙	実績	341	431	343	-	-		
		訓練指導に出動した回数						•			
		学区自主防災組織活動組織率	%	目標	100	100	100	100	100		
成	1		70	実績	107	73	75	-	1		
果		活動組織数/組織設置数									
指		自主防災組織に対する訓練別指導		目標	200	200	200	200	200		
標	2	回数	囙	実績	341	431	343	-	-		
	訓練別指導回数										

	事業を取りまく 社会環境の状況 近年では、進行型災害(台風や集中豪雨など)や地震等による大規模な自然災害が増加しており、自主防災組織 の事業補助については増額の要望が多数ある。										
これまで や改善等		地域・防火防災資器	材整備事業の対象者や補助資器材の見直しなどを実施していく。								
項目別評価	評	価	評 価 理 由								
	■ A. 妥当	当である	地域における防災力向上のため、本市の財政支援は妥当である。								
妥当性	□ B. ほ!	ぎ妥当である									
(実施主体又は 手段は妥当か)	□ C. あa	まり妥当ではない									
	□ D. 妥鲐	当ではない									
有 効 性	■ A. 上 <i>t</i>	がっている	補助事業により、組織が保有する資器材の整備充実、また、資器材を活用した訓練の実施								
(事業分析の 「成果」 欄に	□ B. やも	や上がっている	に伴い自主防災組織が活性化され、組織活動の充実強化が図れる。								
記載の成果は上がっている	□ C. あa	まり上がっていない									
か)	□ D. 上 <i>t</i>	がっていない									
÷1 ÷	■ A. 高い	,1	補助事業を継続することにより、自主防災組織等の活動を促進させるとともに、保有する								
効率性 (事業手法は効	□ B. やt	や高い	資器材の継続的な維持管理が図れる。 								
(事業手法は効 率的である か。)	□ C. やt	ら低い									
/3.0	□ D. 低l	,1									
総合評価	■ 1. 計画	画どおり事業を進める	ることが適当 口 2. 事業の進め方に改善が必要								
心口計画	□ 3. 事業	業規模や見直しが必要	□ 4.事業の抜本的見直しや廃止が必要								
	■ A. 貢献		補助事業により、常に防災意識を維持することとなり、災害に強いまちづくりに寄与して								
施策への	□ B. やも	や貢献している	いる。								

貢献度 □ C. あまり貢献していない □ D. 貢献していない < 6. 今後の方向性 > ACTION

<u> </u>	数の方向性/ ACTION
	□ 1. 現状のまま継続 ■ 2. 見直しの上で継続 (■ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 () □ 5. 休止 □ 6. 廃止
) III IE	全国各地で発生する大雨や地震による被害発生から危機感を持った地域住民の声を反映した補助申請される実態がある。これら地域の現状を鑑み、地域・防火防災資器材整備事業補助に関する交付要綱にある補助対象(対象資器材)など を本年度に見直し、更なる充実を図る。
部局長コメント	学区や地域の自発的活動を促し、自助と共助による安心・安全に暮らすことができるまちづくりに繋げるため、自主防 災組織等への財政的支援を継続すること。地域で実施される各種訓練の実績を検証するなど費用対効果の確認と併せて 、学区や地域の活動意欲・意識がより高まるよう市民目線に立った支援とすること。

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	93. 45 %	136.98 %	133. 33 %
達成率	指標2	58.65 %	46. 40 %	58.30 %
成 果	指標1	- %	+31.77 %	-2. 73 %
増減率	指標2	- %	-26. 39 %	+20. 41 %
活動単位	指標1	2,882 _{千円}	4,312 千円	2,513 _{千円}
コスト	指標2	236 千円	190 千円	227 _{千円}
成果単位	指標1	754 _{千円}	1,122 _{千円}	1,038 _{千円}
コスト	指標2	236 千円	190 千円	227 _{千円}
コスト増	減率	- %	-14.58 %	-6.02 %

				<u> </u>	☑成31年/	芰 事務	事業評価	ラシート		[平成30年]	度事後評価]
整理	番号	4:	24								
部	岛 名	消防局			所属	禹 名 予防課		所属	属長	玉井 正巳	
事務事			防火安全	全対策推	進事業			<u>記り</u>	と 者	南亨	
<1.	基本事項	[>									
	区分	コード			名	称		根	±bn		津市火災予防 市火災予防査
6 // ∧ =1	方針	03	安心、惊	央適に住	み続けることので	できる活力のある	まちを創ります	法令			ロスダッ防査 反処理規程
総合計 画の位	政策	01	安心、罗	安全に暮	らすことのできる	るまちにします					
置付け	施策	03		效急体制	の充実			異連	する		
	視点	01	消防力0					個別			
	重事	03	火災予防	方体制の	充実強化						
関連	Ξ.	ード			事務	事業名称		□-	- ド <u></u>	所	属名称
事業											
予	会	計	枠		業種別	予	算 事 業	名		始 期 •	終期
算	一般	会計	特定	評価対象	東事業	防火安全対策推	進事業費				
事業											
*	60 /2- =	7 74 . 1 .	1124	7 104-1		75 ± 50 7					
					^色 設の防火安全対 単するとともに、		て周知する。				
事業の概要	12 6/1		TK 111 V 1X			他が日本につい	C/11/All / 0 8				
概要											
/国 24		_ +		#K ## T	m+ D D M ===	7 DUMEN		LA-11 D 7 a	Alla /		<u> </u>
	<mark>方 法</mark> 事業分	■直営		指定管理	里者 🗌 民間委託	壬 □ 出資団体	本委託 □ 補助	団金交付 □ その)他 ()
	事来 万亿 目 的		P L A N		げ遅れによる死位	三老をむく! [性	火対象物や危険	物体設の小巛合図	全た排形	シオスために	<u></u>
	日のために		压七人》	K C 07 25	りたれいころる元は	あ日でなくし、19.	八八多物 5 危険	物心改び人外心は	* 4 17 17	ホッ るんめん	
	ji の/こめ が 対 象	-		セガバ防	火対象物並びに危	・					
	対 家 可又は誰を		加又工一		人对象物业UTCA	当民物心以(こと) し					
	手 段		白海合質	きへのは	小均道 及バー 人草	直に上 宣齢者空計	i問並びに一般住!	空への防火計問	面に	陆业分免物	■ 合除 物施
	ナ 段 ようなやり			乙入検査					χ.IC.	M1 // / / / / / / / / / / / / / / / / /	
	成果		住空业等	どでの迷	げ遅れによる死体	[者の撲滅 防火	対象物・危険物	施設等の安全確保	マを図る	3	
	な状態にす		L 0/()	(())	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	2 1 4 1 X 11 X 11 X 1 1 1 1 1 X			NC EI C	D 0	
	経費>	DO									
	4工具 /		平成2	8年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度			
				(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)		備	考
直	接経費	\overline{A}	7/3F U.S.	601	723	822	617	617			
_	件費			215, 055	95. 250	96. 790	100, 200	106, 100			
	サース 費合計 A			215, 656	95, 230	97, 612	100, 200	106, 707			
1. 2/4 3	国			213, 030	93, 973	0	0	0			
事業費				0	0	0	0	0			
の財源	起	•		0	0	0	0	0			
内 訳) 供		0	0	0	0	0			

人 件 費 B		215, 055	95, 250	96, 790	100, 200	106, 100	
事業	費合計 A+B	215, 656	95, 973	97, 612	100, 817	106, 717	
	国	0	0	0	0	0	
事業費	県	0	0	0	0	0	
の財源内訳	起債	0	0	0	0	0	
7/12 6.4	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	215, 656	95, 973	97, 612	100, 817	106, 717	
職	員数(人)	26. 55	12. 00	12. 50	12. 50	13. 50	
₩ = *F	正規	26. 55	11. 50	11. 50	12. 50	13. 50	
職員数 の内訳	嘱託	0.00	0.00	0. 50	0.00	0.00	
221, 311/	臨時	0. 00	0. 50	0. 50	0.00	0.00	

<u>臨時</u> <4. 指標> DO

		指標名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度					
		防火指導等参加者数	ı	目標	80, 000	80, 000	80, 000	80, 000	80, 000					
活動指	1		^	実績	128, 982	123, 465	161, 223	_	_					
動		事業所、一般家庭の防火指導、防火座談	会参加数											
指	指。	防火対象物等立入検査数	14-	目標	2, 000	2, 000	2, 000	2, 000	2, 000					
標	2		件	実績	2, 585	2, 643	2, 184	-	_					
		立入検査実施数												
		住宅用火災警報器設置率	%	目標	85	86	86	86	86					
戓	1		70	実績	83. 9	84. 1	84. 8	-	_					
成果指		市独自調査方法												
指		違反是正件数	件	目標	20	20	20	20	20					
標	2		117	実績	11	13	9	_	_					
		上段・違反対象物数 下段・違反是正件	 数					•						

事業を取 社会環境		福祉施設等の火災をはじめ、多数の死傷者が発生した火災を教訓に消防関係法令が改正され 反対象物には違反を是正させるための様々な規制が強化されている。
これまで や改善等	の元旦し	の導入や違反是正マニュアルに基づく行政指導及び行政処分を実施することにより、違反対 反是正を図っている。
項目別評価	評価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	■ A. 妥当である □ B. ほぼ妥当である □ C. あまり妥当ではない □ D. 妥当ではない	市民の生命・身体・財産を守るのは行政の最重要課題であることから、市が主体性と持って取り組むことは妥当である。
有 効 性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	□ A. 上がっている ■ B. やや上がっている □ C. あまり上がっていない □ D. 上がっていない	住宅用火災警報器の設置促進の広報により、設置率は84.8%まで上昇したが、近年は 鈍化傾向にある。 防火対象物の消防法令違反については、積極的な行政指導及び行政処 分により早期に是正され、防火対象物の安全性が確保されている。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高い □ B. やや高い □ C. やや低い □ D. 低い	住宅防火や事業所の防火・防災対策について、継続した指導を行っており、その中でも消防法令の違反是正を重点的に実施している。限られた人員と時間の中で覚知した違反を早期に是正させており、違反是正の姿勢と成果は全国的に高い水準にある。
総合評価	■ 1. 計画どおり事業を進める □ 3. 事業規模や見直しが必要	
	■ A 貢献している	住宅や事業所における火災をはじめとする事故防止は、地域に安心感を与え、住民にとっ

		住宅や事業所における火災をはじめとする事故防止は、地域に安心感を与え、住民にとっ
施策への	□ B. やや貢献している	て安心・安全に暮らすことのできるまちづくりに繋がっている。
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	
	□ D. 貢献していない	

く6. 今後	後の方向性> ACTION
	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 5. 休止 □ 6. 廃止
75	住宅や事業所の防火対策は継続して取り組むことが必要で、今後も防火安全対策を積極的に実施する。住宅用火災警報
	器については更なる設置促進と維持管理の徹底に係る広報を引き続き実施するとともに、消防法令違反対象物に対して は積極的な行政指導及び行政処分により違反是正に取り組む。
	は原を切る自然は寺人の自然だがにより産人を正に私り配る。
	住宅用火災警報器の設置及び維持管理に係る効果的な広報を行うこと。防火対象物や危険物施設に対する立入検査の実
	施、また消防法令違反のある対象物には積極的な是正指導等を行い、施設関係者の防火管理業務の適正化と施設利用者 等の安全を確保すること。
コメント	寺の女主を確体すること。

区分	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	98.70 %	97. 79 %	98.60 %
達成率	指標2	181.81 %	153.84 %	222. 22 %
成 果	指標1	- %	+0. 23 %	+0.83 %
増減率	指標2	- %	-18.18 %	+30. 76 %
活動単位	指標1	1 千円	0 千円	0 千円
コスト	指標2	83 千円	36 千円	44 _{千円}
成果単位	指標1	2,570 _{千円}	1,141 _{千円}	1,151 千円
コスト	指標2	19,605 千円	7,382 千円	10, 845 _{千円}
コスト増	減率	- %	+3. 37 %	-23. 02 %

整理	番号	4	25												
	局 名	消防局	•			所原	[名] 予	防課			所	属長	玉井	正巳	
	事業名		予防業績	条事業				14.5				入者	軽野	 政樹	
	基本事			<i>2</i> 3 2 2 2 2									1		
	区分	コード				名		称					消防法	去、大津	市火災調査
	方針		安心 快適に住み続けることのできる活力のあるまたを創ります 根								拠	規程	_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1-2 12 12 12	
総合計	政策	01		-			うまちにしま		ひりでん	11767	法	令等			
画の位						07 (2 %	ひょうにしゅ	 У							
a 03 消防・救急体制の充実 視点 01 消防力の充実								異選	する						
	視点	01			± = -							引計画			
	重事	03	火災予防	方体制の			- stir b	,							- TI
関連		ード				事務	事業名	占 杯				ード		所 禹	名 称
事業															
予	会	計	枠	事	業種り	別		予	算	事業 名			始	期・終	· 期
算	一般	会計	管理	評価対象	事業		予防業務費	ŧ							
事 業															
未															
							置いた市民 指導を行う		責極的な	広報を実	施するとともに	こ、製品	に起因	する火災	.lc
事業の		よ、殺垣	* 販元 *	期八争 录	そ白 に刈し	して改善	指导を打つ) ₀							
概要															
運営	方 法	■ 直営		指定管理	■者 □	民間委託	£ 口出:	資団体	委託	口 補助:	金交付 口 その	の他()
<2.	事業分	折> I	PLAN	l											
	目 的]	市内には	さける類(以火災に	よる被害	₹を防止する	るために	Ξ						
(1	<mark>可のため</mark> I	(=)													
	対 象	₹	市民並で	ブに製造	・販売・	輸入事業	美者を対象と	として							
(1	可又は誰	を)													
	手 段	L Z	市民に対	付しては	ホームペ	ージ、戊	報おおつり	やチラ	シなどの	D広報媒体	を活用する。	事業者に	こ対して	は合同で	での鑑識
(どの	ようなやり	(方で)	を行い原	た行い原田東明オストトナル - 必要に広じて改美亜胡津に上る通知を行う											
(2 0)	2017 (1976) - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														
(20)	成 集		類似火災		し、安心										
-	成 集	Į	類似火災		し、安心										
(どのよ	成 果うな状態にす	きるのか)	類似火災		し、安心										
(どのよ	成 集	きるのか)		災を防止		、安全な	ìまちづく !	りの実現	現を図る	5 .	令和 2年度				
(どのよ	成 果うな状態にす	きるのか)	平成2	災を防止	平成29	、安全 <i>t</i> 9年度	iまちづくり 平成30年	りの実現	現を図る 平成3	5。 1年度	令和 2年度		ĺ	描 :	考
<u>(どのよ</u> <3 .	成 集 うな状態に 発費 >	きるのか) DO	平成2	災を防止 18年度 1(千円)		、安全 <i>t</i> 9年度 (千円)	では 平成30年 決算額(千	りの実 F度 F円)	現を図る	1年度 (千円)	見込額(千円)		ĺ	# :	考
(どのよう) く3 .	成 果うな状態に 経費ン	するのか) D O	平成2	災を防止 1,364	平成29	、安全な 9年度 (千円) 1,306	でまちづくり 平成30年 決算額(千 1	りの実現 F度 F円) 1,298	現を図る 平成3 予算額	1年度 (千円) 1,041	<mark>見込額(千円)</mark> 1,041	1	ĺ	描 :	考
(どのよう) く3 .	成 果 うな状態に 経費 > 直接経費 件 費	するのか) D O A B	平成2	災を防止 8年度 ((千円) 1,364 58,725	平成29	、安全な 9年度 (千円) 1,306 95,250	平成30年 決算額(千 1	リの実現 F度 F円) 1,298 6,790	現を図る 平成3 予算額	1年度 (千円) 1,041 100,200	<mark>見込額(千円)</mark> 1, 041 100, 200		j		考
(どのよう) く3 .	成 果 うな状態に 経費 > 直接経費 件 費 費合計	D O A B A + B	平成2	総 8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089	平成29	、安全な 9年度 (千円) 1,306 95,250 96,556	平成30年 決算額(千 1	ド度 ・円) 1, 298 6, 790 8, 088	現を図る 平成3 予算額	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241	<mark>見込額(千円)</mark> 1,041 100,200 101,241		Ú	描 :	考
(どのよう) く3 . 直 人 事業	成 果うな状態にで 経費> 「直接経費」 「供費」 「供費」 「供費」 「供費」 「申費」 「申費	DO DO A B A+B	平成2	8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0	平成29	9年度 (千円) 1,306 95,250 96,556 0	平成30年 決算額(千 1	F度 F円) 1,298 6,790 8,088 0	現を図る 平成3 予算額	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0	<mark>見込額(千円)</mark> 1,041 100,200 101,241 (Ú	#	考
(どのよ <3. 直 事業 事業費	成果の	DO A B A + B 国	平成2	8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0	平成29	、安全な 9年度 (千円) 1,306 95,250 96,556 0	平成30年 決算額(千 1	ド度 (テ円) 1, 298 6, 790 8, 088 0	現を図る 平成3 予算額	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0	見込額(千円) 1,041 100,200 101,241 (Ú	#	考
(どのよう) く3 . 直 人 事業	成果の	A B A + B 国	平成2	8年度 ((千円) 1,364 58,725 60,089 0 0	平成29	9年度 (千円) 1,306 95,250 96,556 0	平成30年 決算額(千 1	ド度 ・円) 1, 298 6, 790 8, 088 0 0	現を図る 平成3 予算額	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0	見込額(千円) 1,041 100,200 101,241 ((ĺ	#	考
(どのよ <3. 事業 の財源	成 集	A B A + B 国	平成2	8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0	平成29	9年度 (千円) 1,306 95,250 96,556 0 0	平成30年 決算額(千 1 96 98	ド度 ・円) 1, 298 6, 790 8, 088 0 0	現を図る 平成3 予算額	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0	見込額(千円) 1,041 100,200 101,241 (((Ü	#	考
(どのよ <3. 事業費源訳 内内	成 集	A B A+B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成2	8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 0 0	平成29	9年度 (千円) 1,306 95,250 0 0 0 0 96,556	平成30年 決算額(干 1 96 98	F度 F円) 1, 298 6, 790 8, 088 0 0 0 0 0 8, 088	現を図る 平成3 予算額	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 0	見込額(千円) 1,041 100,200 101,241 (((((101,241		Ú	## :	考
(どのよ) (どのよ) (どのよ) (とのよ) (とのよ) (よ) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま	成 集	A B A + B 国	平成2	8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 0 0 60,089	平成29	9年度 (千円) 1,306 95,250 96,556 0 0 0 96,556	平成30年 決算額(千 1 96 98	F度 F円) 1, 298 6, 790 8, 088 0 0 0 0 0 8, 088	現を図る 平成3 予算額	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 0 101,241 12.50	見込額(千円) 1,041 100,200 101,241 ((((101,241 12.50		Ü	#	考
(どのよ) <3. 事業費源訳 職	成 集	A B A + B 国 L L L L L L L L L L L L L L L L L L	平成2	8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 0 0 60,089 7,25 7,25	平成29	9年度 (千円) 1,306 95,250 96,556 0 0 0 96,556 12.00 11.50	平成30年 決算額(千 1 96 98 1 1	F度 F円) 1, 298 6, 790 8, 088 0 0 0 0 8, 088 12, 50 11, 50	現を図る 平成3 予算額	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 0 101,241 12.50 12.50	見込額(千円) 1,041 100,200 101,241 (((101,241 12.50		i i	#	考
(どのよ <3. 事業費源訳 内内	成 集	A B A H B D M M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2	8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 0 0,00 60,089 7,25 7,25 0,00	平成29	9年度 (千円) 1,306 95,250 96,556 0 0 0 96,556 12.00 11.50 0.00	平成30年 決算額(千 1 96 98 1 1	F度 F円) 1, 298 6, 790 8, 088 0 0 0 0 8, 088 12. 50 11. 50 0, 50	現を図る 平成3 予算額	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 101,241 12.50 12.50 0.00	見込額(千円) 1,041 100,200 101,241 (((101,241 12.50 12.50		i i	## :	考
(どのよ) (どのよ) (どのよ) (とのよ) (とのよ) (とのよ) (まず) (ま	成 集	A B A + B B 使 D b l k (人)	平成2	8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 0 0 60,089 7,25 7,25	平成29	9年度 (千円) 1,306 95,250 96,556 0 0 0 96,556 12.00 11.50	平成30年 決算額(千 1 96 98 1 1	F度 F円) 1, 298 6, 790 8, 088 0 0 0 0 8, 088 12, 50 11, 50	現を図る 平成3 予算額	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 0 101,241 12.50 12.50	見込額(千円) 1,041 100,200 101,241 (((101,241 12.50		Ü	#	考
(どのよ) (どのよ) (どのよ) (とのよ) (とのよ) (とのよ) (まず) (ま	成 集	A B A H B D M M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2	8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 0 0,00 60,089 7,25 7,25 0,00	平成29	9年度 (千円) 1,306 95,250 96,556 0 0 0 96,556 12.00 11.50 0.00 0.50	平成30年 決算額(干 1 96 98 1 1	F度 F円) 1, 298 6, 790 8, 088 0 0 0 0 8, 088 12. 50 11. 50 0, 50	現を図る 平成3 予算額	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 101,241 12.50 12.50 12.50 0.00	見込額(千円) 1, 041 100, 200 101, 241 (((101, 241 12, 50 0, 00 0, 00				
(どのよ) (どのよ) (どのよ) (とのよ) (とのよ) (とのよ) (まず) (ま	成 経費 経費 経費 経費 経費 経費 経費 経費 以 以 以 以 以 以 以 以	A B B D B D B D B B D B B D B B B D B B B D B	平成2 決算額	8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 0 60,089 7.25 7.25 0.00 0.00	平成25	9年度 (千円) 1,306 95,250 96,556 0 0 0 96,556 12.00 11.50 0.00	平成30年 決算額(千 1 96 98 1 1	F度 F円) 1, 298 6, 790 8, 088 0 0 0 0 8, 088 12. 50 11. 50 0. 50	現を図る 平成3 予算額	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 101,241 12.50 12.50 0.00	月込額(千円) 1,041 100,200 101,241 (((((((101,241 12.50 0.00 0.00	平成30) 年度		変 令和 2年
(どのよ) (どのよ) (どのよ) (とのよ) (とのよ) (とのよ) (まず) (ま	成 経費 経費 経費 経費 経費 経費 経費 基 基 基 基 基 基 基 基	A B B D B D B D B B D B B D B B B D B B B D B	平成2 決算額	8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 60,089 7.25 7.25 0.00 0.00	平成25	9年度 (千円) 1,306 95,250 96,556 0 0 0 96,556 12.00 11.50 0.00 0.50	平成30年 決算額(千 1 96 98 1 1	F度 F円) 1, 298 6, 790 8, 088 0 0 0 0 0 8, 088 12. 50 11. 50 0, 50 0, 50	現を図る 平成3 予算額	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 101,241 12.50 12.50 0.00 0.00	月込額(千円) 1,041 100,200 101,241 (((1) (1) 101,241 12.50 0.00 0.00 度 平成29年度 5	平成30)年度 3		
(どのよ) (どのよ) 事業財 事業財 職の内 4. 1.	成 経費 経費 経費 経費 経費 経費 経費 経費 以 以 以 以 以 以 以 以	A B B D B D B D B B D B B D B B B D B B B D B	平成2 決算額	8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 0 60,089 7.25 7.25 0.00 0.00	平成25	9年度 (千円) 1,306 95,250 96,556 0 0 0 96,556 12.00 11.50 0.00 0.50	平成30年 決算額(干 1 96 98 1 1	F度 F円) 1, 298 6, 790 8, 088 0 0 0 0 8, 088 12. 50 11. 50 0. 50 0. 50	現を図る 平成3 予算額 ・実績	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 101,241 12.50 12.50 0.00 0.00	月込額(千円) 1,041 100,200 101,241 (((((((101,241 12.50 0.00 0.00	平成30) 年度		変 令和 2年
(どのよ) 事業財職の内職の 職の 1	成 様	A B + B I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成2 決算額 標点 により集	後を防止 8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 0 60,089 7.25 0.00 0.00 4 報の実施	平成25 決算額	9年度 (千円) 1,306 95,250 96,556 0 0 0 96,556 12.00 11.50 0.00 0.50	平成30年 決算額(千 1 96 98 1 1	F度 F円) 1, 298 6, 790 8, 088 0 0 0 0 8, 088 12. 50 11. 50 0. 50 0. 50 0. 50	現を図る 平成3 予算額 ・実績 目標	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 101,241 12.50 12.50 0.00 0.00	月込額(千円) 1,041 100,200 101,241 (((1) (1) 101,241 12.50 0.00 0.00 度 平成29年度 5	平成30)年度 3		変 令和 2年, 5
とのよ 事の内 職の 人 活動指 事業財職員内 4 1	成 集 方 A 養 費 長 中 長 中 大<	A B + B B M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額 標点 により集	8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 0 60,089 7,25 7,25 0,00 0,00	平成25 決算額	9年度 (千円) 1,306 95,250 96,556 0 0 0 96,556 12.00 11.50 0.00 0.50	平成30年	ド度 - 円) 1, 298 6, 790 8, 088 0 0 0 0 8, 088 12. 50 11. 50 0. 50 0. 50 0. 50	現を図る 平成3 予算額 ・実績 目標	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 101,241 12.50 12.50 0.00 0.00	月込額(千円) 1,041 100,200 101,241 (((1) (1) 101,241 12.50 0.00 0.00 度 平成29年度 5	平成30)年度 3	平成31年,	変 令和 2年
(どのよ) 事業財職の内職の 職の 1	成 様	A B + B B M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額 標点 により集	後を防止 8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 0 60,089 7.25 0.00 0.00 4 報の実施	平成25 決算額	9年度 (千円) 1,306 95,250 96,556 0 0 0 96,556 12.00 11.50 0.00 0.50	平成30年 決算額(千 1 96 98 1 1 1	ド 下 下 一 1, 298 6, 790 8, 088 0 0 0 0 11. 50 0. 50 0. 50 11. 50 0. 50	現を図る 平成3 解 実績 実績	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 101,241 12.50 12.50 0.00 0.00	月込額(千円) 1,041 100,200 101,241 ((101,241 12.50 0.00 0.00	平成30	D年度 5 5	平成31年,	変 令和 2年, 5
(どのよ) 事業財 事業財 職の 4 活動指標	成 集 方 存 春 費 上 そ 長 世 日 大 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日<	A B H B D 財 人規託時 D 指似 火の B B D B D B D B D B D B D B D B D B D	平成2 決算額 標 災防止 に より集 ひ に よ り 集	後を防止 8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 0 60,089 7.25 0.00 0.00 4 報の実施	平成25 決算額	、安全な 9年度 (千円) 1,306 95,250 0 0 0 96,556 12.00 11.50 0.00 0.50	平成30年 決算額(干 1 96 98 1 1 位 件 ける広報回 件	ド 下 下 一 1, 298 6, 790 8, 088 0 0 0 0 11. 50 0. 50 0. 50 11. 50 0. 50	現 を 図 を 図 を 図 で	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 101,241 12.50 12.50 0.00 0.00	月込額(千円) 1,041 100,200 101,241 ((101,241 12.50 0.00 0.00	平成30	O年度 5 5 5	平成31年,	変 令和 2年, 5
(どのよ) 事業財 事業財 職の 4 活動指標	成 機 方 を 方 を 大 費 長 日 大 機 大 の い の い の い の い の い<	A B A H B B D B D B D B D B D B D D B D D B D D B D D B D	平成2 決算額 標 災防止 に より集 ひ に よ り 集	後を防止 8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 60,089 7.25 7.25 0.00 0.00 4和の実施 乗中して発動 ない、これによって発動した。 ない、これによっている。 ない、これによっている。 はいる。 は	平成25 決算額	、安全な 9年度 (千円) 1,306 95,250 0 0 0 96,556 12.00 11.50 0.00 0.50	平成30年	F度 F円) 1, 298 6, 790 8, 088 0 0 0 0 8, 088 12. 50 11. 50 0. 50 0. 50 0. 50	現を図る と	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 101,241 12.50 12.50 0.00 0.00	月込額(千円) 1,041 100,200 101,241 ((101,241 12.50 0.00 0.00	平成30	O年度 5 5 5	平成31年,	変 令和 2年, 5
(どのよ) 事業財 事業財 員内 4 活動指標	成 機 方 を 方 を 大 費 長 日 大 機 大 の い の い の い の い の い<	A B A H B B D B D B D B D B D B D D B D D B D D B D D B D	平成2 決算額	後を防止 8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 60,089 7.25 7.25 0.00 0.00 4和の実施 乗中して発動 ない、これによって発動した。 ない、これによっている。 ない、これによっている。 はいる。 は	平成25 決算額	、安全な 9年度 (千円) 1,306 95,250 0 0 0 96,556 12.00 11.50 0.00 0.50	平成30年 決算額(干 1 96 98 1 1 位 件 ける広報回 件	F度 F円) 1, 298 6, 790 8, 088 0 0 0 0 8, 088 12, 50 11, 50 0, 50 0, 50 0, 50 11, 50 11	現	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 101,241 12.50 12.50 0.00 0.00	月込額(千円) 1,041 100,200 101,241 (() () () () () () () () () () () () ()	平成30	D年度 5 5 10 19	平成31年,	支 令和 2年 5 - 10 -
(どのよ) 事業財 事業財 員内 4 活動指標	成 機 支 接 費 基 表 表 基 表 表 基 表 表 基 表 表 基 表 の と の と の と の と の と の と の と の と の と の と の と の と の と の と の と の の と の の と の の と の の の と の の と の の と の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の<	A B A B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 標	後を防止 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 60,089 7.25 0.00 0.00 8報の実施 中して発	平成25 決算額	、安全な 9年度 (千円) 1,306 95,250 0 0 0 96,556 12.00 11.50 0.00 0.50	平成30年	F度 F円) 1, 298 6, 790 8, 088 0 0 0 0 8, 088 12, 50 11, 50 0, 50 0, 50 0, 50 11, 50 11	現を図る と	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 101,241 12.50 12.50 0.00 0.00	度込額(千円) 1,041 100,200 101,241 ()	平成30	D年度 5 5 10 19	平成31年,	支 令和 2年 5 - 10 -
(どのよ) 事業財 事業財 職の 4 活動指標	成な状費費上上大接件合サ上上上長上上上 <th> to a control A</th> <th>平成2 決算額 標</th> <th>後を防止 8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 0 60,089 7.25 0.00 0.00 名 報の実が は中して発 はける合同</th> <th>平成25 決算額</th> <th>、安全な 9年度 (千円) 1,306 95,250 0 0 0 96,556 12.00 11.50 0.00 0.50</th> <th>平成30年</th> <th> F度</th> <th>現</th> <th>1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 101,241 12.50 12.50 0.00 0.00</th> <th>度込額(千円) 1,041 100,200 101,241 ()</th> <th>平成30</th> <th>D年度 5 5 10 19</th> <th>平成31年,</th> <th>支 令和 2年 5 - 10 -</th>	to a control A	平成2 決算額 標	後を防止 8年度 (千円) 1,364 58,725 60,089 0 0 0 60,089 7.25 0.00 0.00 名 報の実が は中して発 はける合同	平成25 決算額	、安全な 9年度 (千円) 1,306 95,250 0 0 0 96,556 12.00 11.50 0.00 0.50	平成30年	F度	現	1年度 (千円) 1,041 100,200 101,241 0 0 0 101,241 12.50 12.50 0.00 0.00	度込額(千円) 1,041 100,200 101,241 ()	平成30	D年度 5 5 10 19	平成31年,	支 令和 2年 5 - 10 -

260

実績

240

190

鑑識実施件数/発生予想(目標)件数

2

社会環境の状況まっている。			る安全意識が高まり、家庭や職場で使用している各種製品からの出火事例の報道に注目が集
			り製品火災に関する火災調査権が拡大されたことから、更なる火災調査体制の強化を図るた 防災センター訓練塔内の火災調査危険物判定室の分析機器を活用し出火原因を究明する。
項目別評価	西 評 価		評 価 理 由
	■ A. 妥当	当である	類似火災の発生を防ぐため、広く周知する必要については妥当である。
妥当性	□ B. ほぼ	ぎ妥当である	
(実施主体又は 手段は妥当か)	□ C. あa	まり妥当ではない	
	□ D. 妥≦	当ではない	
有 効 性	■ A. 上 <i>t</i>	がっている	製品火災における出火原因やメカニズムを特定することで、メーカーへ再発防止対策を依
(事業分析の 「成果」欄に	□ B. や ⁴	や上がっている	頼し、また、原因が製品を使用する側にある場合には、使用方法等の広報を行うことで再 発を防ぐことができる。
記載の成果は上がっている	□ C. あa	まり上がっていない	光を切くことがくさる。
か)	□ D. 上#	がっていない	
±1 + 10	■ A. 高し	۸,	製品火災の調査結果については、国に報告することとなっており、情報は全国から集まる
効 率 性 (事業手法は効	□ B. や ⁴	や高い	こととなっている。その情報は全国の消防に発信され、本市のホームページや広報誌を活 用し広く市民に周知することで、類似火災の防止につながる。
率的である	□ C. やも	や低い	用し広く印氏に周知することで、類似人及の例上につなかる。
か。)	□ D. 低U	۸,	
総合評価	■ 1. 計画	画どおり事業を進める	Sことが適当 □ 2. 事業の進め方に改善が必要
心口計画	□ 3. 事刻	業規模や見直しが必 要	□ 4.事業の抜本的見直しや廃止が必要
	■ A. 貢献	献している	情報を発信することにより、消防機関に対する信頼性を向上させ、安心して暮らすことの

		情報を発信することにより、消防機関に対する信頼性を向上させ、安心して暮らすことの
施策への	□ B. やや貢献している	できるまちづくりに貢献している。
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	
	□ D. 貢献していない	

< 6. 今後の方向性> ACTION

ı	<u> </u>		011					
ı		■ 1. 現状のまま継続	□ 2. 見直しの	上で継続(□ 2-1.	拡充・重点化	□ 2-2. 手段等の改善	□ 2-3. 効率化
ı		□ 2-4. 簡素化・縮小	□ 2-5. 統合	□ 2-6. その他	.)			
ı	方向性	□ 3.終期の設定	□ 4.終了()	□ 5.休止	□ 6. 廃止	
	刀 lel le	北部地域総合消防防災セン 、得られた資料を活用し <i>t</i>	≿積極的な広報活動	かにより類似火災	を防止する	3 .		
	部 局 長コメント	火災調査施設を有効かつ数 効果的な広報を行い、市民						するため
ı	17:01:							

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	35. 71 %	100.00 %	100.00 %
達成率	指標2	38.46 %	41.66 %	52. 63 %
成 果	指標1	- %	+64. 28 %	±0.00 %
増減率	指標2	- %	+7. 69 %	+20. 83 %
活動単位	指標1	4, 292 _{千円}	19,311 千円	19,617 _{千円}
コスト	指標2	2,311 千円	4,023 千円	5, 162 _{千円}
成果単位	指標 1	214 _{千円}	965 _{千円}	980 _{千円}
コスト	指標2	231 千円	402 千円	516 _{千円}
コスト増	減率	- %	-211.99 %	-14.94 %

רואון	整理	番号	4	26										
部	3 后	高 名	消防局				所属名	警防部	#		所属	<mark>禹 長</mark> 弓:	坂 則行	
事	務事	事業名	00279	消防水	利施設整 個	⋕事業					記力	<mark>∖者</mark> 小:	須田 太	
< 1	۱. :	基本事	項>											
		区分	コード			· 2	3	称					防組織法	
		方針	03	安心、忖	央適に住る	み続けること	とのでき	る活力のあ	るまちを倉	削ります	根		防法	
総合	計	政策	01			らすことので	_				法名	7寺 消	防水利の基準	
画σ		施策	03		效急体制(512007						
置付	けけ		01								 	する		
		視点		消防力位			L /// ## ##	o #b ##			個別	計画		
		重事	04	耐震性期	庁水槽の記	役置による防								
関	:亩	П	ード			事	務事	業名			⊐ -	- F	所属名	,称
事														
子:	ξ.	会	計	枠	事	業 種 別			予算事	業名	i		始期 • 終;	期
第	1	一般	会計	政策	評価対象	事業	消[方水利施設	整備費					
事	∓													
業	¥.													
		火災発生	主時の消	火活動を	円滑に行	うため、ま	た、大規	見模地震災害	害に伴う火	災発生時	の消防水利確保	のため、消	火栓及び耐震	
事業					との整備を									
事 兼 概	要													
1470														
V里	224	+ :+	■ ±±	, <u> </u>	化白体型	1±	旧禾子	ு ப் கோ	リナチャ	□ ++ □-	소소나 ㅁㅋ~	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		
_		方法	■直営			者 口民間	可安託	□ 出資団	山体安託	□ 佣助:	金交付 口 その	71世 ()
<u> </u>		事業分		P L A N		1/年献 七田は	旦に行る	+- W = +-	十担性	1年5十年	模災害に伴うり	、 ※ & 井 吐 /	ハ : 当 『ナ →レ チョ 『 左 』	₹. 0. ±-
		目 的		火火光	土吋切用;	ベ油 割を円置	削し1丁フ	にめ、また	、人况悮坝	世辰で人が	民民火告に仕りり	(火光生時)	ノ月的小小側性を	トリバニ
		「のため」			n - 4271 (F.)	4 D± 1.1# 66 a	- W.E. I.	T.116=0 -6						
		対 象		消火栓	とび 耐震性	生貯水槽等0	の消防水	村施設を						
	(乍	可又は誰:	を)											
	-	手 段	Ž		こついて	は水道配管0	の新設及	び維持管理	に併せて、	また、耐	震性貯水槽につ	ついては特に	こ木造住宅密集	長地を
ح (ک	どの。	ようなやり	り方で)	捉えて										
		成 集	Į	整備・勇	更新を推済	進して火災剤	発生時に	おける被害	の軽減を図	図る 。				
0 تع)	のよう	な状態に	するのか)											
< 3	3. j	経費>	DO											
				平成2	28年度	平成29年	度 ^立	平成30年度	平成3	1年度	令和 2年度			
				決算額	(千円)	決算額(千				引) 予算額(千円) 見込額			備考	
	直	接経費	A		44, 769	37	624	38, 96	32	42, 989	38, 962			
		. 件 費			4, 050		, 100	7, 05		4, 100	7, 050			
<u></u>		費合計 4			48, 819		, 724	46, 01	_	47, 089	46, 012			
-	· 未 :		国 国			41,				47, 009				
車業	⊭弗				0		0			^				
の財	加		果		0				0	0	0			
事業の内	訳		債				0		0	0	0			
		その			8, 400		0		0	0 12, 700	0			
					0		0		0 0 0	0 12, 700 0	0 0			
P)			財源			41,	0		0 0 0	0 12, 700	0			
		員 数	:財源		0		0		0 0 0 2	0 12, 700 0	0 0			
		員 数	<u>財源</u> (人) 規		0 40, 419	(0 0 724	46, 01	0 0 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 12, 700 0 34, 389	0 0 0 46, 012			
		員 数	:財源		0 40, 419 0. 50	(0 0 , 724 0. 50	46, 01 1. 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 12, 700 0 34, 389 0. 50	0 0 0 46, 012 1. 00			
		員 正	<u>財源</u> (人) 規		0 40, 419 0. 50 0. 50	(0 0 , 724 0. 50 0. 50	46, 01 1. 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 12, 700 0 34, 389 0. 50 0. 50	0 0 0 46, 012 1. 00			
	数引訳	員 正 嘱	: 財源 (人) 規 託		0 40, 419 0. 50 0. 50 0. 00	(0 0 , 724 0. 50 0. 50 0. 00	46, 01 1. 0 1. 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 12,700 0 34,389 0.50 0.50	0 0 0 46,012 1.00 1.00			
職員の内	数引訳	員 数 正 嘱 臨	財源 (人) 規 託 時	標	0 40, 419 0. 50 0. 50 0. 00	(0 0 , 724 0. 50 0. 50 0. 00	46, 01 1. 0 1. 0 0. 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 12,700 0 34,389 0.50 0.50 0.00	0 0 0 46,012 1.00 1.00	平成30年度	▼成31年度	令和 2年度
職員の内	数引訳	員数 正嘱 臨 指標〉 耐震性則	財源 (人) 規 託 時 DO 指 ウ水槽の	整備数	0 40, 419 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	(0 0 , 724 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	46, 01 1. 0 1. 0 0. 0 0. 0	0 0 0 1 2 2 00 00 00 00	0 12,700 0 34,389 0.50 0.50 0.00	0 0 46, 012 1. 00 1. 00 0. 00 0. 00		平成31年度	令和 2年度 0
職員の内	数引訳	員数 正嘱 臨 指標〉 耐震性則	財源 (人) 規 託 時 DO 指 ウ水槽の		0 40, 419 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	(0 0 , 724 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	46, 01 1. 0 1. 0 0. 0 0. 0	0 0 0 12 2 00 00 00 00 目標・実績 目標	0 12,700 0 34,389 0.50 0.50 0.00	0 0 46,012 1.00 1.00 0.00 0.00	(令和 2年度 0
職員の内	数引訳	員数 正嘱 臨 指標> 耐震性則年4個8	財源 (人) 規 託 時 DO 指 庁水槽の1	整備数 個に変更	0 40, 419 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00 4 (目標値隔	((0 0 , 724 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	46, 01 1. 0 1. 0 0. 0 0. 0	0 0 0 1 2 2 00 00 00 00	0 12,700 0 34,389 0.50 0.50 0.00	0 0 46,012 1.00 1.00 0.00 0.00	() 1	令和 2年度 0
職員の内	数引訳	員数 正嘱 臨 指標> 耐震性則年4個8	財源 (人) 規 託 時 DO 指 庁水槽の1	整備数 個に変更	0 40, 419 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	((0 0 , 724 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	46, 01 1. 0 1. 0 0. 0 0. 0	0 0 0 12 2 00 00 00 目標・実績 実績	0 12,700 0 34,389 0.50 0.50 0.00	0 0 46,012 1.00 1.00 0.00 0.00	() 1	令和 2年度 0
職員の内	数 計	員数 正嘱 臨 指標> 耐震性則年4個8	財源 (人) 規 託 時 DO 指 庁水槽の1	整備数 個に変更	0 40, 419 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00 4 (目標値隔	((0 0 , 724 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	46, 01 1. 0 1. 0 0. 0 0. 0	0 0 0 2 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 12,700 0 34,389 0.50 0.50 0.00	0 0 46,012 1.00 1.00 0.00 0.00	() 1	令和 2年度 0
職員の内	数引訳	員数 正嘱 臨 指標> 耐震性則年4個8	財源 (人) 規 託 時 DO 指 庁水槽の1	整備数 個に変更	0 40, 419 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00 4 (目標値隔	((0 0 , 724 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	46, 01 1. 0 1. 0 0. 0 0. 0	0 0 0 12 2 00 00 00 目標・実績 実績	0 12,700 0 34,389 0.50 0.50 0.00	0 0 46,012 1.00 1.00 0.00 0.00	() 1	令和 2年度 0
職員の内	数 1 1 2	員数正嘱 <mark>臨</mark> 指標> 耐年4個個	財源 (人) 規 託 時 D 指 中 を に お に に た を に こ た に る に る に る ら た る に る た る に る た る に る た る た る に る た る た	整備数 個に変更 耐震性則	0 40, 419 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00 4 (目標値隔	((0 0 , 724 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	46, 01 1. 0 1. 0 0. 0 0. 0	0 0 0 1 2 00 00 00 00 回 1標・実績 目標 実績	0 12,700 0 34,389 0.50 0.50 0.00 0.00	0 0 46,012 1.00 0.00 0.00 0.00 g 平成29年度 0 1 1 0		1 -	0
職員の内	数 1 1 2	員数正嘱 <mark>臨</mark> 指標> 耐年4個個	財源 (人) 規 託 時 DO 指 庁水槽の1	整備数 個に変更 耐震性則	0 40, 419 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00 4 (目標値隔	((0 0 , 724 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	46, 01 1. 0 1. 0 0. 0 0. 0	0 0 0 1 2 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1	0 12,700 0 34,389 0.50 0.50 0.00 0.00	0 0 46,012 1.00 1.00 0.00 0.00 b 平成29年度 0 1 1 0	7:	5 76	令和 2年度 0 -
職員の内	数 1 1 2 1 1	員数正嘱臨 點 指標> 一個個 一個個 各年度(財源 (人) 規 託 時 DO 指 守水標の1 における	整備数 個に変更 耐震性財 置数	0 40,419 0.50 0.00 0.00 0.00 名 (目標値隔 で)	((((((((((((((((((((((((((0 0 0 . 724 0. 50 0. 00 0. 00 0. 00	46, 01 1. 0 0. 0 0. 0	0 0 0 1 2 00 00 00 00 回 1標・実績 目標 実績	0 12,700 0 34,389 0.50 0.50 0.00 0.00	0 0 46,012 1.00 0.00 0.00 0.00 g 平成29年度 0 1 1 0		5 76	0
職員の内	数 1 1 2 1 1	員数正嘱臨 點 指標> 一個個 一個個 各年度(財源 (人) 規 託 時 DO 指 守水標の1 における	整備数 個に変更 耐震性財 置数	0 40,419 0.50 0.00 0.00 0.00 名 (目標値隔 で)	((0 0 0 . 724 0. 50 0. 00 0. 00 0. 00	46, 01 1. 0 0. 0 0. 0	0 0 0 1 2 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1	0 12,700 0 34,389 0.50 0.50 0.00 0.00	0 0 46,012 1.00 1.00 0.00 0.00 b 平成29年度 0 1 1 0	7:	5 76	0
職員の内	数訳 1	員数正嘱臨 點 指標> 一個個 一個個 各年度(財源 (人) 規 託 時 DO 指 守水標の1 における	整備数 個に変更 耐震性財 置数	0 40,419 0.50 0.00 0.00 0.00 名 (目標値隔 で)	((((((((((((((((((((((((((0 0 0 . 724 0. 50 0. 00 0. 00 0. 00	46, 01 1. 0 0. 0 0. 0	0 0 0 1 2 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1	0 12,700 0 34,389 0.50 0.50 0.00 0.00	0 0 46,012 1.00 1.00 0.00 0.00 b 平成29年度 0 1 1 0	7:	5 76	0
職員の内	数 1 1 2 1 1	員数正嘱臨 點 指標> 一個個 一個個 各年度(財源 (人) 規 託 時 DO 指 守水標の1 における	整備数 個に変更 耐震性財 置数	0 40,419 0.50 0.00 0.00 0.00 名 (目標値隔 で)	((((((((((((((((((((((((((0 0 0 . 724 0. 50 0. 00 0. 00 0. 00	46, 01 1. 0 0. 0 0. 0	0 0 0 2 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 12,700 0 34,389 0.50 0.50 0.00 0.00	0 0 46,012 1.00 1.00 0.00 0.00 b 平成29年度 0 1 1 0	7:	5 76	0

事業を明 社会環境	# # Control		密集地への設置が必要であるが、設置可能な用地確保が困難な状況である。また、既 進み、維持管理及び更新、廃止が必要なものも出てきている。
これまで や改善等	の元直し Title Title Tit		した大規模木造住宅密集地火災から、設置計画を学区ではなく、木造住宅密集地の水 計画が必要になった。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
	■ A. 妥当である	消防組織	織法により、消防責任は市町村が負うことになっている。
妥当性	□ B. ほぼ妥当で	きある	
(実施主体又は 手段は妥当か)	□ C. あまり妥当	iではない	
	□ D. 妥当ではな	:U	
有効性	□ A. 上がってい	で マ成3	0年度は、用地は確保できているが計画どおり設置できていない。
(事業分析の 「成果」欄に	□ B. やや上がっ	ている	
記載の成果は上がっている	■ C. あまり上が	「っていない	
か)	□ D. 上がってい	ない	
** *** **	■ A. 高い		貯水槽の設置は、特に地震災害時の有効な消防水利として必要不可欠であり、用地
効 率 性 (事業手法は効	□ B. やや高い	が催保	できていることから計画的に設置をする。
<u>率的である</u> か。)	□ C. やや低い		
13.0	□ D. 低い		
総合評価	■ 1. 計画どおり	事業を進めることが	適当 □ 2. 事業の進め方に改善が必要
心口口口面	□ 3. 事業規模や	見直しが必要	□ 4.事業の抜本的見直しや廃止が必要
	■ A. 貢献してい		貯水槽を整備することは、消防力の充実強化につながり施策に貢献している。
施策への	□ B. やや貢献し	ている	
貢献度	□ C. あまり貢献	-	
	□ D. 貢献してい	ない	

<6. 今後の方向性> ACTION

<u> </u>		311			
	■ 1. 現状のまま継続	□ 2. 見直しの上で継続	(□ 2-1. 拡充・重点化	□ 2-2.手段等の改善	□ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小	□ 2-5. 統合 □ 2-6. その	他)		
七白州	□ 3. 終期の設定	□ 4.終了() 口 5. 休止	□ 6. 廃止	
カ IPI IE		未整備区域において、設置可能	な適地を調査し、優先順位	を明確にして、計画的に	整備を図
	っていく。				
		造住宅密集地域の中でも危険度	の高い場所周辺に公有地で	設置可能な土地を選定し	て計画を
部局長	推進すること。				
コメント					
	方向性	ある	カ 向 性 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その □ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (ある	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 5. 休止 □ 6. 廃止 木造住宅密集地の消防水利未整備区域において、設置可能な適地を調査し、優先順位を明確にして、計画的にっていく。 耐震性貯水槽の整備は、木造住宅密集地域の中でも危険度の高い場所周辺に公有地で設置可能な土地を選定し推進すること。

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	101.35 %	98.68 %	100.00 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	48,819 _{千円}	0 _{千円}	0 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	650 千円	556 千円	613 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	-14.53 %	+10. 27 %

整理番号		127													
部	局名	消防局				所属	属 名 警防	方課			所属	属 長	弓坂	則行	
事務	事業名	00278	消防車	両等整備	事業						記り	人者	中瀬	祐介	
< 1.	基本	事項>													
	区分	} □-F				名		称						組織法	
	方針			、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります							拠	消防法			
総合言			· .				るまちにしま				法令	令等	消防ス	カの整備指	針
画の位	<u> </u>		+			07 (2 %	3 4 5 IC C 4	. 9			-				
置付け				枚急体制(の允美						関連	する			
	視点		消防力の								個別				
	重要	■ 05	消防活動	動体制の	基盤整備										
		コード			=	事務	事 業 名	称				ード		所属名	3 称
関連		00281	消防車	両等維持 ⁶	管理事業						23	54	警防調	課	
事業												•	1074	ν··	
		会 計	枠	ュ	業種別	31		予 質	事業	名			始	期 · 終 ;	Ħ
予	_	·般会計		評価対象		7.7	\\\ r_ + _ \r\ \		* *	п			71	7V1 IFC /	-01
算事	_	限云司	以宋	計巡刈多	(争未		消防車両等	整備實							
業															
×1.	15-17							= · · · · · · · · · · ·			· 101- 1- 1- 1-1				
							これらの災害								_
事業の) 占 亩						:規模な修繕 並びに、定							に用防・救	
概 星	□ □ 甲	当父 ひ年世	」(1貝集以9	る。旧別日	刀双似称与	マツ史初	业いに、た	カリロリレーはし	こ半寺の	,/\ -	ハールを	大心 9	∂ ∘		
運	営 方 治	■ 直'	<u></u>	指定管理	■者 □ 〕	早問季:	f 口出省	資団体委託	口補目	1全交に	□ その) 他 ()
		_	PLAN		<u>., u</u> ,	八川女百	, ция	、四件女 癿			, (0.	, III (,
<u> </u>					久插巛宝!	1-油油+	いつ的確に対	はまるたん	51-						1
	目	的	1支柱 91	**IL9 る。	10 性火石	こ処座ん	いっていれていてとり	1109 0120	<i>)</i> _						
	何のた		Sale m.I.				k								
	対	象	消防・羽	阪急車両 。	及び積載	消防用税	機械器具等を	•							
	何又は	誰を)													
	手	段	年次計画	画に基づ	き更新及る	び大規模	莫な修繕整備	を行い							
(どの	つような	やり方で)					<mark>(どのようなやり方で)</mark>								
(どの			災害現場	場におい	て、迅速	• 確実(:	こ、かつ最大	限にその能	も	させ、	災害による	る被害の	軽減を	日指す。	
	成	果	災害現均	場におい	て、迅速	・確実に	こ、かつ最大	限にその飼	も 力を発揮	させ、	災害による	る被害の	軽減を	き目指す。	
(どの。	成っな状態	果 にするのか)	災害現均	場におい	て、迅速	・確実は	こ、かつ最大	限にその値	もかを発揮	させ、	災害による	る被害の)軽減を	日指す。	
(どの。	成	果 にするのか)										る被害の)軽減を	注目指す。	
(どの。	成っな状態	果 にするのか)	平成2	28年度	平成29	9年度	平成30年	度 平	戊31年度	令和	2年度	る被害の		を目指す。 構 考	
<u>(どの。</u> <3 .	成 うな状態 経費	果 (にするのか) DO	平成2	28年度	平成29	9年度 (千円)	平成30年, 決算額(千)	度 平F 円) 予算	成31年度 額(千円)	令和	2年度額(千円)	る被害の			
<u>(どの。</u>	成 うな状態 経費	果 にするのか) DO	平成2	28年度	平成29	9年度	平成30年, 決算額(千)	度 平	戊31年度	令和	2年度	る被害の			
(どの。	成	果 にするのか) DO	平成2	28年度	平成29	9年度 (千円)	平成30年 決算額(千) 3,	度 平F 円) 予算	成31年度 額(千円)	令和見込物	2年度額(千円)				
(どの。 く3 .	成	果 にするのか) DO	平成2 決算額	28年度 〔千円〕 210, 745 10, 790	平成29 決算額(9年度 (千円) 30, 334 4, 100	平成30年 決算額(千 3, 4,	度 平原 円) 予算 , 917 , 100	<mark>找31年度</mark> 額(千円) 4, 323 4, 100	令和 見込	1 2年度 領(千円) 4, 323 4, 100				
(どの。 く3 .	成	果 にするのか) DO	平成2 決算額	28年度 〔(千円) 210, 745	平成29 決算額(9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434	平成30年 決算額(千 3, 4,	度 平原円) 予算	<mark>艾31年度</mark> 額(千円) 4, 323	令和 見込	1 2年度 額(千円) 4, 323				
(どの。 く3 .	成	果 にするのか) DO 費 A 費 B A + B 国	平成2 決算額	28年度 〔千円〕 210, 745 10, 790 221, 535 0	平成29 決算額(9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574	平成30年 決算額(千 3, 4,	度 平	<mark>拨31年度</mark> 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0	令和 見込	1 2年度 頃(千円) 4,323 4,100 8,423 0				
(どの。 く3 .	成	果 にするのか) DO 費 B B A+B 国	平成2 決算額	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0	平成29 決算額(0年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0	平成30年 決算額(千 3, 4,	度 平	枚31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0	令和 見込	1 2年度 領(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0				
(どの。	成った状態を養した。	果 DO BBA BBA BBA BB BB BB BB BB BB BB BB BB	平成2 決算額	28年度 〔千円〕 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300	平成29 決算額(0年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500	平成30年 決算額(千 3, 4,	度 平	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0	令和 見込	1 2年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0				
(どの。 く3 .	成をあるな状態を表する。	果 DO BB A BB A + B 国 県 起 債	平成2 決算額	28年度 〔千円〕 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0	平成29 決算額(0年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0	平成30年 決算額(干 3, 4, 8,	度 平	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0	令和 見込	1 2年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0				
(どの。	成 大きな状態を を は は は は は は は は は は は は は は は は は は	果 はにするのか) DO 費 A 費 B A + B 国 県 長 での他 般財源	平成2 決算額	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235	平成29 決算額(9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360	平成30年 決算額(千 3, 4, 8,	度 円) ラ算 917 . 100 . 017 0 0 0 0 0	t31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 0 8, 423	令和 見込	1 2年度 鎮(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 0 8, 423				
く3. 事業別言	成成のな状態を表する。	果 はにするのか) DO 費 B B A + B 国 県 起 債 その他 般財源 女 (人)	平成2 決算額	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235	平成29 決算額(9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360 0. 50	平成30年 決算額(干 3, 4, 8,	度 円) 予算 917 100 017 0 0 0 0 0 017	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50	令和 見込	4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 0 8, 423 0.50				
く3. 事業別言	成成のな状態を表する。	果 はにするのか) DO 費 A サ A + B 国 県 ほその他 ・般財源 女 (人) 正 規	平成2 決算額	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235	平成29 決算額(9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360	平成30年 決算額(干 3, 4, 8,	度 円) ラ算 917 . 100 . 017 0 0 0 0 0	t31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 0 8, 423	令和 見込	1 2年度 鎮(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 0 8, 423				
く3. 事業別言	成な状態を整理を表現している。	果 DOO DOO DOO DOO DOO DOO DOO DOO DOO DO	平成2 決算額	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235	平成29 決算額(9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360 0. 50	平成30年 決算額(干 3, 4, 8,	度 円) 予算 917 100 017 0 0 0 0 0 017	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50	令和 見込	4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 0 8, 423 0.50				
(どの。	成な状態を整理を表現している。	果 はにするのか) DO 費 A サ A + B 国 県 ほその他 ・般財源 女 (人) 正 規	平成2 決算額	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235 1, 50	平成29 決算額(0年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360 0. 50	平成30年 決算額(干 3, 4, 8,	度 円) ・917 ・100 ・017 0 0 0 0 0 0.017 0.50	 	令和 見込	1 2年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50				
く3. 事業別言	成な状態を発生した。	果 DO B B A B A B B A B B C D D D D D D D D D D D D D D D D D	平成2 決算額	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235 1, 50 0, 00	平成29 決算額(0年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360 0. 50 0. 00	平成30年 決算額(干 3, 4, 8,	度 円) ラ 917 100 0 017 0 0 0 0 017 0.50 0.50	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50	令和 見込	1 2年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 00				
(どの。 (どの。 (どの。 (どの。 事業財制 調像内 職員内 (との)	成成のな状態を発力を表現している。	果	平成2 決算報	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235 1, 50 1, 50 0, 00	平成29 決算額(0年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360 0. 50 0. 00	平成30年 決算額(干 3, 4, 8,	度 円) 予算 ,917 ,100 ,017 0 0 0 0 ,017 0.50 0.50 0.00	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00	令和 見込	1 2年度 鎮(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00		i	着	令和 2年度
(どの。 (どの。 (どの。 (どの。 事業財制 調像内 職員内 (との)	成成な状態を発生を表現して、一点を表現して、まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	果 はにするのか) A B B A A 国 県 債 他 源 を 般 (規 託 時 D の 指	平成2 決算額	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235 1, 50 1, 50 0, 00 0, 00	平成29 決算額(9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360 0. 50 0. 50 0. 00	平成30年 決算額(千 3, 4, 8, () () ()	度 平	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00	令和 見込都 年度 平	1 2年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 00		年度	一 考	令和 2年度 5
(どの。 (どの。 (どの。 (どの。 事業財制 調像内 職員内 (との)	成な状態を発性のは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	果	平成2 決算額	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235 1, 50 1, 50 0, 00 0, 00	平成29 決算額(9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360 0. 50 0. 50 0. 00	平成30年 決算額(千) 3, 4, 8,	度	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00	令和 見込	1 2年度 鎮(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00		年度 ³	着	令和 2年度 5
(どの。 (どの。 (どの。 (どの。 事業財制 調像内 職員内 (との)	成状態を整備を表現して、一番を表現して、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	果 B A B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 標 票新台数	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235 1, 50 0, 00 0, 00	平成29	9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30年 決算額(千 3, 4, 8, (() (()	度 平	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00	令和 見込都 年度 平	1 2年度 鎮(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00		年度	一 考	令和 2年度 5 -
(どの。 (どの。 (どの。 (どの。 事業財制 調像内 職員内 (との)	成状態を整備を表現して、一番を表現して、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	果 はにするのか) A B B A A 国 県 債 他 源 を 般 (規 託 時 D の 指	平成2 決算額 標 票新台数	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235 1, 50 0, 00 0, 00	平成29	9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30年 決算額(千 3, 4, 8, (() (()	度	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00	令和 見込	1 2年度 鎮(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00		年度 ³	一 考	令和 2年度 5 -
(どの。 (どの。 (どの。 (どの。 事業財制 調像内 職員内 (との)	成な状態費 直接件 言	果 B A B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 標 票新台数	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235 1, 50 0, 00 0, 00	平成29	9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30年 決算額(千 3, 4, 8, (() (()	度	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00	令和 見込	1 2年度 鎮(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00		年度 ³	一 考	令和 2年度 5 -
(どの。 (どの。 (どの。 (どの。 事業財制 調像内 職員内 (との)	成な状態費 直接件 言	果 B A B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 標 票新台数	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235 1, 50 0, 00 0, 00	平成29	9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30年 決算額(千 3, 4, 8, (() (()	度	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00	令和 見込	1 2年度 鎮(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00		年度 ³	一 考	令和 2年度 5 -
(どの。 (どの。 (どの。 (どの。 事業財制 調像内 職員内 (との)	成な状態費 直接件 言	果 B A B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 標 票新台数	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235 1, 50 0, 00 0, 00	平成29	9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30年 決算額(千 3, 4, 8, (() (()	度	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00	令和 見込	1 2年度 鎮(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00		年度 ³	一 考	令和 2年度 5 -
(どの。 (どの。 (どの。 (どの。 事業財制 調像内 職員内 (との)	成	果 B A B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 標 票新台数	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235 1, 50 0, 00 0, 00	平成29	9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30年, 決算額(千) 3, 4, 8, (() (() 位	度	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00	令和 見込 年度 7 4	1 2年度 鎮(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30	年度 ³ 0	業 不	5
(どの。 (どの。 (どの。 (どの。 事業財制 調像内 職員内 (との)	成な状態費を持たる。 直人養養になる。 「おります」は、「まります」は、「まりますますます」は、「まりますますます。」は、「まりますますままりますます。」は、まりますまままままままままままままままままままままままままままままままままま	果 on o o o o o o o o o o o o o o o o o o	平成2 決算額 標 票新台数	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235 1, 50 0, 00 0, 00	平成29	9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30年 決算額(千 3, 4, 8, (() (()	度	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00	令和 見込 事度 平 5 4	1 2年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30	年度 ³ 2 0 0 78	一 考	令和 2年度 5 - 78 -
(どの。 (どの。 (どの。 (どの。 事業財制 調像内 職員内 (との)	成な状態費を持つできます。 「は、おります」では、これでは、おります。 「は、おります」では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	果 on h) O B B A B B B B B B B B B B B B B B B B	平成な決算部	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235 1, 50 0, 00 0, 00	平成29	9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30年, 決算額(千) 3, 4, 8, (() (() 位	度	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00	令和 見込 年度 7 4	1 2年度 鎮(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30	年度 ³ 0	業 不	5
(どの。 (どの。 (どの。 (どの。 事業財制 調像内 職員内 (との)	成な状態費を持つできます。 「は、おります」では、これでは、おります。 「は、おります」では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	果 on o o o o o o o o o o o o o o o o o o	平成な決算部	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235 1, 50 0, 00 0, 00	平成29	9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30年, 決算額(千) 3, 4, 8, (() (() 位	度	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00	令和 見込 事度 平 5 4	1 2年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30	年度 ³ 2 0 0 78	業 不	5
(どの。) 事業財 職の (との。) 事業財 職の (との。) (との。) (との。) (との。) (との。) (との。) (との。) (との。) (おおおおままままままままままままままままままままままままままままままままま	成な状態費 直人費 資子 指標 防防 両管	果 on h) O B B A B B B B B B B B B B B B B B B B	平成な決算部	28年度 (千円) 210, 745 10, 790 221, 535 0 0 204, 300 0 17, 235 1, 50 0, 00 0, 00	平成29	9年度 (千円) 30, 334 4, 100 34, 434 10, 574 0 10, 500 0 13, 360 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30年, 決算額(千) 3, 4, 8, (() (() 位	度	数31年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00	令和 見込 事度 平 5 4	1 2年度 額(千円) 4, 323 4, 100 8, 423 0 0 0 0 8, 423 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	平成30	年度 ³ 2 0 0 78	業 不	5

事業を取 社会環境			マと変化する社会環境から、災害の複雑多様化は増大し、これに伴い大規模災害、海外情勢からのテロ災害対 など特殊災害への対応、また、救急業務の増加、高度化に伴う市民のニーズは増大している。				
	の見直し 等の経過		当防車両の統合による減数やメンテナンス整備を効果的に実施する。また、資機材も必要最小限の維持管理や改 等等、現場対応可能な状態になるよう継続していく。				
項目別評価	評	価	評 価 理 由				
	■ A. 妥当	当である	消防組織法により、消防責任は市町村が負うこととなっている。				
妥当性	□ B. ほぼ	ぎ妥当である					
(実施主体又は 手段は妥当か)	□ C. あa	まり妥当ではない					
	□ D. 妥≦	当ではない					
有効性	□ A. 上 <i>t</i>	がっている	消防車両及び救急車両、計2台の更新計画の時期が超過しているが更新できていない。				
(事業分析の 「成果」欄に	□ B. や ⁴	や上がっている					
記載の成果は上がっている	□ C. あま	まり上がっていない					
か)	■ D. 上#	がっていない					
±1 + 10	■ A. 高し	۸,	更新に伴う最新の車両と資機材の充実は、現場活動が効率的に対応できるようになり隊員				
効 率 性 (事業手法は効	□ B. や ⁴	や高い	の負担軽減はもとより、災害による被害が軽減される。				
率的である	□ C. やも	や低い					
か。)	□ D. 低U	۸,					
総合評価	■ 1. 計画	国どおり事業を進める	ことが適当 □ 2. 事業の進め方に改善が必要				
松古計画	□ 3. 事刻	業規模や見直しが必要	□ 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要				
	•	·					
	■ A. 貢献	献している	大規模地震災害、テロ災害、特殊災害の発生が危惧される中、更新時期がきた車両を、こ				

■ A. 貢献している 大規模地震災害、テロ災害、特殊災害の発生が危惧される中、更新時期がきた車両を、こ 施策への □ B. やや貢献している □ C. あまり貢献していない □ D. 貢献していない	

<6. 今後の方向性> ACTION</p>

<u> </u>	の分内はアーA O T I O N
	□ 1. 現状のまま継続 ■ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 ■ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 () □ 5. 休止 □ 6. 廃止
力叫任	今後は、消防車両の統合による減数やメンテナンス整備を効果的に実施する。 さらに、資機材についても必要最小 限を維持管理して災害対応能力を継続し維持していく。
	災害対応力を維持するには、車両等の更新整備事業は重要である。更新時期となる救急車両と消防車両を早期に更新す
部局長	及音列心力を維持するには、単画等の更新整備事業は重要である。更新時期となる私志単画と月間単画を半期に更新すること。 ること。また、災害対応に支障が無いようメンテナンス整備を徹底すること。
部局長コメント	りここ。 おた、人日ハルに入中のv の ファファアンス 正明 と [版]の / りここ。

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	101.26 %	101. 28 %	100.00 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	+1.26 %	±0.00 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	55, 383 _{千円}	34, 434 千円	0 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	2,804 _{千円}	441 _{千円}	102 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	+84. 25 %	+76.71 %

+4			•	'	132.0	' ' '.	×	ולני	丁 小		_		LI	成30年及事	
	番号		28												
部月		消防局				所原	<mark>名</mark> 警防	5課				所属		坂 則行	
	事業名		特殊災害	活動体制	訠整備事業	業						記り	<mark>人者</mark> 伊	藤智文	
<1.	基本事	項>													
	区分	コード		名称					+0		防法				
	方針	03	安心、快	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります						 根 法令		防組織法 防力の整備指	· & ↓		
総合計	政策	01	安心、安	全に暮ら	らすことの	のできる	。 まちにしま	す				<i>,</i> ,,,,,) T	別りの金浦和	亚
画の位 置付け	施策	03	消防・救	(急体制の	の充実								救	助隊定期訓練	年間計画
直刊()	視点	01	消防力の									関連		難救助隊訓練	年間計画
	重事	05	消防活動		L般整備							個別	計画		
		ード	717077030	117711111111111111111111111111111111111	<u> </u>	1	事 業 名	称					- K	所属	文 称
関連	_	•				L 123	7	4.3.					'	171 11-41	H 1-1-
事業															
		計	枠	市	業種別	ıl		予	告	事業	Þ			始 期 ・ 終	₩A
予														如 别 · 於	州
算	一般	会計	管理	評価対象	手耒		特殊災害活	動体制	引整備事	業費					
事業															
				山岳救助	事故、水	〈難救助	事故等の特別	珠災害	言への対	応能力向]上る	日的に各種	活動資機材	「を整備し、特	寺
事業の	殊災害的	本制を強	化する。												
概要															
運営	方法	■ 直営	ž □:	指定管理	B者 □ E	民間委託	E 口出資	肾団体	委託	□ 補助	金衣	付 □ その)他 ()
	事業分		PLAN	71 XC 11 - 1		-VI-1 X III		, ш г	× 110			(1) = (1)	, ID (
			_	災害やス	水難・山岳	- 救助事	薬など、特	殊災	害による	る活動体制	iiのi	整備と災害に	よる被害を	を軽減するため	めに
	可のため		I IZ II M	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		1,7,7,7	->/- 0 ()	<i>></i> 1.20		270201111	.,		-0.0120	_ +1/// / 0/2	.,,-
	対 		- わこの	《宝年	助時 <i>に</i> 病 F	T オスセ	持殊資機材を								
			C10507	火石心	切げに (文)	יו על לנד	が不良仮物で								
-	可又は誰		=1 = 1441=		- 4+ //. 1 -	て献 仕し									
	手 段	-	計画的に	.、年次1	こ特化して	(発揮し	•								
	ようなやり		<u> </u>							. ,					
	成 集	Į	安全・的]催・迅道	速な災害 湯	古動を美	ミ践し、市民	の安	心・安全	ìな暮らし	ンを ⁶	曜保する。			
	うな状態に	するのか)													
<3.	経費>	DO													
			平成28	3年度	平成29	年度	平成30年	度	平成3	1年度	令	·和 2年度		備考	
			決算額	(千円)	決算額(千円)	決算額(千	円)	予算額	(千円)	見	∆額(千円)		1佣 45	
直	接経費	Α		2, 921		2, 787	2.	887		1, 997		1, 997			
人	、件 費	В	1	98, 450	1	76, 300	176,			176, 300		176, 300			
	費合計			201, 371		79, 087	179,			178, 297		178, 297			
2 2102		<u> </u>		01, 071		0	170,	0		0		0			
事業費		 杲		122		0		0		0		0			
の財源		·····································				0		0		0					
内 訳		<u>順</u> D他		0		_						0			
				0	4.	0	170	107		170, 007		170 007			
Triple.		財源	2	201, 249	1	79, 087	179,			178, 297		178, 297			
職	員数	(人)		24. 50		21. 50		. 50		21. 50		21. 50			
職員数		規		24. 50		21.50	21	. 50		21. 50		21. 50			
0 内訳	嘱	託		0. 00		0.00	(00 .		0.00		0.00			
	臨	時		0.00		0.00	(0.00		0.00		0. 00			
< 4.	指標>	DO													
		指	標	名		単	位	目標	・実績	平成28年	E度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
	救助出動						Ш		目標		220	220	22	_	220
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							件		= 1/5 実績		227	209	23	4 -	_
活動	1月~	12月の	救助出動	件数	ļ				ペリス						'
却			件数(上		1				目標		35	35	3	5 35	35
捐															

		1日 1示 1日	1	口际大限	1 //2=0 1 //2	1 /2=0 1 /2	1 //200	1 //20: 1 //	1, 15 = 1 1/2		
		救助出動件数	件	目標	220	220	220	220	220		
活	1		IT	実績	227	209	234	-	-		
活動指		1月~12月の救助出動件数		•							
指		水難事故等出動件数(上記 1 の内	件	目標	35	35	35	35	35		
標	2	数)	П	実績	53	57	48	-	_		
		水難事故、山岳救助、ガス・酸欠事故の出動件数									
		救助人員	ı	目標	90	90	90	90	90		
成	1		^	実績	120	126	117	-	-		
果		1月~12月の救助人員									
指		水難事故等救助人員(上記1の内	1	目標	30	30	30	30	30		
成果指標	2	数)	^	実績	59	54	34	-	-		
		水難事故、山岳救助、ガス・酸欠事故の	救助人員								

	事業を取りまく 社会環境の状況 生活様式や余暇活動の多様化等により、山岳、水難救助事故対応への需要は高まっていることに加え、全国各地 で豪雨災害等の自然災害も頻発しており、この分野に特化した資機材の配備や隊員の育成が求められている。								
	V 元. 但. し	、各種資機材も多様化している中、新規購入は必要最低限に留め、現有資機材の更新を進め では、当務でできるものは当務実施で人件費を抑制し、山岳、水難分野に集中的に配分。							
項目別評価	評 価	評 価 理 由							
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	■ A. 妥当である □ B. ほぼ妥当である □ C. あまり妥当ではない □ D. 妥当ではない	隊員には危険と隣り合わせの特殊環境下で、極めて困難な活動が求められるため、要救助者の安全な救出はもちろんのこと、救助者自身の安全確保のために、相応の資機材整備や 訓練等にかかる人件費などの資源投入は絶対必要である。							
有 効 性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	■ A. 上がっている □ B. やや上がっている □ C. あまり上がっていない □ D. 上がっていない	市民の安心・安全な暮らしを守るためには、相応の資機材整備と教育訓練の実施は有効で ある。							
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高い □ B. やや高い □ C. やや低い □ D. 低い	特殊災害対応資機材の整備や特殊災害に対応できる隊員の育成については、通常一般災害にも通じるものであることから、効率は高い。							
総合評価	■ 1. 計画どおり事業を進める □ 3. 事業規模や見直しが必要								
施策への貢献度	■ A. 貢献している □ B. やや貢献している	災害対応力の向上は、満足な市民サービスの提供に貢献している。							

貢献度□ C. あまり貢献していない □ D. 貢献していない **<6. 今後の方向性> ACTION**

_	<u>U. 7</u>		7 14			
		■ 1. 現状のまま継続	□ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化	□ 2-2.手段等の改善	□ 2-3. 効率化
		□ 2-4. 簡素化・縮小	□ 2-5.統合 □ 2-6.その他	,)		
Ⅱ ,	方 向 性	□ 3.終期の設定	□ 4.終了() 口 5. 休止	□ 6. 廃止	
	דו נייו נ	頻発する自然災害をはじめ、	、山岳事故、水難事故に即応する	ためには、事前の備えが	極めて重要であり、資機	材の整備
		更新や隊員の教育訓練機会の	の充実に資源分配していく必要が	ぶある。		
_			牧、水難事故に即応するためには	、計画的に資機材の整備	更新や隊員の教育研修、	訓練を勧
台	吊長	めること。				
=	コメント					
II						

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	75. 00 %	71.42 %	76. 92 %
達成率	指標2	50.84 %	55. 55 %	88. 23 %
成 果	指標1	- %	−5.00 %	+7.14 %
増減率	指標2	- %	+8.47 %	+37. 03 %
活動単位	指標1	887 _{千円}	856 千円	765 千円
コスト	指標2	3,799 千円	3,141 千円	3,733 千円
成果単位	指標1	1,678 _{千円}	1,421 千円	1,531 千円
コスト	指標2	3,413 千円	3,316 千円	5, 270 千円
コスト増	減率	- %	+9.06 %	-33. 33 %

整理	番号	4:	29											
部	局 名	消防局				所属	<mark>属名</mark> 警防	方課			所属	<mark>禹 長</mark> 弓:	坂 則行	
	事業名		消防救急	急救助業	務事業						記り	<mark>入者</mark> 小:	須田 太	
<1.	基本事	項>												
	区分	コード				名		称			40		防組織法	
	方針	03	安心、忖	央適に住る	み続ける	ことので	できる活力の	ある	まちを創	削ります		拠 う等	防法	
総合計	政策	01	安心、	安全に暮り	らすこと	のできる	らまちにしま	す			/4	11 41		
画の位 置付け		03	消防・排	対急体制(の充実									
直刊门	視点	01	消防力の					関連						
	重事	05			 其般慗借						個別	計画		
重事 05 消防活動体制の基盤整備										- F	所属名	2		
関連		— r				尹 劢	尹 未 1	ብላነ				- 14	DI AS 1	コーイ が
事業	<u> </u>													
予		計	枠		業種	別		予	算 号	業 名			始期 • 終	期
算	一般	会計	管理	評価対象	孝		消防救助業	務費						
事業														
*														
												部隊の災害	対応訓練を実	7 th
事業の	•	ことによ	り沽動体	制の強化	ごを図り、	、市民の	生命、身体	及び財	7座を各	種災害から	保護する。			
概要														
運営	方 法	■ 直営		指定管理	と 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	民間委託	£ 口出資	資団体	委託	□ 補助金	交付 口 その)他 ()
	事業分	折> 1	PLAN											
	目 的		複雑多	兼化する 3	災害に迅	速・的研	笙に対応し被	害を占	最小限に	こ止めるため	olc .			
(1	何のため	(.)												
	対 多		各種災害	書に対応 つ	するため	の消防・	救急・救助	資機	材等の数	き備と活動部	『隊を			
	何又は誰													
	手段		年次的(こ整備・引	治化 させ	ることに	- L U							
	ようなやり	-	1 5(43)	-1E IM 1	X10 C C	0 – – 1	-01 /							
			巛宝&/	+ 吐 の地?	まの起流	+ w 7								
成果災害発生時の被害の軽減														
		-	火日九二	土時の牧	音の軽減	で図る。								
(どのよ	うな状態に	するのか)	火日九-	土時の恢う	ちの軽減	で図る。 								
(どのよ		するのか)								1 fe fe	A 10 0 F F			
(どのよ	うな状態に	するのか)	平成2	28年度	平成2	9年度	平成30年			1	令和 2年度		備考	
(どのよ く3 .	うな状態に 経費>	するのか) D O	平成2	28年度 [(千円)		9年度 (千円)	決算額(千	円)	平成3	(千円) 見	込額(千円)		備考	
(どのよ く3 .	経費>	するのか) DO	平成2	28年度 〔(千円) 4,637	平成2 決算額	9年度 (千円) 4,697	<mark>決算額(千</mark> 4,	円) . 047	予算額	4, 139	<mark>込額(千円)</mark> 4,139		備考	
(どのよ く3. 直	方な状態に 経費> 直接経費 件費	DO A B	平成2 決算額 1,	28年度 (千円) 4,637 012,500	平成2 決算額 1,	9年度 (千円) 4,697 033,200	決算額(千I 4, 1,061,	円) , 047 , 900	予算額 1,	(千円) 4, 139 025, 000	<mark>.込額(千円)</mark> 4,139 1,043,200		備考	
(どのよ く3 .	うな状態に 経費> 直接経費 件費	D O A B A+B	平成2 決算額 1,	28年度 〔(千円) 4,637	平成2 決算額 1,	9年度 (千円) 4,697	決算額(千I 4, 1,061,	円) , 047 , 900	予算額 1,	4, 139	<mark>込額(千円)</mark> 4,139		備考	
(どのよ く3 .	うな状態に 経費> 直接経費 件費	D O A B A+B	平成2 決算額 1,	28年度 (千円) 4,637 012,500	平成2 決算額 1,	9年度 (千円) 4,697 033,200	決算額(千I 4, 1,061,	円) , 047 , 900	予算額 1,	(千円) 4, 139 025, 000	<mark>.込額(千円)</mark> 4,139 1,043,200		備考	
(どのよ く3 .	うな状態に 経費> 直接経費 件費	D O A B A+B	平成2 決算額 1,	28年度 (千円) 4,637 012,500 017,137	平成2 決算額 1,	9年度 (千円) 4,697 033,200 037,897	決算額(千I 4, 1,061,	円) . 047 . 900 . 947	予算額 1,	4, 139 025, 000 029, 139	込額(千円) 4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339		備考	
(どのよ く3 .	うな状態に 経費> 直接経費 件費	D O A B A+B	平成2 決算額 1,	28年度 (千円) 4,637 012,500 017,137 0	平成2 決算額 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0	決算額(千I 4, 1,061,	円) . 047 . 900 . 947 . 0	予算額 1,	(千円) 男 4,139 025,000 029,139 0	4, 139 4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0		備考	
(どのよ く3. 直	うな状態に 経費> 重接経費 件費 費合計/ 起	DO A B A+B 国	平成2 決算額 1,	88年度 (千円) 4,637 012,500 017,137 0	平成2 決算額 1,	9年度 (千円) 4,697 033,200 037,897 0	決算額(千I 4, 1,061,	円) . 047 . 900 . 947 . 0	予算額 1,	(千円) 男 4,139 025,000 029,139 0	L込額(千円) 4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0		備考	
(どのよ く3 .	うな状態に 経費> 直接経費 件費 費合計 し し こ こ こ	DO A B A + B 国	平成2 決算額 1, 1,	88年度 (千円) 4, 637 012, 500 017, 137 0 0	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0	決算額(千I 4, 1,061,	円) . 047 . 900 . 947 0 0 0	予算額 1, 1,	4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0	L込額(千円) 4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0		備考	
(どのよ く3. 事業財 事の内	ラな状態にご経費> 経費> 直接経費費 サール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	DO ABA+B 国 情 の D の の は の は の は の は の は の は の は の は の	平成2 決算額 1, 1,	88年度 (千円) 4, 637 012, 500 017, 137 0 0 0	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0	決算額(千I 4, 1,061, 1,065,	円) . 047 . 900 . 947 0 0 0	予算額 1, 1,	(千円) 男 4,139 025,000 029,139 0 0 0 0	L込額(千円) 4,139 1,043,200 1,047,339 0 0 0		備考	
(どのよ く3. 事業財 事の内	ラな状態にご経費> 経費> 直接経費費 サール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	DO A B A+B 国 民 使 D 他 財源	平成2 決算額 1, 1,	88年度 (千円) 4,637 012,500 017,137 0 0 0 0 017,137	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4,697 033,200 037,897 0 0 0	決算額(干I 4, 1,061, 1,065, 1,065,	円) .047 .900 .947 0 0 0 0 .947 9.50	予算額 1, 1,	(千円) 男 4,139 025,000 029,139 0 0 0 0 0 0 029,139 125,00	L込額(千円) 4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 0 1, 047, 339 127, 50		備考	
(どのよ く3. 事業財 事の内	ラな状態にご経費> 経費> 直接経費費 サール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成2 決算額 1, 1,	88年度 (千円) 4, 637 012, 500 017, 137 0 0 0 017, 137 125, 00	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 037, 897 126, 00	決算額(千月 4, 1,061, 1,065, 1,065, 129	円) . 047 . 900 . 947 0 0 0 0 0 . 947 9. 50 9. 50	予算額 1, 1,	4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 125, 00 0	L込額(千円) 4,139 1,043,200 1,047,339 0 0 0 1,047,339 127,50 127,50		備考	
(どのよ く3. 事業財 事の内	ラな状態にご経費> 経費> 直接経費費 サール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A B A + B 国	平成2 決算額 1, 1,	88年度 (千円) 4, 637 012, 500 017, 137 0 0 0 017, 137 125, 00 0. 00	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 037, 897 126, 00 0, 00	決算額(千月 4, 1,061, 1,065, 1,065, 129 129	円) . 047 . 900 . 947 0 0 0 0 . 947 9. 50 9. 50 0. 00	予算額 1, 1,	4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	L込額(千円) 4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00		備考	
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の内	うな状態に 経費 直接経費 費 見 正 監	DO	平成2 決算額 1, 1,	88年度 (千円) 4, 637 012, 500 017, 137 0 0 0 017, 137 125, 00	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 037, 897 126, 00	決算額(千月 4, 1,061, 1,065, 1,065, 129 129	円) . 047 . 900 . 947 0 0 0 0 0 . 947 9. 50 9. 50	予算額 1, 1,	4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 125, 00 0	L込額(千円) 4,139 1,043,200 1,047,339 0 0 0 1,047,339 127,50 127,50		備考	
(どのよ) (3) 事業財 職の内 職の方 (4)	うな状態に 会費 を養費 を養費 を持ちます。 しません しません <th>A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I</th> <th>平成2 決算額 1, 1,</th> <th>88年度 (千円) 4,637 012,500 017,137 0 0 0 0 017,137 125.00 125.00 0.00</th> <th>平成2 決算額 1, 1,</th> <th>9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 037, 897 126, 00 0, 00</th> <th>決算額(千月 4, 1,061, 1,065, 1,065, 129 129</th> <th>円) .047 .900 .947 0 0 0 0 .947 9.50 9.50 0.00</th> <th>予算額 1, 1, 1,</th> <th>(千円) 男 4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 029, 139 0 125, 00 0 125, 00 0 0, 00 0 0, 00 0</th> <th>4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00</th> <th></th> <th></th> <th>令和 2年度</th>	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成2 決算額 1, 1,	88年度 (千円) 4,637 012,500 017,137 0 0 0 0 017,137 125.00 125.00 0.00	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 037, 897 126, 00 0, 00	決算額(千月 4, 1,061, 1,065, 1,065, 129 129	円) .047 .900 .947 0 0 0 0 .947 9.50 9.50 0.00	予算額 1, 1, 1,	(千円) 男 4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 029, 139 0 125, 00 0 125, 00 0 0, 00 0 0, 00 0	4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00			令和 2年度
(どのよ) (3) 事業財 職の内 職の方 (4)	ラな状態にご辞機を表する。 経費 という は できます は できまり できます は に は に は に は に は に は に は に は に は に は	A B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 1, 1,	88年度 (千円) 4, 637 012, 500 017, 137 0 0 0 017, 137 125, 00 0. 00	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 0 037, 897 126, 00 126, 00 0, 00	決算額(干I 4, 1,061, 1,065, 1,065, 129 ()	円	予算額 1, 1, 1,	(千円) 男 4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 029, 139 0 00 0 125, 00 125, 00 0, 00 0 0, 00 0	4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00 0, 00	平成30年度	平成31年度	
(どのよ) (3) 事業財 職の内 職の方 (4)	ラな状態にご辞機を表する。 経費 という は できます は できまり できます は に は に は に は に は に は に は に は に は に は	A B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 1, 1,	88年度 i(千円) 4,637 012,500 017,137 0 0 0 017,137 125.00 125.00 0.00 0.00	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 0 037, 897 126, 00 126, 00 0, 00	決算額(干I 4, 1, 061, 1, 065, 1, 065, 129 129	円) 047 900 947 0 0 0 0 0 947 0 947 9.50 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	予算額 1, 1, 1, 1,	4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 125, 00 125, 00 0 0, 00 0 0, 00	4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00 0, 00 0	<mark>平成30年度</mark>	F 平成31年度 5 55	令和 2年度 55
(どのよ) (3) 事業財 職の内 職の方 (4)	うな状態に 会様 を養費 を養費 を養費 を存む しません という	A B A H B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額 1, 1, 1,	8年度 (千円) 4,637 012,500 017,137 0 0 0 017,137 125.00 125.00 0.00 0.00	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 0 037, 897 126, 00 126, 00 0, 00	決算額(干I 4, 1,061, 1,065, 1,065, 129 ()	円) 047 900 947 0 0 0 0 0 947 0 947 9.50 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	予算額 1, 1, 1,	(千円) 男 4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 029, 139 0 00 0 125, 00 125, 00 0, 00 0 0, 00 0	4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00 0, 00 0	平成30年度	▼成31年度55	
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	うな状態に 会様 を養費 を養費 を養費 を存む しません という	A B A H B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額 1, 1,	8年度 (千円) 4,637 012,500 017,137 0 0 0 017,137 125.00 125.00 0.00 0.00	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 0 037, 897 126, 00 126, 00 0, 00	決算額(干I 4, 1,061, 1,065, 1,065, 129 ()	Pi	予算額 1, 1, 1, 1, 1,	4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 125, 00 125, 00 0 0, 00 0 0, 00	4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00 0, 00 0	<mark>平成30年度</mark>	▼成31年度55	
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	うな状態に 会様 を養費 を養費 を養費 を存む しません という	A B A H B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額 1, 1, 1,	8年度 (千円) 4,637 012,500 017,137 0 0 0 017,137 125.00 125.00 0.00 0.00	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 0 037, 897 126, 00 126, 00 0, 00	決算額(干I 4, 1,061, 1,065, 1,065, 129 ()	円) 047 900 947 0 0 0 0 947 0 947 0 0 0 947 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	予算額 1, 1, 1, 1, 1, 1,	4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 125, 00 125, 00 0 0, 00 0 0, 00	4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00 0, 00 0	<mark>平成30年度</mark>	▼成31年度55	
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	うな状態に 会様 を養費 を養費 を養費 を存む しません という	A B A H B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額 1, 1, 1,	8年度 (千円) 4,637 012,500 017,137 0 0 0 017,137 125.00 125.00 0.00 0.00	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 0 037, 897 126, 00 126, 00 0, 00	決算額(干I 4, 1,061, 1,065, 1,065, 129 ()	円) 047 900 947 0 0 0 0 947 0 947 0 0 0 947 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	予算額 1, 1, 1, 1, 1,	4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 125, 00 125, 00 0 0, 00 0 0, 00	4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00 0, 00 0	<mark>平成30年度</mark>	▼成31年度55	
(どのよ) (3) 事業財 職の内 職の方 (4)	うな状態に うな状態を 音接件 費 世報 最近 日本 日本 <th> A B A B B A B B B B B B B B B B B B B</th> <th>平成2 決算額 1, 1, 1, 数 (1, 数 (1, 数 出動件</th> <th>88年度 (千円) 4,637 012,500 017,137 0 0 0 017,137 125.00 125.00 0.00 0.00 8 ~ 1 2 月</th> <th>平成2 決算額 1, 1,</th> <th>9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 0 037, 897 126, 00 126, 00 0, 00</th> <th>決算額(干I 4, 1,061, 1,065, 1,065, 129 ()</th> <th>円) 047 900 947 0 0 0 0 947 9.50 9.50 0.00 0.00 1 目標 目標 9</th> <th>予算額 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1</th> <th>4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 0 0 029, 139 125, 00 125, 00 0, 00 0, 00 0, 00 0, 00</th> <th>4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00 0, 00 P成29年度 55 43</th> <th><mark>平成30年度</mark> 55</th> <th>平成31年度 55 56 —</th> <th>55 </th>	A B A B B A B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 1, 1, 1, 数 (1, 数 (1, 数 出動件	88年度 (千円) 4,637 012,500 017,137 0 0 0 017,137 125.00 125.00 0.00 0.00 8 ~ 1 2 月	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 0 037, 897 126, 00 126, 00 0, 00	決算額(干I 4, 1,061, 1,065, 1,065, 129 ()	円) 047 900 947 0 0 0 0 947 9.50 9.50 0.00 0.00 1 目標 目標 9	予算額 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1	4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 0 0 029, 139 125, 00 125, 00 0, 00 0, 00 0, 00 0, 00	4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00 0, 00 P成29年度 55 43	<mark>平成30年度</mark> 55	平成31年度 55 56 —	55
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	うな状態に うな状態 養養 養養 最近 大田 最近 大田	ABA HB BB	平成2 決算額 1, 1, 1, 1, 数 (1 月 数 (1 月	88年度 (千円) 4,637 012,500 017,137 0 0 0 017,137 125.00 125.00 0.00 0.00 0.00	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 0 037, 897 126, 00 126, 00 0, 00	決算額(干I 4, 1,061, 1,065, 1,065, 129 ()	Page	予算額 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1	4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00 0, 00 \$\frac{\text{\$\tinitit{\$\text{\$\exititt{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\}\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\tex	<mark>平成30年度</mark> 55 40	平成31年度 5 55 6 -	
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	うな状態に 会議者 を検費 を検費 を検費 を検費 を検費 おおり 上の表別を表現します。 は標準 大り は標準 とのより は標準 とのより は標準 とのより	A B A B A B A B A B A B A B A B A B A	平成2 決算 1, 1, 1, 1, 数 出動件 た下りの:	88年度 (千円) 4,637 012,500 017,137 0 0 0 017,137 125.00 125.00 0.00 0.00 0.00	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 0 037, 897 126, 00 126, 00 0, 00	決算額(干) 4, 1,061, 1,065, 129 0 0 位 件	Page	予算額 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1	4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 0 0 029, 139 125, 00 125, 00 0, 00 0, 00 0, 00 0, 00	4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00 0, 00 \$\frac{\text{\$\tinitit{\$\text{\$\exititt{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\}\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\tex	<mark>平成30年度</mark> 55	平成31年度 5 55 6 -	55
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	うな状態に 会議者 を検費 を検費 を検費 を検費 を検費 おおり 上の表別を表現します。 は標準 大り は標準 とのより は標準 とのより は標準 とのより	ABA HB BB	平成2 決算 1, 1, 1, 1, 数 出動件 た下りの:	88年度 (千円) 4,637 012,500 017,137 0 0 0 017,137 125.00 125.00 0.00 0.00 0.00	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 0 037, 897 126, 00 126, 00 0, 00	決算額(干) 4, 1,061, 1,065, 129 0 0 位 件	Pi	予算額 1, 2, 1, 1, 1, 1, 2, 2, 3, 4, 4, 4, 5, 6, 7, 8, 1, </th <th>4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th>4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00 0, 00 \$\frac{\text{\$\tinitit{\$\text{\$\exititt{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\}\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\tex</th> <th><mark>平成30年度</mark> 55 40</th> <th>平成31年度 5 55 6 -</th> <th>55 </th>	4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00 0, 00 \$\frac{\text{\$\tinitit{\$\text{\$\exititt{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\}\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\tex	<mark>平成30年度</mark> 55 40	平成31年度 5 55 6 -	55
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	うな状態に 会議	A B A B A B A B A B A B A B A B A B A	平成2 決算 1, 1, 1, 1, 数 出動件 た下りの:	88年度 (千円) 4,637 012,500 017,137 0 0 0 017,137 125.00 125.00 0.00 0.00 0.00	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 0 037, 897 126, 00 126, 00 0, 00	決算額(干) 4, 1,061, 1,065, 129 0 0 位 件	Pi	予算額 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1	4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00 0, 00 \$\frac{\text{\$\tinitit{\$\text{\$\exititt{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\}\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\tex	<mark>平成30年度</mark> 55 40	平成31年度 5 55 6 -	55
でのよう (どの3) 事業財職員内4 活動指標	うな状態に 会議	A B A B A B A B A B A B A B A B A B A	平成2 決算 1, 1, 1, 1, 数 出動件 た下りの:	88年度 (千円) 4,637 012,500 017,137 0 0 0 017,137 125.00 125.00 0.00 0.00 0.00	平成2 決算額 1, 1,	9年度 (千円) 4, 697 033, 200 037, 897 0 0 0 0 037, 897 126, 00 126, 00 0, 00	決算額(干) 4, 1,061, 1,065, 129 0 0 位 件	Pi	予算額 1, 2, 1, 1, 1, 1, 2, 2, 3, 4, 4, 4, 5, 6, 7, 8, 1, </th <th>4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th>4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00 0, 00 \$\frac{\text{\$\tinitit{\$\text{\$\exititt{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\}\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\tex</th> <th><mark>平成30年度</mark> 55 40</th> <th>平成31年度 5 55 6 -</th> <th>55 </th>	4, 139 025, 000 029, 139 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	4, 139 1, 043, 200 1, 047, 339 0 0 0 1, 047, 339 127, 50 127, 50 0, 00 0, 00 \$\frac{\text{\$\tinitit{\$\text{\$\exititt{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\}\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\tex	<mark>平成30年度</mark> 55 40	平成31年度 5 55 6 -	55

事業を明 社会環境			災をはじめ地震、洪水、土砂災害などの大規模な自然災害が発生していることから、多種多 る最新の資機材の導入が必要になってきた。
			動する上で必要な資機材を順次更新するとともに、多種多様な災害に対応できる最新の資機 っていく。また、消火隊を強化し、火災による人命救助と被害軽減を図る。
項目別評価		評価	評 価 理 由
	■ A.	妥当である	消防組織法により、消防責任は市町村が負うこととされている。
妥 当 性 (実施主体又は	□ B.	ほぼ妥当である	
手段は妥当か)	□ C.	あまり妥当ではない	
	□ D.	妥当ではない	
有効性	■ A.	上がっている	最新資機材の整備と活動部隊である消火隊を強化する。
(事業分析の 「成果」欄に	□ B.	やや上がっている	
記載の成果は上がっている	□ C.	あまり上がっていない	
か)	□ D.	上がっていない	
÷1 ÷ 44	■ A.	高い	資機材の整備と、活動隊である消火隊を強化することにより、人命救助と火災による被害
効 率 性 (事業手法は効	□ B.	やや高い	の軽減につながり効率は高い。
率的である か。)	□ C.	やや低い	
73.0	□ D.	低い	
総合評価	1 .	計画どおり事業を進める	ことが適当 □ 2. 事業の進め方に改善が必要
心口口口Ш	□ 3.	事業規模や見直しが必要	□ 4.事業の抜本的見直しや廃止が必要
	■ A.	貢献している	火災をはじめ、各種災害に迅速かつ的確に対応することは、市民の生命、身体、財産を各 種災害から保護でき、施策への貢献度は高い。
施策への	□ B.	やや貢献している	性火音がり体護でき、心束への貝削反は向い。
貢 献 度	□ C.	あまり貢献していない	
	□ D.	貢献していない	

< 6. 今後	をの方向性> ACTION
	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 () □ 5. 休止 □ 6. 廃止
7) III) II	多種多様な災害に対応することから、活動現場は危険が多く、隊員の安全と負担が軽減される最新資機材の導入や更新
	を図っていく。また、活動部隊の消火隊を強化することにより火災による人命の救助及び被害を最小限に抑えて軽減を
	図っていく。
	多種多様な災害に対応する必要があることから、最新資機材は計画的に導入や更新を図っていくとともに、活動部隊は
部局長	、迅速、確実な活動が行えるよう、教育や日々訓練を継続し火災による人命の救助及び被害の軽減を図ること。
コメント	

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	97.39 %	199. 28 %	195. 77 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	+49. 93 %	-1.78 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	26, 766 千円	24, 137 _{千円}	23, 172 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	20, 257 _{千円}	41, 284 _{千円}	41,654 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	-103. 79 %	-0.89 %

整理	番号	4	30													
部	局 名	消防局			所属	属 名 警防	方課		所属	禹 長 弓:	坂 則行					
事務	事業名	02634	大規模災害	『活動対応	事業				記り	入 者 伊河	藤 智文					
< 1.	基本事	項>	•						•							
	区分	コード			名		称				防組織法					
	方針	03	安心、快通	値に住み続	もけることので	できる活力の	あるまちを創	割ります			防法					
総合計		01	安心、安全	€に暮らす	ことのできる	るまちにしま	す		—— 法行	令等						
画の位 置付け		03	消防・救急				•									
直付け	視点	01	消防力の充				関連									
	重事	05	消防活動体		2敕借				個別	計画						
		_ ド	/FIMI/LISTIN	中間の全血		事 業 名	称			ード	所属名	2 称				
関連	-	- 11			Ŧ 15	尹 木 口	ሳ ላያኑ			<u>'</u>	77	1 171				
事業																
		÷L.	+1.	古 **	1壬 미		マ ケ 7	市 光 夕			- 4b + 4b	U a				
予		하	枠		種別			事業名		5	始期 · 終					
算 事	一般	会計	特定評	価対象事	未	大規模災害	活動対応事業	養								
業																
	ነር ታ ውሳ	《宇は垢	<i>ᆘ</i>		《《中 上水》		またじの 白魚	14年14年14	/b == 7	/= N.D.O	(((中学による					
											災害等にも対 減と、安全確					
事業の	(足太図)										:減こ、ダエ脳:新資機材に更					
概要	新するも		– 10													
運営		■ 直営	当 口指	定管理者	□ 民間委詞	毛 口出資	資団体委託	□ 補助金	交付 □ その)他 ()				
<2.	事業分	折> I	PLAN													
	目 的)	複雑かつ多	5様化する	各種災害に。	よる被害を軽	減し、市民の	の生命、身体	、財産を保護	隻するため						
(1	可のため	(こ)														
	対 象	₹	災害活動時	作に使用す	る活動資機材	オや保安資機	材などを									
(1	可又は誰	を)														
	手 段	L Ž	消防、救助	加用資機材	オの中で優先∥	頂位をつけて	年次計画的	こ整備し								
(どの	ようなやり	力方で)														
	成 集	Į	活動隊の負	担軽減と	ニ次災害の『	方止を図るこ	とにより、5	安全、的確、	迅速な災害流	舌動を実践し	ノ、市民の安心	〉、安				
(どのよ	うな状態にす	するのか)	全な暮らし	を確保す	-る。											
	<mark>(どのような状態にするのか)</mark> ^{主 な} 春らしを帷除する。															
	経費>															
\	経費>		平成.28年			平成30年	度 平成3	31年度 2	令和 2年度							
	経費>		平成28年	F度 ^工	平成29年度	平成30年			令和 2年度		備考					
		DO	決算額(न	F度 - 円) 決	平成29年度	決算額(千	円) 予算額	〔千円〕 見	込額(千円)		備考					
	直接経費	DO A	<mark>決算額(3</mark>	F度 -円) 決 2, 236	平成29年度 ·算額(千円) 8,687	<mark>決算額(千</mark>	円) 予算額 738	5(千円) 見 11,765	込額(千円) 11, 765		備考					
III	直接経費	D O A B	決算額(1 12	F度 -円) 決 2, 236 7, 575	平成29年度 算額(千円) 8,687 129,150	<mark>決算額(千</mark> 9, 129,	円) 予算額 738 150	5(千円) 見 11,765 129,150	<u> </u>		備考					
III	直接経費 件費 費合計 /	A B A+B	決算額(1 12	F度 注 注 注 注 注 注 注 注	平成29年度 算額(千円) 8,687 129,150 137,837	<mark>決算額(千</mark> 9, 129,	円) 予算額 738 150 888	11, 765 129, 150 140, 915	比額(千円) 11,765 129,150 140,915		備考					
事業	直接経費 件費 費合計 月	A B A+B	決算額(1 12	F度 -円) 決 2, 236 7, 575 9, 811	平成29年度 算額(千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0	<mark>決算額(千</mark> 9, 129,	円) 予算額 738 150 888 0	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099	. <mark>込額(千円)</mark> 11, 765 129, 150 140, 915 0		備考					
事業の財源	直接経費 件 費 費合計 4	A B A + B B	決算額(1 12	F度 -円) 決 2, 236 7, 575 9, 811 0	平成29年度 算額(千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0	<mark>決算額(千</mark> 9, 129,	円) 予算額 738 150 888 0 64	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0	L込額(千円) 11, 765 129, 150 140, 915 0		備考					
事業	直接経費 件 費 費合計 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	DO A B A+B 国	決算額(1 12	F度 -円) 2, 236 7, 575 9, 811 0 0	平成29年度 算額(千円) 8,687 129,150 137,837 0 0	<mark>決算額(千</mark> 9, 129,	円) 予算額 738 150 888 0 64 0	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0	L <mark>込額(千円)</mark> 11, 765 129, 150 140, 915 0 0		備考					
事業の財源	直接経費 件 費 費合計 月 見 見 ここころ	A B A + B 国 員	決算額(1 12 13 13	F度 -円) 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0	平成29年度 算額(千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0	決算額(干I 9, 129, 138,	円) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 66	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0	L込額(千円) 11, 765 129, 150 140, 915 0 0 0		備考					
事業財派の内内	直接経費	A B A + B 国	決算額(日 12 12 13 13 13	F度 -円) 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 0 9, 811	平成29年度 第 (千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 0	決算額(千I 9, 129, 138,	円) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 758	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816	11, 765 129, 150 140, 915 0 0 0 0 140, 915		備考					
事業の財源	直接経費	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	決算額(日 12 13: 13: 13:	デ度 デ円) 決 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811	平成29年度 第 (千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 0 137, 837	決算額(千I 9, 129, 138, 138,	円) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 758 5. 75	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816	L込額(千円) 11, 765 129, 150 140, 915 0 0 0 140, 915 15. 75		備考					
事業財派記職	直接経費費合計がませる。	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	決算額(日 12 13: 13: 13:	F度 -円) 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15, 75	平成29年度 第額(千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15, 75	決算額(千月 9, 129, 138, 138,	円) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 758 5. 75 5. 75	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15, 75	L込額(千円) 11, 765 129, 150 140, 915 0 0 0 140, 915 15, 75 15, 75		備考					
事業財派の内内	直接経費費件書がませる。一般を表現している。	A B A + B D M M M M M M M M M M M M M M M M M M	決算額(日 12 13: 13: 13:	F度 -円) 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15, 75 15, 75 0, 00	平成29年度 第 (千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15, 75 15, 75 0, 00	決算額(千月 9, 129, 138, 138, 15 15	円) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 758 5. 75 0. 00	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15, 75 0, 00	L込額(千円) 11, 765 129, 150 140, 915 0 0 0 140, 915 15. 75 15. 75 0. 00		備考					
事業財職員内職のの	直接経費 費 件 費 を で で で で の で の で の の の の の の の の の の の	A B A + B D I I I I I I I I I I I I I I I I I I	決算額(日 12 13: 13: 13:	F度 -円) 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15, 75	平成29年度 第額(千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15, 75	決算額(千月 9, 129, 138, 138, 15 15	円) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 758 5. 75 5. 75	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15, 75	L込額(千円) 11, 765 129, 150 140, 915 0 0 0 140, 915 15, 75 15, 75		備考					
事業財職の内職の人名・	直接経費費件書がませる。一般を表現している。	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	決算額(日 12 13: 13: 13:	F度 決 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	平成29年度 第, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	決算額(干I 9, 129, 138, 138, 15 0	円) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 758 5. 75 5. 75 0. 00	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00	11, 765 129, 150 140, 915 0 0 0 0 140, 915 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00							
事業財職の内職の人名・	直接経費サードを対しては、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	A B A H B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	決算額(1 12 13 13 13 13	F度 -円) 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15, 75 15, 75 0, 00	平成29年度 第 (千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15, 75 15, 75 0, 00	決算額(干I 9, 129, 138, 138, 15 (C	円) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 758 5. 75 5. 75 0. 00 0	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00	11, 765 129, 150 140, 915 0 0 0 140, 915 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00	平成30年度	平成31年度	令和 2年度				
事業財職の内職の人名・	直接経費サードを対しては、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	決算額(1 12 13 13 13 13	F度 決 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	平成29年度 第, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	決算額(干I 9, 129, 138, 138, 15 0	円) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 758 5. 75 5. 75 0. 00 0. 00 1 目標・実績 目標	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00	11, 765 129, 150 140, 915 0 0 0 140, 915 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 PRI 29年度	平成30年度	T 平成31年度 0	令和 2年度 0				
事業財職の内職の人名・	直接経費 費 費 単 起 その 一 数 正 嘱 臨 >	DO ABBA ABBA ABBA ABBA BBA BBA BBA BBA BB	決算額(-1 - 12 - 13 - 13 - 13 	F度 -円) 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	平成29年度 第 (千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	決算額(千月 9, 129, 138, 138, 15 (C	円) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 758 5. 75 5. 75 0. 00 0. 00 1 目標・実績 目標 実績	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 0. 00	11, 765 129, 150 140, 915 0 0 0 140, 915 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 v v v v v v v v v v v v v v v v v v	平成30年度	平成31年度 0 0	令和 2年度 0 -				
事業財職の内職の人名・	直接経費 費 費 単 起 その 一 数 正 嘱 臨 >	DO ABBA ABBA ABBA ABBA BBA BBA BBA BBA BB	決算額(-1 - 12 - 13 - 13 - 13 	F度 -円) 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	平成29年度 第 (千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	決算額(千月 9, 129, 138, 138, 15 (C	円) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 758 5. 75 5. 75 0. 00 0. 00 1 目標・実績 目標 実績	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 0. 00	11, 765 129, 150 140, 915 0 0 0 140, 915 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 PRI 29年度	平成30年度	平成31年度 0 0	令和 2年度 0				
事業財職の内職の人名・	直接経費 費 費 単 起 その 一 数 正 嘱 臨 >	DO ABBA ABBA ABBA ABBA BBA BBA BBA BBA BB	決算額(-1 - 12 - 13 - 13 - 13 	F度 -円) 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	平成29年度 第 (千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	決算額(千月 9, 129, 138, 138, 15 (C	円) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 758 5. 75 5. 75 0. 00 0. 00 1 目標・実績 目標 実績	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 0. 00	11, 765 129, 150 140, 915 0 0 0 140, 915 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 v v v v v v v v v v v v v v v v v v	平成30年度	平成31年度 0 0	令和 2年度 0 -				
事業財職の内職の人名・	直接経費 費 費 単 起 その 一 数 正 嘱 臨 >	DO ABBA ABBA ABBA ABBA BBA BBA BBA BBA BB	決算額(-1 - 12 - 13: - 13: 	F度 -円) 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	平成29年度 第 (千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	決算額(千月 9, 129, 138, 138, 15 (C	円) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 758 5. 75 5. 75 5. 75 0. 00 0. 00 0 目標・実績 度で整備を図	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 0. 00	11, 765 129, 150 140, 915 0 0 0 140, 915 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 v v v v v v v v v v v v v v v v v v	平成30年度	平成31年度 0 0	令和 2年度 0 -				
事業財職の内職の人名・	直接経費 費 費 単 起 その 一 数 正 嘱 臨 >	DO ABBA ABBA ABBA ABBA BBA BBA BBA BBA BB	決算額(-1 - 12 - 13: - 13: 	F度 -円) 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	平成29年度 第 (千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	決算額(千月 9, 129, 138, 138, 15 (C	P) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 758 5. 75 5. 75 0. 00 0 1 目標・実績 度で整備を図 度で整備を図 目標	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 0. 00	11, 765 129, 150 140, 915 0 0 0 140, 915 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 v v v v v v v v v v v v v v v v v v	平成30年度	平成31年度 0 0	令和 2年度 0 -				
事業財職の内職の人名・	直接経費 費 費 一般 一数正嘱臨> 空気ボン	DO ABBA ABBA ABBA ABBA BBA BBA BBA BBA BB	決算額(円 1) 12 139 139 標 新	F度 -円) 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	平成29年度 第 (千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	決算額(干I 9, 129, 138, 138, 15 (C C	P) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 758 5. 75 5. 75 5. 75 0. 00 0. 00 0 目標 実績 度で整備を図目標	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 0. 00	込額(千円)	<mark>平成30年度</mark> ((-ス金支払い	平成31年度 0 0	令和 2年度 0 - 0				
事業財職の内職の人名・	直接経費 費 費 一般 一数正嘱臨> 空気ボン	DO ABA+B Di財(人規託時D指の 1	決算額(円 1) 12 139 139 標 新	F度 -円) 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	平成29年度 第 (千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	決算額(千月 9, 129, 138, 138, 15 (C	円) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 758 5. 75 5. 75 0. 00 0. 00 1 目標・実績 度で整備を図り 度で整備を図り 目標 実績 1 目標	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 0 0 138, 816	込額(千円)	<u>平成30年度</u> ((-ス金支払い	「 <mark>平成31年度</mark>) 0) - を実施する。	令和 2年度 0 - 0 -				
事業財職の内職の人名・	接機費費 費 起その 具 上 の 上 の 空 ご <th>DO AB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB</th> <th>決算額(円 12 13 13 13 本標新 2本を3年</th> <th>F度 (円) 決 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15. 75 0. 00 0. 00 A</th> <th>平成29年度 第 (千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00</th> <th>決算額(干I 9, 129, 138, 138, 15 () () ()</th> <th>738 150 888 0 64 0 66 758 5.75 0.00 1 目標・実績 日標 実績 を図ります。</th> <th>11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th> 込額(千円)</th> <th><u>平成30年度</u> ((-ス金支払い</th> <th>で 平成31年度 0 0 0 を実施する。</th> <th>令和 2年度 0 - 0 -</th>	DO AB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB	決算額(円 12 13 13 13 本標新 2本を3年	F度 (円) 決 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15. 75 0. 00 0. 00 A	平成29年度 第 (千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15, 75 15, 75 0, 00 0, 00	決算額(干I 9, 129, 138, 138, 15 () () ()	738 150 888 0 64 0 66 758 5.75 0.00 1 目標・実績 日標 実績 を図ります。	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	込額(千円)	<u>平成30年度</u> ((-ス金支払い	で 平成31年度 0 0 0 を実施する。	令和 2年度 0 - 0 -				
事業財職の内職の人名・	接機費費 費 起その 具 上 の 上 の 空 ご <th>DO AB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB</th> <th>決算額(円 12 13 13 13 本標新 2本を3年</th> <th>F度 (円) 決 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15. 75 0. 00 0. 00 A</th> <th>平成29年度 第 (千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00</th> <th>決算額(干I 9, 129, 138, 138, 15 () () ()</th> <th>円) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 758 5. 75 5. 75 5. 75 5. 0. 00 0. 00 0 目標・実績 厚 度で整備を図り 目標 実績 目標 目標 実績</th> <th>11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th> 込額(千円)</th> <th><u>平成30年度</u> ((-ス金支払い</th> <th>で 平成31年度 0 0 0 を実施する。</th> <th>令和 2年度 0 - 0 -</th>	DO AB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB	決算額(円 12 13 13 13 本標新 2本を3年	F度 (円) 決 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15. 75 0. 00 0. 00 A	平成29年度 第 (千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00	決算額(干I 9, 129, 138, 138, 15 () () ()	円) 予算額 738 150 888 0 64 0 66 758 5. 75 5. 75 5. 75 5. 0. 00 0. 00 0 目標・実績 厚 度で整備を図り 目標 実績 目標 目標 実績	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	込額(千円)	<u>平成30年度</u> ((-ス金支払い	で 平成31年度 0 0 0 を実施する。	令和 2年度 0 - 0 -				
事業財 職の 事業財 職の 4 活動指標	接機費費 費 起その 具 上 の 上 の 空 ご <th>DO AB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB</th> <th>決算額(円 12 13 13 13 本標新 2本を3年</th> <th>F度 (円) 決 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15. 75 0. 00 0. 00 A</th> <th>平成29年度 第 (千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00</th> <th>決算額(干I 9, 129, 138, 138, 15 () () ()</th> <th>738 150 888 0 64 0 66 758 5.75 0.00 1 目標・実績 日標 実績 を図ります。</th> <th>11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th> 込額(千円)</th> <th><u>平成30年度</u> ((-ス金支払い</th> <th>で 平成31年度 0 0 0 を実施する。</th> <th>令和 2年度 0 -</th>	DO AB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB BB	決算額(円 12 13 13 13 本標新 2本を3年	F度 (円) 決 2, 236 7, 575 9, 811 0 0 0 0 9, 811 15. 75 0. 00 0. 00 A	平成29年度 第 (千円) 8, 687 129, 150 137, 837 0 0 0 137, 837 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00	決算額(干I 9, 129, 138, 138, 15 () () ()	738 150 888 0 64 0 66 758 5.75 0.00 1 目標・実績 日標 実績 を図ります。	11, 765 129, 150 140, 915 2, 099 0 0 0 138, 816 15. 75 15. 75 0. 00 0. 00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	込額(千円)	<u>平成30年度</u> ((-ス金支払い	で 平成31年度 0 0 0 を実施する。	令和 2年度 0 -				

事業を明 社会環境			他、地震、豪雨、テロを含むNBC災害など複雑化、多様化、大規模化しており、市民に対 心を提供するためには、相応の車両・資機材の整備が必要である。
これまで や改善等			対する負担軽減を図るため、可搬型コンプレッサーと軽量空気ボンベの導入を図りそれぞれ も火災の他、災害危険区域で隊員を守る活動資機材は更新していく。
項目別評価		評価	評 価 理 由
	■ A.	妥当である	消防組織法により、市町は消防責任を負うこととなっている。
妥当性	□ B.	ほぼ妥当である	
(実施主体又は手段は妥当か)	□ C.	あまり妥当ではない	
	□ D.	妥当ではない	
有効性	■ A.	上がっている	市民の安心・安全な暮らしの確保、活動隊員の安全確保のために有効である。
(事業分析の 「成果」欄に	□ В.	やや上がっている	
記載の成果は	□ C.	あまり上がっていない	
上がっている か)	□ D.	上がっていない	
	■ A.	高い	最新の各種活動資機材は、隊員の負担軽減と安全確保を図れる他、迅速、的確な消防活動
効率性 (事業手法は効	□ B.	やや高い	により効率性は向上する。
率的である	□ C.	やや低い	
か。)	□ D.	低い	
₩ Δ=π/π	1 .	計画どおり事業を進める	
総合評価	□ 3.	事業規模や見直しが必要	□ 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要
	■ A.	貢献している	頻発する自然災害をはじめとした大規模災害への備えは、市民の安心・安全な暮らしを守
施策への	□ B.	やや貢献している	るという施策に貢献するものである。
貢献度	□ C.	あまり貢献していない	
	□ D.	貢献していない	

	L D. AWO CO. S.
<6. 今往	多の方向性> ACTION
方向性	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他) □ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 5. 休止 □ 6. 廃止 ○ 8地で発生が危惧される地震や頻発する風水害をはじめ、ラグビーW杯、東京オリンピック・パラリンピックなどの世界的イベントを間近に控え、、自然災害等の大規模災害やテロを含むNBC災害等に的確に対処するため、早期に資機材の新規・更新整備行うとともに、隊員の育成を図っていく必要がある。
部局長コメント	頻発する自然災害や世界的イベントが開催されることから、大規模災害に対応できるよう、資機材の整備の更新を計画 的に図るとともに訓練や教育を実施して隊員の育成を図ること。

区分	'	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	100.00 %	96.00 %	0.00 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	-4. 00 %	-100.00 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	1,997 _{千円}	2,376 _{千円}	0 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	1,398 _{千円}	1,435 千円	0 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	+2.69 %	±0.00 %

整:	理番号	4	31																						
部	局 名	消防局		•		所属	属名 警	防課				所属	属 長	弓坂	則行										
事務	事業名	02096	国際消	防救助隊	員育成事	業						記り	人者	伊藤	智文										
<1.	基本事	項>																							
	区分	コード				名		称						国際	緊急援	助隊(の派遣し	U							
	方針	03	安心、惊	央適に住る	み続ける	ことので	できる活力の	のある	まちを創	削ります		根		関す	る法律										
総合計	政策	01	安心、5	安全に暮	らすこと	のできる	るまちにしま	ŧ d				法令	う寺												
画の位置は	<u> </u>	03												大津	市消防	局国際	祭消防排	枚							
置付け	視点	01	消防・救急体制の充実 消防力の充実									関連			年間教										
	重事		その他	7767								個別	計画												
		コード	(O) IE			事 務	事業名	2 新					- ド		댦	属名	私								
関連	_	<u> </u>				于 7万	尹 木 1	<u>기</u> 17가					1.		171	冯 1	վոյի								
事業																									
		=L	枠	古	業種	Dil		7	<u> </u>	事 業 名				+12	U O	<i>4b</i> ±	ю								
予		加入司				ויל					1			炉	期 •	不 令	y								
算 事		般会計	管理	評価対象	(事表		国際消防救	以助隊自	員育成事	業費															
業																									
-11-	V= 61 -	- 	= 15 ∞ µ	-1 4 49 4	V- =	18/4 - 11/18/4 - 11/18/18/18	. DL 17¥ ∧ 5% £3		 	~ #L DL DY		11-15	マニー フェ	. 14	日本さ	147									
							.助隊の登録 .な教育訓練																		
事業0) ロガー 達	守した知	識及び救	対助技術を	で習得す	動に必安 るととも	に、国際緊	Rで 天が 系急援B	心するよ 助活動に	対応した	禍に足めた 資機材を割	うれし、 MMよす	る事業。	53]及功.	/口到()	,,,,									
概要	7					0	. — 173.71					110 /													
	方 法			指定管理	■者 □	民間委託	毛 口出注	資団体	委託	口 補助	金交付	その)他 ()							
<2.	事業分	↑析> □	PLAN	1																					
	目	的					て、海外で				派遣され	る国際	祭消防救.	助隊登	養録隊」	負に対	t,								
(何のため	うに)	国際的(こ定められ	れた標準	的手法や	5知識・技術	析省得	のために	Ξ.															
	対	象	全国7	7 消防本語	邹599	人のうち	5、大津市洋	肖防局	が登録し	している国	際消防救	助隊員	6人を	対象に	=										
(何又は計	(性を)																							
	手	段	年間教育	育訓練計區	画を年度	当初に記	とめ、当該計	計画を	実行して	ていく。ま	た、総務	省消队	方庁等が:	主催す	トる各種	重教育	訓練								
0 ځ)	ようなや	り方で)	へ登録	隊員を派遣	遣する																				
	へ登録隊員を派遣する																								
	成	果	国際標準	隼の救助技	技術を習	得する事	事により、沂	派遣時	に他機関	員(海上 係	安庁、警	察機関	引) とス.	ムース	でな連	隽が実	まる。また、羽伊した知識。世後も笑も十海古沙吐艮。第二十3日 しがっきる								
(どのよ													目)とス.	ムース	ぐな連	隽が実	淫施で								
	うな状態	こするのか)											目) とス.	ムース	ベな連	隽が実	E施で								
		こするのか)	きる。	また、習行	得した知	識・技術	ドを等を大 済	聿市消	防局へ遺	還元するこ	とができ	გ	りとス				悪施で								
	うな状態	こするのか)	きる。 平成2	また、習行 28年度	得した知 平成2	1識・技術 9年度	ドを等を大津 平成30年	≢市消	防局へ選 平成3	還元するこ 1年度	とができ 令和 2年	る <u>度</u>	りとス		ばな連打	ります。 サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・	性で								
<3.	<u>うな状態</u> [経費>	<u>-するのか)</u> DO	きる。 平成2	また、習行 28年度 (千円)	得した知	1識・技術 9年度 (千円)	ドを等を大 済	聿市消 <u>■度</u> - 円)	防局へ選 平成3	記元するこ 1年度 (千円)	とができ	る 度 ·円)	目)とス.				経施で 一								
<3.	を表する を表する 直接経費	でするのか) - DO	きる。 平成2	また、習行 28年度 (千円) 743	得した知 平成2	9年度 (千円) 736	所を等を大演 平成30年 決算額(千	車市消 =度 -円) 653	防局へ選 平成3	記元するこ 1年度 (千円) 649	とができ 令和 2年 見込額(千	る 度 ·円) 649					手施で								
<3.	直接経費	<u>でするのか)</u> DO	きる。 平成2	また、習行 28年度 (千円) 743 57, 105	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57	車市消 度 -円) 653 7,810	防局へ選 平成3 予算額	記元するこ 1年度 (千円) 649 57,810	とができ <mark>令和 2年</mark> 見込額(千	る 度 ·円) 649 , 810					に で								
<3.	を表する を表する 直接経費	DO A B A+B	きる。 平成2	また、習行 28年度 1(千円) 743 57, 105 57, 848	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57	幸市消 E度 CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP CP	防局へ選 平成3 予算額	記元するこ 1年度 (千円) 649 57,810 58,459	とができ <mark>令和 2年</mark> 見込額(千	を (円) 649 , 810 , 459					関節で								
<3.	直接経費人件費	DO A B A + B 国	きる。 平成2	また、習行 28年度 (千円) 743 57, 105 57, 848 0	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57	車市消 E度 G53 7,810 3,463 0	防局へ選 平成3 予算額	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0	とができ <mark>令和 2年</mark> 見込額(千	を (円) 649 , 810 , 459					関節で								
<3.	直接経費人件費	DO A B A+B 国 県	きる。 平成2	また、習行 28年度 ((千円) 743 57, 105 57, 848 0 0	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57	幸市消 E度 CP 653 7 , 810 3 , 463 0	防局へ選 平成3 予算額	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0	とができ <mark>令和 2年</mark> 見込額(千	る (度) (円) (649 (, 810 () 459 () 0					実施で								
<3.	直接経費 直接経費	DO A B A+B 国 県	きる。 平成2	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57	** ** ** ** ** ** ** ** ** **	防局へ選 平成3 予算額	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0	とができ <mark>令和 2年</mark> 見込額(千	る (円) (649 (810 (459 0 0					に								
<3.	直接経費之	DO DO B B A + B 国 県	きる。 平成2	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58	*市消 (FP) (653 (7,810 (3,463 (0) (0) (0) (0)	防局へ選 平成3 予算額	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0	できた。 令和 2年 見込額(千 57 58	を (円) 649 , 810 , 459 0 0					実施で								
事業事の財源の内	直接経費	B A+B 国 県 機財源	きる。 平成2	また、習行 28年度 1(千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 0 57, 848	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 0 58,546	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58	章 度	防局へ選 平成3 予算額	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 0 58,459	令和 2年 見込額(千 57 58	を 円) 649 , 810 , 459 0 0 0 0					実施で								
事業事業別の内間	を表する状態 を表する はままれる という はままま はままま はままま はままま はままま はまままま はままままままま	A + B 国 県 (人)	きる。 平成2	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 57, 848 7, 05	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 0 58,546	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58	** ** ** ** ** ** ** ** ** **	防局へ選 平成3 予算額	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 0 58,459 7,05	令和 2年 見込額(千 57 58 58	を (円) (649) (810) (459) (0) (0) (0) (1459) (7.05)					実施で								
事業事業別の内間	を表する状態 を表する はままれる という はままま はままま はままま はままま はままま はまままま はままままままま	□ A + B 国 県	きる。 平成2	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 0 57, 848 7, 05 7, 05	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 58,546 7.05 7.05	所を等を大清 平成30年 決算額(千 57 58	** ** ** ** ** ** ** ** ** **	防局へ選 平成3 予算額	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 58,459 7.05 7.05	令和 2年 見込額(千 57 58 58	を 円) 649 , 810 , 459 0 0 0 0					実施で								
事業事業別の内間	を	□ A + B 国 県 (人) E 規	きる。 平成2	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 0 57, 848 7. 05 7. 05 0. 00	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 58,546 7.05 7.05 0.00	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58	*市消 (53 (7, 810 (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8)	防局へ選 平成3 予算額	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 0 58,459 7.05 7.05 0.00	令和 2年 見込額(千 57 58	を (円) (649 (7, 810 (7, 459 (7, 05 (7, 05 (7, 05 (7, 05 (7, 05 (7, 05) (7, 05					実施で								
本学 本部 本部 本部 本部 本部 本部 本部	直人費 直人費 直人費 「製工「帰路」	DO DO B B A + B 国 県 (人) E 規 託 時	きる。 平成2	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 0 57, 848 7, 05 7, 05	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 58,546 7.05 7.05	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58	** ** ** ** ** ** ** ** ** **	防局へ選 平成3 予算額	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 58,459 7.05 7.05	令和 2年 見込額(千 57 58	を (円) (649 (7, 459 (7, 459 (7, 05 (7, 05 (7, 05					実施で								
(3) 事業 事業 事業 職の内 (4)	直人費 直人費 直人費 「製工「帰路」	DO DO B B A + B 国 県 (人) E 規 託 時	きる。 平成2	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 0 57, 848 7. 05 7. 05 0. 00	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 58,546 7.05 7.05 0.00	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58	** ** ** ** ** ** ** ** ** **	防局へ返 平成3 予算額	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 58,459 7.05 7.05 7.05 0.00	令和 2年 見込額(千 57 58 58	を (円) (649 (810 (459 (0) (0) (0) (7, 459 (7, 05 (7, 05 (in the second se	考									
(3) 事業 事業 事業 職の内 (4)	直人費	DO A B A+B 国 県 (人) 対 説 説 お の は の は の は の は に は に は に は に は に は に は	きる。 平成2	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 0 57, 848 7. 05 7. 05 0. 00	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 58,546 7.05 7.05 0.00	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58	** ** ** ** ** ** ** ** ** **	防局へ選 平成3 予算額	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 58,459 7.05 7.05 7.05 0.00	令和 2年 見込額(千 57 58 58	を (円) (649 (,810) (,459) (0) (0) (0) (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9			in the second se	考 年度	令和 2								
(3) 事業 事業 事業 職の内 (4)	直人費 直人費 直人費 「製工「帰路」	DO A B A+B 国 県 (人) 対 説 説 お の は の は の は の は に は に は に は に は に は に は	学成2決算額	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 57, 848 7, 05 7, 05 0, 00 0, 00	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 58,546 7.05 7.05 0.00	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58 58	*市消 (53 (7,810 (8,53) (7,810 (9,63) (1,810 (9,63) (1,93)	防局へ返 平成3 予算額	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 58,459 7.05 7.05 7.05 0.00	令和 2年 見込額(千 57 58 58 58	を (円) (649 (810 (459 (0) (0) (0) (7, 459 (7, 05 (7, 05 (「 「 「 「 「 「 」 「 」	in the second se	考		2年度 12							
(3) 事業 事業 事業 職の内 (4)	<u> </u>	DO A B A+B 国 県 (人) 対 説 説 お の は の は の は の は に は に は に は に は に は に は	学成2決算額	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 57, 848 7, 05 7, 05 0, 00 0, 00	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 58,546 7.05 7.05 0.00	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58	*** 市消	下局へ返す 平成3 予算額 ・・実績	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 58,459 7.05 7.05 7.05 0.00	令和 2年 見込額(千 57 58 58	を (円) (649 (,810) (,459) (0) (0) (0) (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9			in the second se	考 年度									
(3) 事業 事業 事業 職の内 (4)	<u> </u>	DO A B A+B 国 県 (人) 対 説 説 お の は の は の は の は に は に は に は に は に は に は	きる。言 平成2 決算額	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 57, 848 7, 05 7, 05 0, 00 0, 00	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 58,546 7.05 7.05 0.00	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58 58	*** 市消	下局へ返す。 ・ 下	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 58,459 7.05 7.05 7.05 0.00	令和 2年 見込額(千 57 58 58 58	を (現実) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現		「 「 「 「 「 「 」 「 」	in the second se	考 年度									
(3) 事業 事業 事業 職の内 (4)	<u> </u>	□ A	きる。言 平成2 決算額	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 57, 848 7, 05 7, 05 0, 00 0, 00	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 58,546 7.05 7.05 0.00	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58 58	単市消 「一円) 「653 「7,810 3,463 「0 0 0 0 0 3,463 「7,05 7,05 7,05 0,00 0,00 1 目標	下局へ返す。 ・ 下	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 58,459 7.05 7.05 7.05 0.00	令和 2年 見込額(千 57 58 58 58	を (現実) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現		「 「 「 「 「 「 」 「 」	in the second se	考 年度									
(3) 事業 事業 事業 職の内 (4)	直人費 直人費 直人費 五 一 3 上 4 上 4 上 4 上 4 上 4 上 4 上 4 上 4 上 5 上 4 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 日 5 <	□ A	きる。言 平成2 決算額	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 57, 848 7, 05 7, 05 0, 00 0, 00	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 58,546 7.05 7.05 0.00	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58 58	非市消 (53) (7,810) (3,463) (0) (0) (0) (0) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	防局へ 成3 名	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 58,459 7.05 7.05 7.05 0.00	令和 2年 見込額(千 57 58 58 58	を (現実) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現		「 「 「 「 「 「 」 「 」	in the second se	考 年度									
(3) 事業 事業 事業 職の内 (4)	直人費 直人費 直人費 五 一 3 上 4 上 4 上 4 上 4 上 4 上 4 上 4 上 4 上 5 上 4 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 日 5 <	□ A	きる。言 平成2 決算額	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 57, 848 7, 05 7, 05 0, 00 0, 00	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 58,546 7.05 7.05 0.00	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58 58	非市消 (53) (7,810) (3,463) (0) (0) (0) (0) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	防 予 と は まま は まま は 標	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 58,459 7.05 7.05 7.05 0.00	令和 2年 見込額(千 57 58 58 58	を (現実) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現		「 「 「 「 「 「 」 「 」	in the second se	考 年度									
(3) 事業 事業 事業 職の内 (4)	直人費 直人費 直人費 五 一 3 上 4 上 4 上 4 上 4 上 4 上 4 上 4 上 4 上 5 上 4 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 上 5 日 5 <	□ DO □ A □ B □ A + B □	きる。言 平成2 決算額	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 57, 848 7, 05 7, 05 0, 00 0, 00	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 58,546 7.05 7.05 0.00	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58 58 0 位	非市消 (表現) (表現) (表知) (表現) (表知	防 下 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 58,459 7.05 7.05 7.05 0.00	令和 2年 見込額(千 57 58 58 58	を (現実) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現) (表現		「 「 「 「 「 「 」 「 」	in the second se	考 年度									
(3) 事業 事業 事業 職の内 (4)	直人費 基本 直人費 基本 上方な程 接件合 上方な程 基本 上方な程 接件合 上方な異 指標 高 計算 本 本	□ DO □ A □ B □ A + B □	きる。言 平成2 決算額	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 57, 848 7, 05 7, 05 0, 00 0, 00	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 58,546 7.05 7.05 0.00	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58 58	非市消 (53 (7,810) (653) (7,810) (0) (0) (0) (0) (0) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	防	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 58,459 7.05 7.05 7.05 0.00	令和 2年 見込額(千 57 58 58 58 9 10 9	を 使用) 649 , 810 0 0 0 0 0 0 , 459 7. 05 7. 05 0. 00 0. 00 0. 00 0. 00 0. 00		年度 10 11	in the second se	年度 12 -		12 -							
(3) 事業 事業 事業 職の内 (4)	直人費 直人費 基準 基で 機 大概 大概 本額 上面 上面 本額 上面 上面 上面 本額 上面 上面 上面 上面 本面 上面 上面 上面 上面 上面 本面 上面 上面<	□ DO □ A □ B □ A □ B □ B □ C □ C □ C □ C □ C □ C □ C □ C □ C □ C	きる。 言 平成2 決算額	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 57, 848 7, 05 7, 05 0, 00 0, 00	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 58,546 7.05 7.05 0.00	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58 58 0 位	非市消 (53 (7,810) (653) (7,810) (0) (0) (0) (0) (0) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	防 下 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 58,459 7.05 7.05 7.05 0.00	令和 2年 見込額(千 57 58 58 58 10 9	を (度) (円) (649		年度 · 10 11 11 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	in the second se	年度 12 -		12 -							
(3) 事業 事業 事業 職の内 (4)	直人費 直人費 基準 基で 機 大概 大概 本額 上面 上面 本額 上面 上面 上面 本額 上面 上面 上面 上面 本面 上面 上面 上面 上面 上面 本面 上面 上面<	□ DO □ A □ B □ A + B □	きる。 言 平成2 決算額	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 57, 848 7, 05 7, 05 0, 00 0, 00	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 58,546 7.05 7.05 0.00	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58 58 0 位	非市消 (53) (653) (7,810) (3,463) (0) (0) (0) (0) (0) (1) (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (6) (7,810) (7,	防 予 ・ 標績 標績 標績 なる	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 58,459 7.05 7.05 7.05 0.00	令和 2年 見込額(千 57 58 58 58 10 9	を (度) (円) (649		年度 · 10 11 11 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	in the second se	年度 12 -		12 -							
Table Tab	直人費 直人費 接件合 人費 持機 持機 大樓 大樓 大樓 </th <th>□ DO □ A □ B □ A □ B □ B □ C □ C □ C □ C □ C □ C □ C □ C □ C □ C</th> <th>きる。 言 平成2 決算額</th> <th>また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 57, 848 7, 05 7, 05 0, 00 0, 00</th> <th>得した知 平成2 決算額</th> <th>9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 58,546 7.05 7.05 0.00</th> <th>所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58 58 0 位</th> <th>非市消 (53) (7,810) (8,463) (9) (0) (0) (0) (0) (1) (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (7,05) (7</th> <th>防</th> <th>1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 58,459 7.05 7.05 7.05 0.00</th> <th>令和 2年 見込額(千 57 58 58 58 10 9</th> <th>を (度) (円) (649</th> <th></th> <th>年度 · 10 11 11 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10</th> <th>in the second se</th> <th>年度 12 -</th> <th></th> <th>12 -</th>	□ DO □ A □ B □ A □ B □ B □ C □ C □ C □ C □ C □ C □ C □ C □ C □ C	きる。 言 平成2 決算額	また、習行 (千円) 743 57, 105 57, 848 0 0 0 57, 848 7, 05 7, 05 0, 00 0, 00	得した知 平成2 決算額	9年度 (千円) 736 57,810 58,546 0 0 0 58,546 7.05 7.05 0.00	所を等を大演 平成30年 決算額(千 57 58 58 0 位	非市消 (53) (7,810) (8,463) (9) (0) (0) (0) (0) (1) (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (7,05) (7	防	1年度 (千円) 649 57,810 58,459 0 0 0 0 58,459 7.05 7.05 7.05 0.00	令和 2年 見込額(千 57 58 58 58 10 9	を (度) (円) (649		年度 · 10 11 11 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	in the second se	年度 12 -		12 -							

事業を明 社会環境	スプケー の地は ゆー ブル	・キシコ、平成30年2月台湾と国外では大規模地震が頻発し、日本の国際緊急援助隊チームへ は高まっていることと、国際的に標準的な手法や知識を備えていることが求められている。
	V 元.但 し	任期を4年単位とし、ローテーションすることで全体の底上げを行う。資機材は、総務省消防 5本部での整備を勧められていることから、計画的に購入している。
項目別評価	評価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	■ A. 妥当である □ B. ほぼ妥当である □ C. あまり妥当ではない	登録消防本部として、国際緊急援助隊の一員として派遣体制を整備しておくことは、消防 が実行可能な国際貢献という観点からも妥当である。
712022	□ D. 妥当ではない	
有効性 (事業分析の	■ A. 上がっている	国際的に標準的な手法、知識および資機材を導入することは、国内における大規模災害への対応や、国外からの応援部隊との連携という観点からも非常に有効である。
「成果」欄に	□ B. やや上がっている	の対心で、国外がちの心族中体との足跡という就点がちも非常に有効である。
記載の成果は上がっている	□ C. あまり上がっていな	,,
か)	□ D. 上がっていない	
** *** **	■ A. 高い	当局登録隊員の年間訓練実績は全国トップレベルであり、次期登録隊員を見据えた教育訓
効 率 性 (事業手法は効	□ B. やや高い	練体制を整備していることから、全体への波及効果も高い。
率的である か。)	□ C. やや低い	
<i>13</i> ° °)	□ D. 低い	
総合評価	■ 1. 計画どおり事業を進	めることが適当 □ 2. 事業の進め方に改善が必要
小心口計画	□ 3. 事業規模や見直しが	必要 □ 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要
	_	
	■ A 貢献1.ている	■ 「登録隊員が備えるグローバルスタンダードは、市内で発生する各種災害においても十分活

		登録隊員が備えるグローバルスタンダードは、市内で発生する各種災害においても十分活
施策への	□ B. やや貢献している	用できるものであり、当市の消防・救急体制の充実に大変貢献している。
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	
	□ D. 貢献していない	

<u> </u>	gの万回性> ACTI	ON			
	■ 1. 現状のまま継続	□ 2. 見直しの上で継続	(□ 2-1. 拡充・重点化	□ 2-2. 手段等の改善	□ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小	□ 2-5.統合 □ 2-6.	その他)		
方向性	□ 3.終期の設定	□ 4.終了() 口 5. 休止	□ 6. 廃止	
7) III II	災害の複雑化、大規模化、	多様化に伴い多機関との連	携を含め、大規模災害時におけ	る捜索救助活動のグロー	·バルスタ
	ンダードも日々刻々と変革	直している。当局消防救助隊	も市民生活の安心、安全を確保	はするために、継続してそ	·れらの知
	識や技術等に追従していく	くことが求められている。			
			携を含め、大規模災害時におけ		革してい
部局長	るため、いつでも派遣要詞	青に応えられるように、継続	してそれらの知識や技術等の網	磨に努めること。	
コメント					

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	90.00 %	90.00 %	110.00 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	±0.00 %	+22. 22 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	6,427 _{千円}	6,505 千円	5, 314 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	6, 427 _{千円}	6,505 _{千円}	5, 314 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	+1.20 %	-18. 29 %

				7	₹成3	11年	叓	事務	事業	評価	ラシー	-		平成3	0年度	事後評	平価1
整理	番号	4:	32]							- ·	-					
部月	高 名	消防局				所丿	禹 名	警防課				所属	禹長	弓坂	則行		
事務事			救急高原	度化推進	事業							記り	人者	小田	浩文		
<1.	基本事	* * .															
	区分	コード				名		称				抽	拠	消防組 消防法			
₩ △= 1	方針	03						舌力のある	まちを創	ります			等		、 【命士法	ŧ	
総合計画の位	政策	01		安心、安全に暮らすことのできるまちにします													
置付け	施策	03		枚急体制								関連	オス	救急業	務実施	基準	
	視点	02		命体制の								個別					
	重事	01	救急高原	度化推進	事業												
関連		ード		事務事業名称						Π-	ード		所属	名称			
事業																	
		=1	14		· 114 7.7	D.I.				- 3114				1.1. 1	in /	- HB	
予		計	枠	-	業種	別		- 7		業	名			始身	期 • 新	終 期	
算事	一般	会計	特定	評価対象	以事 亲		救急高	度化推進	事業費								
業																	
	- 数刍 睪 3	タに対す	 	゠ヹゕ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚	2.詳化さ	ろたか	指示医	療機関で	ある3年	空レ 浦堆	生 派温用	1 数 刍 口	ークマ	テーショ	- ' (1	17	
古米の								いら、平成									
事業の 概 要								急業務の									
	拟 忌拟 1	中工かよ	り高度な	・処直を1	丁フ /こめ)	の研修へ	への派遣	は、並びに	メティル.	ルコント	トロールル	ででは	关烛化	を凶つ(こいる。		
運営	方 法	■ 直営	<u> </u>	指定管理	里者 口	民間委	f. C] 出資団(本委託	□ 補助	加金交付	□ その)他 ()
<2.	事業分	析> F	LAN	1						- 1111							
i	目的		傷病者の	の救命率	・社会復	夏帰率を[句上させ	せるため									
(信	可のため	(=)															
	対	₹	①救急		_												
(作	可又は誰	を)	②救;	急救命士	を												
	手 段	ž						小職員を									
(どの。	ようなやロ	り方で)	(2)W	Sへ派遣	または、	薬剤投-	与や気管	管挿管等 <i>σ</i>)高度な処	置を行っ	うための	追加研修	多に派遣	まするこ	とによ	<i>9</i>	
	成 界	Ę						訓が築け、		119	番通報時(の口頭打	旨導体制	単びに	事後検	証体制の)
(どのよう	(<mark>ビのょうな状態にするのか)</mark> 強化を図り、心肺停止傷病者の救命率を向上させる。																
<3.	経費>	DO															
			平成2	28年度	平成2	29年度	平成	30年度	平成31	年度	令和 2			備		考	

<u> </u>	作長/ ひし						
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	岬
直接経費 A		11, 458	12, 353	8, 721	9, 093	9, 093	
人	. 件 費 B	398, 925	403, 850	403, 850	409, 750	409, 750	
事業領	費合計 A+B	410, 383	416, 203	412, 571	418, 843	418, 843	
	国	0	0	0	0	0	
事業費	県	0	0	0	0	0	
の財源内 訳	起債	0	0	0	0	0	
r i u/C	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	410, 383	416, 203	412, 571	418, 843	418, 843	
職	員数(人)	49. 25	49. 25	49. 25	50. 25	50. 25	
면 무 %b	正規	49. 25	49. 25	49. 25	50. 25	50. 25	
職員数 の内訳	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
シアリコ	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標> DO

Ž													
		指標名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度				
		救急救命士数	ı	目標	61	63	65	67	69				
汪	1		^	実績	61	63	65	_	_				
活 動		救急救命士として運用できる職員の数											
指		気管挿管等が実施できる救急救命		目標	48	51	54	56	58				
標	2	士数	^	実績	48	50	51	-	_				
		気管挿管及び薬剤投与が実施できる救急	救命士の数(延べ数)										
		救命率	%	目標	11. 9	13	13	13	13				
戓	1		70	実績	13. 9	19. 5	13. 3	-	_				
成果指		1ヶ月生存者数/心肺停止傷病者(心原	性・目撃者あり)数	(目標	値は前年現	兄の全国値)							
指		高度救命処置実施数	件	目標	500	500	500	500	500				
標	2		117	実績	578	620	659	-	_				
		心肺停止傷病者及び心肺停止前重度傷病											

() . HIM									
事業を耳 社会環境	Qりまく 竟の状況		にあって、救急業務に対する市民ニーズが多様化・複雑化し、救急出動及び傷病者搬送件数でいる。また、救急救命士が行う高度救命処置実施率も増加傾向にある。						
	の見直し 等の経過		クステーション体制による救急救命士の病院研修体制を改善させ、指導救急救命士による救 を強化したことで、高度救命処置実施率が増加した。						
項目別評価	評	価	評 価 理 由						
	■ A. 妥	当である	救急救命士法の定めにより、救急救命士による救命処置の実施は救急現場に限られている						
妥 当 性	□ B. ほ	ぎ妥当である	ことから、救急業務を担う消防機関が行わなければならない。						
(実施主体又は手段は妥当か)	□ C. あ	まり妥当ではない							
于权16女当707	□ D. 妥≦	当ではない							
有効性	■ A. 上 <i>t</i>	がっている	特に心肺停止前の傷病者に対して行う高度救命処置実施率が増加している。これは病態判						
(事業分析の 「成果」欄に	□ B. や ⁴	や上がっている	断と処置技術が向上した証であり、教育効果が認められる。						
記載の成果は上がっている	□ C. あ	まり上がっていない							
か)	□ D. 上#	がっていない							
41	■ A. 高U	۸,۱	救急救命士の技術及び知識を向上させるための病院研修を病院派遣型救急ワークステーシ						
効 率 性 第業手法は効	□ B. や ⁴	や高い	ョンで実施したことにより、履修時間が大幅に増えた。						
率的である	□ C. や ⁴	や低い							
か。)	□ D. 低U	۸,							
総合評価	■ 1. 計画	画どおり事業を進める	。 ることが適当 □ 2. 事業の進め方に改善が必要						
松口計画	□ 3. 事刻	業規模や見直しが必要	□ 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要						
	■ A. 貢献	献している	教命率こそ変化していないものの、心肺停止に至る前の傷病者に対する高度救命処置率が						

施策への		教命率こそ変化していないものの、心肺停止に至る前の傷病者に対する高度救命処置率が
	□ B. やや貢献している	上昇していることを鑑みると、施策に貢献している。
	□ C. あまり貢献していない	
	□ D. 貢献していない	

区《	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	85. 61 %	66.66 %	97.74 %
達成率	指標2	115.60 %	124. 00 %	131.80 %
成 果	指標1	- %	-40. 28 %	+31.79 %
増減率	指標2	- %	+7. 26 %	+6. 29 %
活動単位	指標1	6,727 _{千円}	6,606 千円	6, 347 _{千円}
コスト	指標2	8,549 _{千円}	8,324 千円	8,089 千円
成果単位	指標1	29, 523 _{千円}	21,343 千円	31,020 千円
コスト	指標2	710 _{千円}	671 千円	626 千円
コスト増	減率	- %	+11.12 %	-26.03 %

亚式21年度 東敦東娄郭馮ζ, __ \

整理		-	33				## 84 54						<i></i>	
部局		消防局	101 P 311 -	viv	P	属名	警防課				虽 長	弓坂 則		
事務事			救急業績	务事						記力	人首	小田 浩	<u>X</u>	
< 1.	基本事												<u> </u>	
	区分	コード			名		称			根	拠	消防組織 消防法	法	
₩ Δ=L	方針	03						まちを創ります		法令		HIJIA		
総合計 政策 01 安心、安全に暮らすことのできるまち! 画の位														
置付け	施策	03 消防・救急体制の充実 関連する												
	視点	02	救急救命	命体制の	充実						計画			
	重事	99	その他											
関連	П	ード			事	务 事	業名称				ード	所属名称		
事業														
予	会	計	枠	事	業 種 別		予	算 事 業	名			始 期	・終期	
予 算	一般	会計	管理	評価対象	事業	救急	業務費							
事業														
未														
					対応するため、 急手当の普及を			整備をはじめ、ア	市民によ	る応急手	当の実施	施率の向上	を目的	
事業の	1二、 秋日	の語句で	14 0 0) 2	. 9 勿心心	ナヨの百及名	が光で推	進りる。							
概要														
運営		■ 直営		指定管理	古 日 民間	委託	□ 出資団(本委託 □ 補助	力金交付	□ その)他 ()	
	事業分		LAN			7 -11-2 1 -	S 1# 1= 1 = 1 =							
	目 的	•			進展による救 瘍病者の救命									
	「のため」)					,						
	対象				等の装備及び			たAEDの使用	古はた今	より数合言	集型を			
	又は誰		Ŭ					. / C A C D O 及/II.	ЛДСО	יויי אני טי	# H C			
	手 段				備・充実させ 学校や市民団									
-	ようなやり													
	成 果				頃される救急 る応急手当実									
	な状態にす		∠ I	ストウン	の心心丁コ天.	⊮ᢡᡠ┡	11 C G ذ							
<3.	経費>	DO												
				8年度	平成29年度		成30年度	平成31年度	令和			備	考	
	+立47 建		決算額	(千円)	決算額(千円) 決算	算額(千円)	予算額(千円)	見込額	(千円)				

	/	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	VIII 45
直	接経費 A	6, 775	6, 484	6, 654	6, 484	6, 484	
人	、件 費 B	196, 020	198, 440	198, 440	198, 440	198, 440	
事業	費合計 A+B	202, 795	204, 924	205, 094	204, 924	204, 924	
	国	0	0	0	0	0	
事業費 の財源	県	0	0	0	0	0	
内訳	起債	0	0	0	0	0	
r J H/C	その他	2, 020	2, 140	2, 500	2, 100	2, 100	大学生同乗実習受入金
	一般財源	200, 775	202, 784	202, 594	202, 824	202, 824	
職	員数(人)	24. 20	24. 20	24. 20	24. 20	24. 20	
啦 号 米	正規	24. 20	24. 20	24. 20	24. 20	24. 20	
職員数 の内訳	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
22 1 3 H/C	臨時	0. 00	0.00	0.00	0. 00	0. 00	

<4. 指標> DO

Ė	т.													
		指標名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度					
		救急出動件数	件	目標	16, 800	16, 800	17, 600	18, 000	18, 800					
汪	1		1+	実績	16, 623	17, 267	17, 666	-	-					
活動指		1年間の救急出動件数												
指	指 標 2	AEDの使用方法を含む救命講習	1	目標	7, 500	7, 500	8, 000	8, 000	8, 000					
碟		受講者数(1月~12月)	^	実績	8, 678	9, 308	8, 507	-	_					
		年間の受講者数			,									
		全心肺停止傷病者の1ヶ月生存率	%	目標	9	9	9	9	9					
成果	1		70	実績	4. 8	6. 7	6. 4	-	_					
果		外因性、内因性含む												
指		市民による応急手当実施率(1月	%	目標	60	60	60	60	60					
標	7 2	~ 1 2 月)	70	実績	53. 4	51. 9	57. 8	-	_					
		心肺停止傷病者に対する心肺蘇生法実施	率					•						

事業を耳 社会環境	取りまく 竟の状況	救急出動件数は年々 必要である。	増加しており、緊急性が低いと思われる事案を減少させるため救急車の適正利用の広報等が
	の見直し 等の経過		る救命講習は、昨年度に続き国が推奨する90分の救命講習を推進したことで、実施回数と したものの、市民による応急手当実施率の向上が見られた。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	_	ぎ妥当である まり妥当ではない	救急業務は法律で市町村業務となっているので妥当である。 消防が行っている応急手当講習は社会的に認知されており実施が妥当である。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	_ □ C. あa	がっている や上がっている まり上がっていない がっていない	10隊の救急隊を有効に活用し、増加する救急要請に対応している。小学生から成人まで 一連の応急手当講習会を実施しているため再講習を受ける機会が増えている。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高ル □ B. やり □ C. やり	o高い o低い	救急要請件数は年々増加しているが、救急隊数を増やすことなく対応している。多人数の 応急手当講習に対して訓練人形を増やして対応している。
総合評価		国どおり事業を進める 業規模や見直しが必要	
	■ A. 貢献	献している	多様化している救急情勢に対応できる救急資器材を整備しており施策に貢献している。

	多株化している秋志情野に対応できる秋志真ि格を登谰してあり施泉に真脈している。 講習会により全国平均(49.9%)より高い応急手当実施率(57.8%)である。
□ D. 貢献していない	

_	く6. 今後	その方向性> ACTION
		■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
I		□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
	方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 5. 休止 □ 6. 廃止
		応急手当講習の効率化を図るため、今後も90分の講習会を更に進めていく。緊急性の低い救急要請を減らすためにも
		救急車の適正利用の広報等を行っていく。また、救急資器材の整備を図り対応していく。
l		今後も効率的な応急手当講習及び救急車の適正利用の広報等を行っていくこと。また、救急資器材は人命にかかわる重
		要な資器材であることから更新と整備を図り対応していくこと。
	コメント	

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	53. 33 %	74. 44 %	71.11 %
達成率	指標2	89.00 %	86.50 %	96. 33 %
成 果	指標1	- %	+39.58 %	-4.47 %
増減率	指標2	- %	-2. 80 %	+11.36 %
活動単位	指標1	12 千円	11 千円	11 千円
コスト	指標2	23 千円	22 千円	24 千円
成果単位	指標1	42, 248 _{千円}	30, 585 _{千円}	32, 045 _{千円}
コスト	指標2	3,797 _{千円}	3,948 千円	3,548 _{千円}
コスト増	減率	- %	-11.81 %	−2. 68 %

堻	整理番号 434 434																
部	5	る 名	消防局					j	听 属	長 堀:	井 弘行						
事	務事	事業名	00274	4 通信指令業務事業						į	記入	者 梶	浦 省吾				
< 1	١. :	基本事項	項>														
		区分	コード				名		称				то т	消	坊組織法、	消防法	
		方針	03	安心、惊	央適に住る	み続ける	ことので	できる活力の	ある	まちを創	削ります		根法令等				
総合		政策	01	安心、5	安全に暮	らすこと	のできる	るまちにしま	す				Дης	न			
画の置付		施策	03	消防・排	枚急体制(の充実								_			
	, , ,	視点	01	消防力の充実									関連す 固別計				
		重事	02	情報通信機器等の整備充実									四から	Ш			
			ード				事務	事 業 名	称				コー	ド	所属	名 称	
関連事業																	
#:	*																
予		会	計	枠	事	業種	別		予	算 引	業	<u> </u>		ţ	始 期 • ;	終 期	
算	Ī	一般	会計	管理	評価対象	東事業		通信指令業	務費								
事																	
業	ŧ																
		高機能消	肖防指令	システム	、消防救	(急デジ	タル無線	設備及び消	防支护	爰情報シ	ステム等	各種機器の	機能を	最大限に	活用し、i	H速	
事業	ف	、的確に	こ出動指	令を行う	ことを任	£務とし.	、被害の	軽減及び救	命率の	の向上を	図るもの)。					
概																	
運	営	方法	■ 直営	<u> </u>	指定管理	理者 口	民間委託	· 口出資	备	委託	口補助	金交付 🗆	その什	ti ()
		事業分		PLAN	_	<u> </u>	D(IFI X II		C EM IT	- Упс			C 47 II				
È		<u> </u>				の軽減と	救命率を	を向上させる	ため								
		in E. iのために															
		对 象		市民から	5011:	9番緊急	通報に対	オ し									
		ブスは誰? ブスは誰?						• -									
		手 段	_ :	高機能	肖防指令:	システム	、消防求	枚急デジタル	無線	設備及7	が消防支持	爰情報システ	ム等の	の活用を図	可り		
بل		ようなやり		1001007	111931111			X.0. 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	7111477		7 71 1193 2 2 3	×1111111111111111111111111111111111111		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	- /		
		成果		迅速. 的	内確な指令	介管制業	終による	る情報収集等	から	. 被害の)軽減とす	対命率を向 F	させる	<u>გ</u> .			
ه تیل)		な状態に変		~~~	· 3 kg 0 · 1 g	1- 11-11-11	. 1331 - 01 (ני אכאו או הוו ע	5		, +±",,, ⊂ ,	X-1-1 C1-1—		•			
		経費>															
		4工具/	<u> </u>	平成2	28年度	平成2	9年度	平成30年	度	平成3	1年度	令和 2年月	ŧ				
					(千円)	決算額		決算額(千		予算額		見込額(千F	-		備	考	
	直	接経費	A	WASH ID	60, 565	777 130	52, 951		795	1 51 150	52, 348	52.					
		件費			105, 950		98, 300		100		94, 300	94.	_				
事		貴合計 4			166, 515		151, 251										
7	- // 3		<u> </u>		0		0	100,	033		0	140,	040				
事業	養		<u></u> 류		0		0		0		0		0				
の財	†源		<u>情</u>		0		0		0		0		0				
内	訳		の他 D他		0		0		0		0		0				
		一般			166, 515		151, 251	120	895		146, 648	146,					
田芸	哉 .	員数	(人)										_				
HE	或 .	正			13. 50		12. 50		0. 50		11.50		. 50				
職員	数		<u></u> 託		13. 50		12. 50		0. 50		11. 50		. 50				
の内	· 引訳		時		0. 00 0. 00		0. 00		0. 00 0. 00		0. 00 0. 00		. 00				
< 4	_	指標>	DΟ		0.00		0.00	,	J. 00		0.00	- 0	. 00				
	_	川保ノ		1亦	Þ		出	法	_ 1≃	5 ct-/-t-	亚战20万	F 由 平成202	唐	☑战30年度	□ 成 31 左	度 令和 2	2年度
指標名 単位 目標·実績 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年										2 4 120	一八八八	F度 平成29年 0	F 皮 †) 平 成31年 	0 7和 4	<u>∠十尺</u> ∩
	\	東然への		13 4/X \ (A)				件		目標		89	79	70		_	U
	1	火災への	り山割拍	1-32								AMI	, u	/(, ,		
活 活	1								3	実績		00	13	- ' '	1		-
活動均	1	火災出重	协指令数		(宝古起)												
活動指標		火災出重	协指令数		(害真報)			件		目標	10	0	0	(0	0
活動指標	2	火災出重 救急へ <i>0</i>	助指令数 D出動指	令数(災	(害真報)						16,	0	0			0 -	0
活動指標	2	火災出重 救急へ <i>0</i> 救急出重	助指令数 D出動指 助指令数	令数(災					3	目標		0 623 17,	0 267	17, 545	5	-	
活動指標	2	火災出重 救急への 救急出重 火災事家	助指令数 D出動指 助指令数 客入電か	令数(災 ら出動指	信令までの)			3	目標 実績 目標		0 623 17,	0 267	17, 548 100	5	0 -	0 -
標 	2	火災出動 救急への 救急出動 火災間(動指令数 力出動指 動指令数 を入電か 1 1 9番	令数(災 ら出動指 緊急通報	旨令までの 3)			件	5	目標		0 623 17,	0 267	17, 545	5	-	
標 	1	火災出動 救急への 救急出事 火災間 災害地点	助指令数 加出動作 動指令数 を入り は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	令数(災 ら出動指 緊急通報 災害決定	≦令までの	紫編成、	出動指令	件		目標 実績 目標 実績		0 623 17, 100	0 267 100 109	17, 545 100 117		- 00 -	100
活動指標 成果指標	1	火災 本	動指動を 1 気を 2 大きな 2	令数(災 ら出動指 緊急通報 災害決定	音令までの	紫編成、	出動指令	件		目標 実績 目標		0 623 17,	0 267	17, 548 100	D)	-	

災害地点決定、災害決定、自動隊編成、出動指令/各時間(秒)

事業を明 社会環境	X 7 A \		雑多様化し、救急需要が増加傾向にある中で、緊急事態への即応体制や情報通信機器等の有 ど、高度で迅速・確実な通信指令業務の推進が必要である。
これまで や改善等	の元直し		出動指令に要する時間短縮を目指し、通報受信訓練等を実施し職員の指令管制対応能力の向 民に対し消防局 H P 等を活用して、 1 1 9 番通報要領についての広報を行っている。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
	■ A. 妥当	である	法令に基づく消防業務を円滑に遂行するために必要な事業である。
妥当性	□ B. ほぼ	妥当である	
(実施主体又は 手段は妥当か)	□ C. あま	り妥当ではない	
	□ D. 妥当	ではない	
有 効 性	■ A. 上が	っている	消防隊等へ迅速、的確な災害情報等の提供を行うことにより、被害の軽減及び救命率の向
(事業分析の 「成果」欄に	□ B. やや	上がっている	上に繋がっている。
記載の成果は上がっている	□ C. あま	り上がっていない	
か)	□ D. 上が	っていない	
±1 + 10	■ A. 高い		高機能消防指令システム等の機能を最大限に活用し、被害の軽減及び救命率の向上に効果
効率性 (事業手法は効	□ B. やや	高い	的である。
率的である	□ C. やや	低い	
か。)	□ D. 低い		
総合評価	■ 1. 計画	どおり事業を進める	
	□ 3. 事業	規模や見直しが必要	□ 4.事業の抜本的見直しや廃止が必要
	■ A. 貢献	している	迅速、的確な情報収集を実施し出動指令等を行うことにより、消防隊等の災害現場到着時

	L - Villare 4. o.
< 6. 今後	後の方向性> ACTION
	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 () □ 5. 休止 □ 6. 廃止
73 PJ E	消防通信指令業務は、市民等からの緊急要請である「119番通報」を受付ける市民と消防行政を繋ぐ重要な役割を担
	う。担当職員は、高機能消防指令システム等の適正な維持管理と各システムの性能を最大限に活用すると共に、個々の ************************************
	指令管制技術と迅速的確な情報収集能力の更なる向上に努める。
部局長	高機能消防指令システム等の機能を最大限活用できるように訓練を定期的に実施し、緊急事態に即応できる体制を確保 するとともに、出動指令や災害出動隊への活動支援など指令管制業務を迅速かつ的確に行い、災害による被害の軽減と
コメント	することでは、山町相市で火舌山町隊への店町又版など相市官前未務を迅速がつ的唯に打い、火舌による被告の軽減と 救命率を向上させること。
_, _, _ ,	3×#+ 613±6 6 0 = 6.

区分	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	111.00 %	109.00 %	117. 00 %
達成率	指標2	101. 25 %	102.50 %	96. 25 %
成 果	指標1	- %	-1.80 %	+7. 33 %
増減率	指標2	- %	+1.23 %	-6. 09 %
活動単位	指標1	1,870 千円	1,914 _{千円}	1,984 千円
コスト	指標2	10 千円	8 千円	7 _{千円}
成果単位	指標1	1,500 _{千円}	1,387 _{千円}	1, 187 _{千円}
コスト	指標2	2,055 _{千円}	1,844 _{千円}	1,803 千円
コスト増	減率	- %	-8.88 %	-8.32 %

整理番号			35											
部	局 名	消防局				所属	<mark>禹名</mark> 通信	指令課	Į.		所原	<mark>禹 長</mark> 坂	井 弘行	
事務	事業名	01921	通信機器	器等整備	事業						記	人者相	浦 省吾	
<1.	基本事	項>									•			
$\stackrel{\sim}{-}$	区分	コード				名		称				洋	防組織法、消	防法
	方針	03		お済に分ま	2. 4生 (十 ヱ *	_	できる活力の		+ た合	ルルキオ	根	拠		
総合計									りで引	リクより	法 *	令等		
画の位		01				のできる	るまちにしま	9				61		
置付け		03	消防・排	対急体制の	の充実						_{BB} 、击	する	合計画、中期	財政計画
	視点	01	消防力の	の充実								計画		
	重事	02	情報通信	言機器等の	の整備充	実						n 🖭		
		ード			=	事務	事 業 名	称				- F	所属名	3 称
関連														
事業														
		÷Τ	∔ 九	市	紫 括 D	lıl .		Z	佐 建	· 火 力			42 世 - 42	₩0
予		計	枠	-	業種別	ı'J			算事	業名			始期·終	别
算	一般	会計	政策	評価対象	事 業		通信機器等	整備費						
事業														
未														
													及び消防支援情	Ī
事業の										で効率的な	は情報管理体制	の確立を	図るとともに、	
概要	情報通信	言技術の	進展に即	した通信	機器を監	≧備し被	害の軽減に勢	努める。						
	1													
宝 兴	5 	■ 古台	¥ _	化一年四	9±	見明 手き	£ 口出資	マロルチ	-=r	ㅁ #마스	· ★	\/h /		\
	方法	■直宮		指定管理 ·	白 凵」	大间安計	t 口面真	回体安	it	□ 補助団	☆交付 □ その	ノ1世 ()
<u>< 2.</u>	事業分		PLAN		1 7 46 Tm -	4- 4 = +0 1	- 年 〒 4 / 1P.1©	A A 7.	/± 0 /=	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	TT / 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1			
	目 的	9	災害発5	E時におり	ナる的催れ	な情報リ	以集及ひ指揮	命令系	統の伝	達機能を	確保するため			
(1	何のため	(C)												
	対 象	₹	指令管制	引業務に係	系る各シ	ステムス	及び情報通信	技術の	進展に	即した通	信機器を			
(1	何又は誰	を)												
	手 段	ı Z	年次計画	画的に整備	備し									
ر کستال	ようなやり													
(= 0)			治院隊至	きへの支‡	至信胡のは	単供に	よる効率的な	部隊軍	⊞ <i>I</i> − ⊦	· U 被宝のi	軽減を図る			
			用则除る	于、八人工	友 月干以 リノコ	定伏に	との初生的な	即冰连	ті⊂	、りixi a い:	柱派で囚る。			
	うな状態に	するのか)												
<u><3.</u>	経費>	DO												
			平成2	8年度	平成29	年度	平成30年	变 :	平成31	1年度	令和 2年度		備考	
			決算額	(千円)	決算額((千円)	決算額(千F	円) 子	算額	(千円)	見込額(千円)		ИН <i>1</i> 5	
Ī	直接経費	Α		94, 153		32. 670	34.	275		30. 149	960, 149			
	人 件 費	В		44, 550				100		45. 100	45, 100			
	費合計			138, 703		77, 770	,	· ·		1, 005, 249				
于木	夏口印 7	<u>国</u>					79,	_						
事業費の財源				0		0		0		0	0			
争未負の財源	;	果		0		0		0		0	0			
内訳	~	債		0		0		0		0	0			
	そ(の他		0		0		0		0	0	<u> </u>		
	一般	財源		138, 703		77, 770	79,	375		75, 249	1, 005, 249			
職	員 数	(人)		5. 50		5. 50	5	5. 50		5. 50	5. 50			
	正	規		5. 50		5. 50		5. 50		5. 50	5. 50			
職員数	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	託												
の内訳	臨	- IT - 時		0.00		0.00		0.00		0.00	0.00			
	_			0.00		0. 00	0	0. 00		0. 00	0. 00			
	< 4. 指標> DO													
	指標>													A = -
		指	標	名		単	位	目標・	実績		度 平成29年度	平成30年		令和 2年度
	災害への	指 の出動指		名		単		<mark>目標・</mark> 目標・	7 (17)		度 <mark>平成29年度</mark> 0 0	平成30年)	支 平成31年度 0 0	
1		指 の出動指		名		単	<u>位</u> 件		票		0 0	平成30年) 18, 49	0 0	
活動	災害へ((災害)	指 の出動指 真報)	令件数		他	単		目相	票		0 0		0 0	
	災害へ((災害)	指 の出動指 真報)			他	単		目標 実統	票		0 0		0 0	
	災害へ((災害) 火災、オ	指 の出動指 真報)	令件数		他	単		目標 実統	- 東		0 0		0 0	
1 活動指標 2	災害へ((災害) 火災、オ	指 の出動指 真報)	令件数		他	単		目標 実統	- 東		0 0		0 0	
活動指標 2	災害へC (災害) 火災、オ	指 の出動指 真報) 数急、救	令件数 助、警戒	、偵察	他	単		目標 実統 目標 実統	一	17, 70	0 0 5 18, 297	18, 49	0 0	0
活動指標 2	災害への (災害) 火災、対	指加出動指 類報) 数急、救 加助指	令件数 助、警戒 令までの	、偵察	他	単	件	目標 実統	一	17, 70	0 0 5 18, 297	18, 49	0 0 0	
1	災害への (災害) 火災、対	指 の出動指 真報) 数急、救	令件数 助、警戒 令までの	、偵察	他	単		目標 実統 目標 実統	西示 主貝 西示 主貝 西示	17, 70	0 0 5 18, 297	18, 49	0 0	0
1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	災害への (災害) 火災、利 人電から (1.1.5)	指 か出動指 真報) 枚急、枚 い急、枚 いまする。 いまする。 いまする。 の出動には、数 の出動には、数 のは、 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、。 のは、る のは、。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の	令件数 助、警戒 令までの 通報)	就、偵察)時間			件	目相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写	西示 主貝 西示 主貝 西示	17, 70	0 0 5 18, 297	18, 49	0 0 0	0
活動指標 成果指	災害への (災害) 火災、利 人電から (1.1.5)	指 か出動指 真報) 枚急、枚 い急、枚 いまする。 いまする。 いまする。 の出動には、数 の出動には、数 のは、 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、。 のは、る のは、。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の	令件数 助、警戒 令までの 通報)	就、偵察)時間			件 秒	目 相 実 編 目 相 実 編 目 表 り)	西京 生貝 西京 生貝	17, 70	0 0 5 18, 297	18, 49	0 0 0	0
活動指標 2	災害へ((災害) 火災、オ 入電か (111) 災害地,	指 か出動指 真報) 枚急、枚 い急、枚 いまする。 いまする。 いまする。 の出動には、数 の出動には、数 のは、 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、数 のは、。 のは、る のは、。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の	令件数 助、警戒 令までの 通報)	就、偵察)時間			件 秒	目相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写相写	西京 主具 西京 主具 西京	17, 70	0 0 5 18, 297	18, 49	0 0 0	0

事業を取りまく 社会環境の状況				模かつ複雑多様化するとともに、救急需要は年々増加する中で、災害対応や情報収集等を迅 に、最先端のテクノロジーを駆使して情報通信機器等の整備に努める必要がある。
これまで や改善等		,		機能消防指令システムの経年に係る機能維持措置を施し、各種システムの安定稼動を図り市び救命率の向上に努めている。
項目別評価		評	価	評 価 理 由
	■ A.	妥当	iである	法令に基づく消防業務を遂行するために必要な事業である。
妥 当 性 (実施主体又は	□ B.	ほほ	妥当である	
手段は妥当か)	□ C.	あま	り妥当ではない	
	□ D.	妥当	iではない	
有効性	■ A.	上が		災害発生時における的確な災害情報の収集及び指揮命令等の伝達機能の確保と効率的な部
(事業分析の 「成果」欄に	□ B.	やや	上がっている	隊運用等の情報共有に繋がっている。
記載の成果は上がっている	□ C.	あま	り上がっていない	
か)	□ D.	上が	うていない	
÷1 ÷ 44	■ A.	高い	١	通信機器を整備し、災害現場等での活動を支援することで、被害の軽減及び救命率の向上
効 率 性 (事業手法は効	□ B.	やや	高い	に効果的である。
率的である か。)	□ C.	やや	低い	
73.0	□ D.	低い	1	
総合評価	1 .	計画	iどおり事業を進める	□ 2. 事業の進め方に改善が必要
小心口口口Ш	□ 3.	事業	規模や見直しが必要	□ 4.事業の抜本的見直しや廃止が必要
	■ A.	貢献		高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線設備、消防支援情報システム、高所監視
施策への	□ B.	やや		カメラ及び土砂災害支援情報システム等からの各情報は、効率的な消防活動を行う上で役割は大きい。
貢 献 度	□ C.	あま	り貢献していない	
	□ D.	貢献	けしていない	

IL			7					
_	< 6.	今後	その方向性> A	CTION				
	方向			縮小 口 の	□ 2-6. その他 □ 2-6. その他	也)) 旨令システ	□ 2-2. 手段等の改善 □ 6. 廃止 用年数(10年)を超過 計を行ったところであり	
ш	部 局 コメン	長		に、近年にお	 		 切な運用の移行が行える 速・的確な指令管制業務	

区《	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	97.56 %	97.56 %	103.89 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	±0.00 %	+6.09 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	7 千円	4 _{千円}	4 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	1,691 _{千円}	948 _{千円}	1,030 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	+43. 93 %	-8.69 %